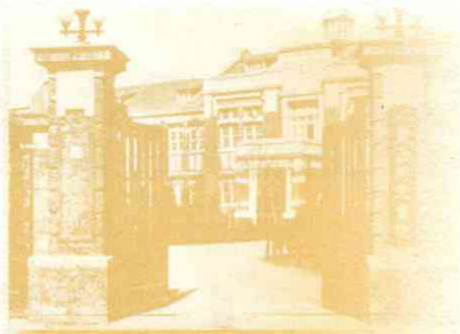


愛知大学要覧



2009
AICHI
UNIVERSITY

愛知大学 HEAD LINE

佐藤新学長就任 新体制スタート

堀前学長の死去に伴い、学長選挙を行った結果、佐藤元彦経済学部教授が当選し、2008年8月3日付で新たに第16代学長(理事長)に就任しました。任期は、2011年11月14日までです。副学長(教学担当)には功刀由紀子経営学部教授、副学長(経営担当)には名和聖高国際コミュニケーション学部教授、事務局長には八木隆明本部事務部長がそれぞれ選任されました。

本学では、新体制のもと、教育・研究の充実や教学組織の再編など大学改革を進めてまいります。

第3回新司法試験で本学法科大学院から16名が合格

平成20年度新司法試験で、本学法科大学院から35名が受験し、16名が合格しました。合格率が全国平均33.0%と低下したなか、本学法科大学院修了生の合格率は45.7%で、全国第9位(私大第3位)の好成績でした。



中国四川省大地震災害救援募金 総額1,200,000円の善意を 日本赤十字社に寄贈

本学では、中国四川省で発生した大地震の被災地の教育復興のための救援募金活動を行いました。受付口座を設けたほか、各キャンパスに募金箱を設置するなどして広く呼びかけたところ、学生、ご父母、同窓生ほか有志の方々から多くの善意が寄せられ、総額は1,200,000円に達しました。

募金は日本赤十字社愛知県支部に手渡され、同支部からは本学に対し感謝状が贈られました。募金は被災地の復興に役立てられます。

今回の募金には、多くの方々からの善意をいただいたほか、学内外の機関・団体に多大なご協力をいただきました。



名古屋国際センターと愛知大学との 連携・協力覚書を締結

愛知大学は、財団法人名古屋国際センターとの間で包括的な連携・協力に関する覚書を締結することとなり、2008年10月8日、本学車道キャンパスにて協定調印式を挙行了しました。

名古屋の国際化、特にささしま地区における国際歓迎・交流拠点形成とそのための人材育成に寄与することを目的とし、今後は、両者で「連携・協力協議会」等の機関を設置し、多文化共生、留学生支援など具体的な計画の策定に着手してまいります。



カナダ・クィーンズ大学と協定を締結

本学は、クィーンズ大学(カナダ)との間で学術・教育交流に関する協定を締結しました。

クィーンズ大学は1841年に設立。カナダ・オンタリオ州キングストンに位置し、現在18の学部・研究科に20,000名以上の学生が学んでいます。本学の海外協定校としては27校目、カナダの大学とは初の協定締結となります。協定書調印式では、クィーンズ大学からDr. Christian Lloyd氏、Elaine Armstrong氏ら代表団が豊橋キャンパスを訪れ、本学佐藤学長との間で諸協定書に調印しました。今後は、英語集中コース、インターンシップコース、Castleプログラム(英国)コースの3つのプログラムを設定し、積極的に学生を派遣する予定です。



2009年度 大学暦

(2009年4月1日～2010年3月31日)

春学期

	学 部	短期大学部	大学院	専門職大学院
入学式	4月4日(土)			
オリエンテーション	4月1日(水)～4月6日(月)	3月31日(火)～4月6日(月)	4月1日(水)～4月6日(月)	
通常授業開始	4月7日(火)			
通常授業終了	7月22日(水)		7月29日(水)	7月27日(月)
補講	7月16日(木)～18日(土)、21日(火)、22日(水)		7月23日(木)～25日(土)、 28日(火)、29日(水)	
学期末試験	7月23日(木)～31日(金)	7月23日(木)～30日(木)		㊦ 8月3日(月)～8月12日(水) ㊧ 8月1日(土)～8月12日(水)
集中講義	※8月3日(月)～ 9月12日(土)で実施	※7月31日(金)～ 9月12日(土)で実施	※8月3日(月)～ 9月12日(土)で実施	㊦ 7月28日(火) 8月1日(土)
夏期休暇	8月1日(土) 9月12日(土)	7月31日(金) 9月12日(土)	7月30日(木) 9月12日(土)	
春学期成績発表	9月4日(金)			

秋学期

	学 部	短期大学部	大学院	専門職大学院
集中講義	※8月3日(月)～ 9月12日(土)で実施	※7月31日(金)～ 9月12日(土)で実施	※8月3日(月)～ 9月12日(土)で実施	9月7日(月) 9月26日(土)
通常授業開始	9月14日(月)			9月28日(月)
卒業式(9月)	9月14日(月)			
創立記念日	11月15日(日)			
通常授業終了	1月19日(火)		1月26日(火)	1月30日(土)
冬期休暇	12月26日(土)～1月5日(火)			
集中講義・補講	(補講) 1月7日(木)、 8日(金)、14日(木)、 19日(火)	(補講) 12月24日(木)、25日(金)、 1月7日(木)、8日(金)、14日(木)、 15日(金)、19日(火)	(補講) 12月24日(木)、 1月14日(木)、15日(金)、21日(木)、 22日(金)、26日(火)	(集中) 2月1日(月)～2月5日(金)
学期末試験	1月20日(水) 1月28日(木)	1月20日(水) 1月27日(水)		2月8日(月) 2月18日(木)
卒業式	豊橋校舎：3月20日(土) 名古屋・車道校舎：3月24日(水)			

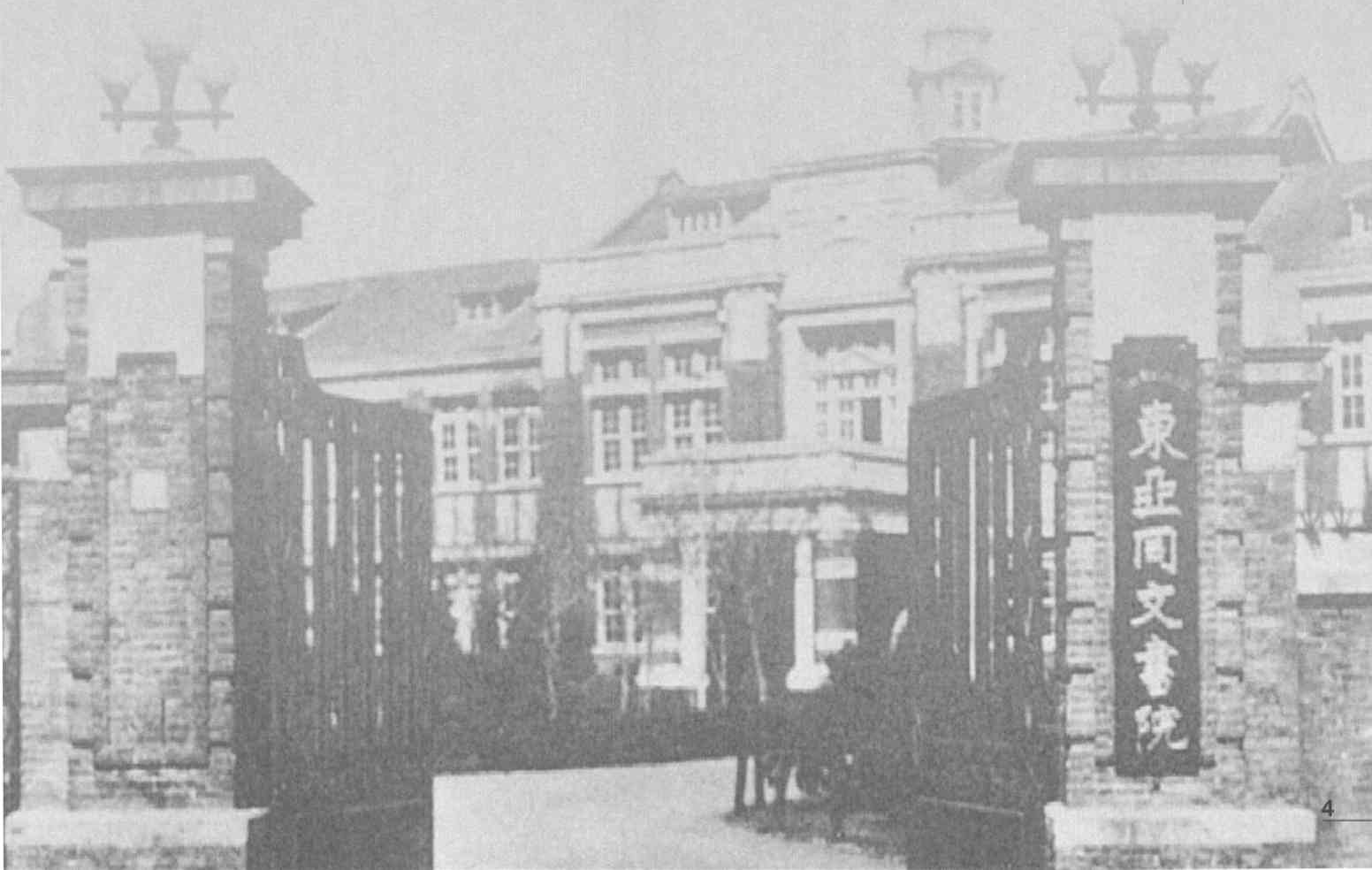
沿 革	設立趣意書	5
	沿革	7
	施設	9
運 営	歴代学長	11
	大学の構成	12
	大学の教育・研究及び事務機構	13
	法人関係役員	15
	資産状況	17
	資金収入と帰属収入の推移	18
	学費	19
教 学	学部・学科及び授業科目	21
	大学院研究科及び授業科目	29
	特別課程	32
	専任教員主要担当科目	33
学生生活	学生サークル活動	43
	卒業生進路状況	45
	奨学状況	47
附属機関	大学研究所の研究分野	49
	大学諸機関発行機関誌等	53
	図書館	55
	情報メディアセンター	57
資 料	学部・学科別学生定員と学生数	59
	海外提携校一覧	61
	外国人留学生数	62
	卒業生数一覧表	63
	学部等別教員数・校舎別事務職員数	69
	土地・建物面積	70
	豊橋校舎建物配置図	71
	名古屋校舎建物配置図	72
	車道校舎建物配置図	73

沿革

設立趣意書…5P

沿革…7P

施設…9P



國ニ於テ學問文化ノ興隆ヲ計ランガ爲メニハ其大都市ヘノ偏重集積ヲ排シ地方分散コソ望マントノ趣旨ヲ活カサントスル含蓄ニ外ナラナイ、周知ノ如ク名古屋市ヲ中心トスル中部日本ニハ未ダ法文科系ノ大學ヲ見ザルトコロ、此地方ニハ斯ル文化機關ノ設置ヲ要望スルコト切ナルモノガアル、愛知大學ハ此要望ニ應ヘ學問ノ研究ヲ旺ニスルト共ニ周圍ヘノ文化的影響ヲ意義アラシメントスルモノデアアル。

第二、世界文化ト平和ニ寄與スベキ新日本ノ建設ニ適スル人材ハ國際的教養ト視野ヲ持ツコト最モ必要ナル資格ノ一ト思惟セラル、事情ニ鑑ミ、本大學トシテハ一般的學問ノ基礎ノ上ニ各國政治經濟文化ノ研究ニ重點ヲ置ク科目ヲ設ケ之ヲ必須科目トシ謂ハバ國際文化大學ノ如キ性格ヲ其一特徴タラシメントスル意圖ヲ有スルモノデアアル、斯ノ如キ大學ハ我國ノ未ダ有セザルトコロ本學ハ此點ニ新機軸ヲ創始セントスルモノデアアル。更ニ

第三、二本大學ハ第一年度ニ於テ予科全學級ヲ第二年度ニ於テ學部全學年ヲ一時ニ開設シ以テ中部日本出身學徒(男女)ノ遠隔ノ地ニ學ブ者ニシテ時局下就學不便ノ爲メ轉學セントスル者ノ要望ニ應スルト共ニ外地ノ大學専門學校ニ在籍スル學徒ノ轉入學ノ困難ヲモ緩和セントスルモノデアアル。外地引揚學徒ハ現下轉入學困難ナル事情ノ下ニ苦惱シツ、アルノミナラズ比較的ニ國際的智識慾旺盛ナルヲ以テ之レヲ本學ニ收容シ思想的學問的ニ再教育スルコトハ又本學ノ性格ニ相應ハシキ一任務ト思料セラル、モノデアアル。

以上ノ諸見地ヨリ我等ハ微力ヲモ顧ミズ茲ニ愛知大學設立ノ學ニ出テントス、我等ノ眞意ガ各方向ニ於テ正シク理解セラレ、此企圖ニ對シテ支援ト鞭撻トノ與ヘラレンコトヲ念願シテ止マナイ次第デアアル。

愛知大學設立趣意書（一九四六年十二月十五日創立）

我日本ハ長期ニ亘ル今次戰爭ニ依テ物質的精神的ニ荒廢セシメラレ、殊ニ其結果ハ慘憺タル敗戦ヲ招キ、正ニ壞滅ノ危機ニ立ツト云フモ過言デハナイ。

今斯ル壞滅ヲ免レントスルナラバ、事ヲシテ茲ニ到ラシメタル舊キ日本ノ誤レル指導ト積弊トヲ一掃シ、新シキ日本トシテ更生スルノ道ヲ擇ブ外ナイノデアアル。

寔ニ新日本ノ進ムベキ方向ハ舊來ノ軍國主義的、侵略主義的等ノ諸傾向ヲ一擲シ、社會的存在ノ全範域ニ亘ツテ民主主義ヲ實現シ自ラヲ文化、道義、平和ノ新國家トシテ再建スルコトニ依リ世界ノ一員トシテ、世界文化ト平和ニ貢獻シ得ル如キモノタラントスルコトデナケレバナラナイ。

斯ノ如キ我日本ノ新シキ出發ニ際シテ、當面解決ヲ要スル諸種ノ問題山積スルト雖モ就中學問、思想、文化ヲ旺ニ興シ、教養アル有爲ノ人材ヲ養成スルコトハ、其ノ急務ニシテ最モ基礎的ナルモノ、一ト言フベキデアラウ。我等相謀ツテ茲ニ愛知大學ヲ設立セントスル所以ハ、實ニ斯ル客觀的要請ニ呼應スルモノニシテ、一言ヲ以テ之ヲ謂ヘハ世界平和ニ寄與スベキ日本文ノ興隆ト有爲ナル人材ノ養成ト云フ點ニ盡キルノデアアル。併シナガラコノ時ニ當リ、豫定スル如キ地方ニ於テ本大學ヲ開設セントスルニ就テハ自ラ特殊ノ意義ト使命モ亦無シトシナイ、即チ

第一、二本大學ノ所在地ハ之ヲ中部日本ノ一地方都市（愛知縣豊橋市）ニ置クノデアアルガ、其ノ理由ハ現今我

沿革

年	設置・認可
1946	<p>【設置・認可】 11月15日 旧大学令により愛知大学を創立</p> <p>【備考】 豊橋市の南部旧豊橋陸軍予備士官学校跡に元東亜同文書院大学、元京城帝国大学、元台北帝国大学等の教授を中心スタッフとして創立</p>
1947	<p>【設置・認可】 1月 予科開設 4月 法経学部開設 法経学部…法政科・経済科</p>
1949	<p>【設置・認可】 4月 学制改革により新制大学に移行 法経学部…法学科・経済学科 文学部…社会学科</p>
1950	<p>【設置・認可】 4月 文学部に文学科を設置 文学科(国文学、中国文学、英文学、独文学、一般文学) 4月 短期大学部を設置 法経科第2部(豊橋・名古屋) 文科第2部(豊橋)</p> <p>【備考】 4月 法経科第2部の名古屋校舎は、東区赤萩町東邦学園高等学校の1棟6教室を借用して開講</p>
1951	<p>【設置・認可】 3月 私立学校法の施行に伴い、学校法人愛知大学に組織変更</p> <p>【備考】 5月 名古屋市東区往還町の元中京女子短期大学の校地及び校舎を購入し、現在の名古屋校舎(車道)の基礎を築く</p>
1953	<p>【設置・認可】 4月 文学部文学科の一般文学研究を仏文学専攻に改組 4月 大学院(修士課程)設置 法学研究科 公法学専攻 経済学研究科 経済学専攻</p>
1955	<p>【備考】 4月 学部の教養課程を開講 名古屋校舎(車道)1号館(鉄筋3階建)建築</p>
1956	<p>【設置・認可】 4月 文学部に史学科を設置 4月 文学部文学専攻科国文学専攻を設置 4月 法経学部第2部設置(名古屋) 法経学部第2部…法学科、経済学科 名古屋校舎(車道)における短期大学部法経科第2部を廃止</p>
1957	<p>【設置・認可】 4月 大学院に法学研究科私法学専攻修士課程を設置</p> <p>【備考】 6月 名古屋市緑区大高町に土地購入(71,618㎡)</p>
1958	<p>【設置・認可】 4月 文学部に哲学科を設置</p>
1959	<p>【設置・認可】 4月 短期大学部文科(女子)設置 豊橋校舎における短期大学部文科第2部を廃止</p>
1961	<p>【設置・認可】 4月 短期大学部に生活科(女子)を設置</p> <p>【備考】 4月 短大1号館(鉄筋2階建)を建築 10月 名古屋校舎(車道)2号館(鉄筋4階建)を建築 法経学部専門課程を開講</p>

年	設置・認可
1963	<p>【設置・認可】 4月 法経学部に経営学科増設及び経済学科を定員増 4月 大学院に法学研究科私法学専攻博士後期課程を設置</p> <p>【備考】 3月 豊橋校舎4号館(鉄筋2階建)を建築 10月 豊橋本部敷地の払下げを受ける(157,590㎡)</p>
1964	<p>【備考】 8月 豊橋校舎3号館(鉄筋2階建)を建築</p>
1965	<p>【備考】 8月 名古屋校舎(車道)3号館(鉄筋4階建・地下1階)を建築</p>
1966	<p>【設置・認可】 4月 法経学部第2部法学科及び経済学科を定員増</p> <p>【備考】 10月 豊橋本部敷地内に研究館(鉄筋4階建)及び図書館(同2階建)を建築</p>
1969	<p>【備考】 8月 名古屋校舎(車道)学生会館(鉄筋4階建)を建築</p>
1971	<p>【備考】 11月 豊橋校舎学生会館(鉄筋4階建)を建築</p>
1973	<p>【備考】 12月 豊橋校舎1号館・2号館(鉄筋4階建)を建築</p>
1974	<p>【設置・認可】 4月 短期大学部文科(女子)を定員増</p>
1975	<p>【備考】 5月 名古屋校舎(車道)図書館名古屋分館(鉄筋3階建)を建築</p>
1976	<p>【備考】 3月 豊橋校舎図書館第1書庫(鉄筋6階建)及び短大3号館(鉄筋4階建)を建築</p>
1977	<p>【設置・認可】 4月 大学院に経営学研究科経営学専攻修士課程を設置</p> <p>【備考】 2月 豊橋校舎研究館を増築</p>
1978	<p>【設置・認可】 4月 大学院に経済学研究科経済学専攻博士後期課程を設置</p> <p>【備考】 11月 豊橋校舎に創立30周年記念会館(鉄筋3階建)を建築</p>
1979	<p>【設置・認可】 4月 大学院に経営学研究科経営学専攻博士後期課程を設置 短期大学部文科、生活科を定員増 6月 短期大学部法経科第2部を廃止</p> <p>【備考】 6月 西加茂郡三好町に約20万㎡の校地を確保</p>
1981	<p>【備考】 6月 名古屋(三好)校地造成着工</p>
1983	<p>【備考】 4月 名古屋(三好)校地運動場施設竣工 8月 豊橋校舎に第2サークル棟(鉄筋5階建)及び合宿所(鉄筋2階建)を建築 12月 豊橋校舎体育館(鉄筋陸屋根2階建)を建築</p>
1987	<p>【設置・認可】 4月 法経学部第1部、文学部で期間を付した定員増(420名)</p> <p>【備考】 2月 名古屋校舎(三好)建築着工</p>
1988	<p>【設置・認可】 4月 短期大学部別科設置 留学生別科 別科英語専修 別科生活環境専修</p> <p>【備考】 2月 名古屋校舎新キャンパス(三好)竣工 4月 名古屋校舎新キャンパス開校 車道校舎法経学部第1部全学生新キャンパスに一括移転</p>

年	設置・認可
1989	<p>【設置・認可】 4月 法経学部を改組し、5学部を設置 経済学部1部(豊橋校舎) 経済学部2部(豊橋校舎) 法学部1部(名古屋校舎) 法学部2部(車道校舎) 経営学部(名古屋校舎)</p> <p>【備考】 8月 名古屋校舎厚生会館増築</p>
1990	<p>【設置・認可】 4月 短期大学部文科、生活科で期間を付した定員増(100名)</p>
1991	<p>【設置・認可】 4月 大学院に中国研究科中国研究専攻修士課程、 文学研究科日本文化専攻・地域社会システム専攻・ 欧米文化専攻修士課程を設置 4月 文学部、経済学部1部、法学部1部、経営学部で 期間を付した定員増(270名)</p>
1992	<p>【設置・認可】 4月 文学部文学専攻科国文学専攻を廃止</p>
1993	<p>【設置・認可】 4月 文学部、経済学部1部、法学部1部、経営学部で 期間付定員の延長(420名) 大学院に文学研究科 地域社会システム専攻博士後期課程を設置</p>
1994	<p>【設置・認可】 4月 大学院に中国研究科中国研究専攻及び文学研究科 日本文化専攻・欧米文化専攻博士後期課程を設置</p>
1995	<p>【設置・認可】 4月 文学部、経済学部1部、法学部1部、経営学部で 編入学定員設定に伴う収容定員増(260名)</p> <p>【備考】 2月 豊橋校舎に梢風館(鉄筋3階建)を建築 3月 名古屋校舎(三好)に朋友館(鉄筋5階建)を建築 12月 長野県立科町に白樺高原ロッジ(鉄筋2階建)を建築</p>
1996	<p>【備考】 11月 豊橋校舎に本館(鉄筋5階建)を建築</p>
1997	<p>【設置・認可】 4月 現代中国学部を設置 4月 現代中国学部への定員振替により法学部1部(20名)、 経営学部(30名)及び短期大学部(文科、生活科各5名)に おいて入学定員減 4月 短期大学部別科英語専修及び生活環境専修を廃止 12月 法経学部第1部、法経学部第2部廃止</p> <p>【備考】 3月 名古屋校舎に東教室棟(現代中国学部棟…鉄筋5階建) 及び青翔館(鉄筋4階建)を建築 12月 豊橋校舎に学生会館(鉄筋3階建)及び厚生会館 (逍遙館…鉄筋2階建)を建築</p>
1998	<p>【設置・認可】 4月 教養部廃止 4月 国際コミュニケーション学部言語コミュニケーション学科、 比較文化学科(昼夜開講制)を設置 4月 国際コミュニケーション学部への定員振替により文学部 (哲学科3名、社会学科4名、史学科4名、文学科9名)、 法学部1部(10名)、経営学部(10名)及び短期大学部 (文科20名、生活科30名)において入学定員減</p> <p>【備考】 3月 豊橋校舎に5号館(国際コミュニケーション学部棟…鉄筋5階建) 及び6号館(教室棟…鉄筋5階建)を建築 名古屋校舎に名古屋図書館及び研究館増築 8月 南開大学(中国上海)内に南開愛大会館を建築</p>

年	設置・認可
1999	<p>【設置・認可】 4月 文学部文学科を改組し、日本・中国文学科及び 欧米文学科を設置 4月 短期大学部文科、生活科で期間を付した 定員増(100名)の期間延長(1999年度1年間)</p> <p>【備考】 3月 豊橋校舎図書館増改築</p>
2000	<p>【設置・認可】 4月 平成12年度から16年度までの期間付入学定員を設定 (文学部、経済学部1部、法学部1部、経営学部の臨定延長) 4月 平成12年度から16年度までの期間付入学定員を設定 (短期大学部の臨定延長)及び期間付定員の恒定化に もとづく短期大学部の入学定員減(10名) 4月 期間付定員の恒定化にもとづく文学部の入学定員増(10名) 4月 短期大学部文科を言語文化学科、 生活科を現代生活学科にそれぞれ名称変更</p>
2001	<p>【設置・認可】 4月 期間付定員の恒定化にもとづく文学部の入学定員増(10名) 4月 期間付定員の恒定化にもとづく短期大学部の 入学定員減(10名)及び短期大学部の平成13年度から 16年度までの期間付入学定員を設定(臨定延長変更) 4月 大学院法学研究科公法学専攻に博士課程(後期)を設置</p>
2002	<p>【設置・認可】 3月 短期大学部留学生別科を廃止 4月 愛知大学に外国人留学生別科を設置 4月 期間付定員の恒定化にもとづく文学部の入学定員増(10名) 4月 期間付定員の恒定化にもとづく短期大学部の 入学定員減(10名)及び短期大学部の平成14年度から 16年度までの期間付入学定員を設定(臨定延長変更) 4月 大学院国際コミュニケーション研究科修士課程を設置</p> <p>【備考】 10月 文科省「21世紀COEプログラム」(国際中国学研究センター) 採択 国際中国学研究センター(ICCS)を設置。</p>
2003	<p>【設置・認可】 4月 期間付定員の恒定化にもとづく文学部の 入学定員変更(10名)および編入学定員減 4月 期間付定員の恒定化にもとづく短期大学部の 平成15年度から16年度までの期間付入学定員を 改定(臨定延長変更) 4月 短期大学部の教職課程廃止</p> <p>【備考】 9月 文科省「特色ある大学教育支援プログラム」(現代中国学 部)採択</p>
2004	<p>【設置・認可】 4月 大学院 法務研究科(法科大学院)を設置 4月 大学院 中国研究科博士後期課程の入学定員変更(15名) 4月 大学院 法学研究科修士課程公法学専攻及び私法学専攻 の学生募集停止 4月 経済学部1部を経済学部、法学部1部を法学部にそれぞれ 名称変更 4月 経済学部2部経済学科、法学部2部法学科、 国際コミュニケーション学部比較文化学科夜間主コースの 学生募集停止及び同収容定員の昼間学部への振替 4月 期間付定員の廃止にもとづく文学部、経済学部、法学部、 経営学部の入学定員減 4月 期間付定員の廃止にもとづく短期大学部の入学定員減(50名)</p> <p>【備考】 4月 法学部法学科3年次以上生を車道校舎に移転 4月 大学院 中国研究科を名古屋校舎へ移転 4月 車道校舎新キャンパス竣工 4月 南開大学、中国人民大学との調印(国際中国学研究センター 分拠点設置、中国研究科博士後期課程デュアルディグリー プログラム)</p>

沿革・施設

年	設置・認可
2005	<p>【設置・認可】</p> <p>3月 法学研究科 修士課程 公法学専攻、私法学専攻を廃止</p> <p>4月 文学部 哲学科、社会学科、史学科、日本・中国文学科、欧米文学科を改組し、人文社会学科を設置</p> <p>4月 経営学部 に会計ファイナンス学科を設置</p> <p>4月 短期大学部 言語文化学科、現代生活学科を改組し、ライフデザイン総合学科を設置</p> <p>【備考】</p> <p>4月 文科省「私立大学学術研究高度化推進事業」(社会連携研究推進事業)に、三遠南信地域連携センター研究プロジェクトが選定</p>
2006	<p>【設置・認可】</p> <p>3月 外国人留学生別科を廃止</p> <p>3月 文学部 文学科を廃止</p> <p>4月 大学院 会計研究科(会計大学院)を設置</p> <p>4月 愛知大学孔子学院を設置</p> <p>【備考】</p> <p>4月 文科省「私立大学学術研究高度化推進事業」(オープン・リサーチ・センター整備事業)に、東亜同文書院大学記念センター研究プロジェクトが選定</p>
2007	<p>【設置・認可】</p> <p>3月 短期大学部 言語文化学科、現代生活学科を廃止</p> <p>4月 各学部の編入学定員を全て入学定員に振替えたことにより、各学部の収容定員を変更</p> <p>【備考】</p> <p>3月 学校法人桜丘学園と相互提携協定を締結</p> <p>7月 文科省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」(現代中国学部)採択</p> <p>8月 文科省「専門職大学院等教育推進プログラム」(法科大学院)採択</p>
2008	<p>【備考】</p> <p>3月 東邦高等学校と相互提携協定を締結</p> <p>3月 愛知大学が(財)大学基準協会による大学評価ならびに認証評価を受け、適合と認定(2015年3月31日まで)</p>

車道校舎



豊橋校舎



名古屋校舎



運営

歴代学長… 11P
大学の構成… 12P
大学の教育・研究及び事務機構… 13P
法人関係役員… 15P
資産状況… 17P
資金収入と帰属収入の推移… 18P
学費… 19P



歴代学長

		(就任)	(退任)
初代学長	林 毅陸	1946年11月	1950年 6 月
二代学長	本間 喜一	1950年 6 月	1955年11月
三代学長	小岩井 浄	1955年11月	1959年 2 月
四代学長	本間 喜一	1959年 4 月	1963年 4 月
五代学長	脇坂 雄治	1963年 4 月	1967年 3 月
六代学長	玉城 肇	1967年 4 月	1969年 5 月
七代学長	山田 文雄	1969年 6 月	1970年 5 月
八代学長	細迫 朝夫	1970年 5 月	1972年 2 月
九代学長	久曾神 昇	1972年 5 月	1984年 3 月
十代学長	浜田 稔	1984年 4 月	1987年 9 月
十一代学長	石井 吉也	1987年 9 月	1988年 3 月
十二代学長	牧野 由朗	1988年 4 月	1992年 3 月
十三代学長	石井 吉也	1992年 4 月	1999年 11月
十四代学長	武田 信照	1999年 11月	2007年 11月
十五代学長	堀 彰三	2007年 11月	2008年 5 月
現学長	佐藤 元彦	2008年 8 月	

豊橋校舎

大学院	経済学研究科	経済学専攻(修士課程・博士後期課程)
	文学研究科	日本文化専攻(修士課程・博士後期課程)
		地域社会システム専攻(修士課程・博士後期課程)
		欧米文化専攻(修士課程・博士後期課程)
国際コミュニケーション研究科	国際コミュニケーション専攻(修士課程)	
文学部	人文社会学科(東洋哲学、西洋哲学、社会学、行動社会学、心理学、図書館情報学、日本史学、アジア史学、地理学、日本語日本文学、中国語中国文学、英語圏文学、ドイツ語ドイツ文学、フランス語フランス文学)	
経済学部	経済学科(理論・情報、社会・政策、人間環境、地域研究、国際研究、中国アジア経済)	
国際コミュニケーション学部	言語コミュニケーション学科	
	比較文化学科	
短期大学部	ライフデザイン総合学科<女子>	

名古屋校舎

大学院	法学研究科	公法学専攻(博士後期課程)
		私法学専攻(博士後期課程)
	経営学研究科	経営学専攻(修士課程・博士後期課程)
	中国研究科	中国研究専攻(修士課程・博士後期課程)
法学部(1・2年次)	法学科(司法、行政、企業)	
経営学部	経営学科(ビジネス・マネジメント、流通・マーケティング、情報システム、国際ビジネス)	
	会計ファイナンス学科(アカウンティング、ファイナンス)	
現代中国学部	現代中国学科(ビジネス、言語文化、国際関係)	

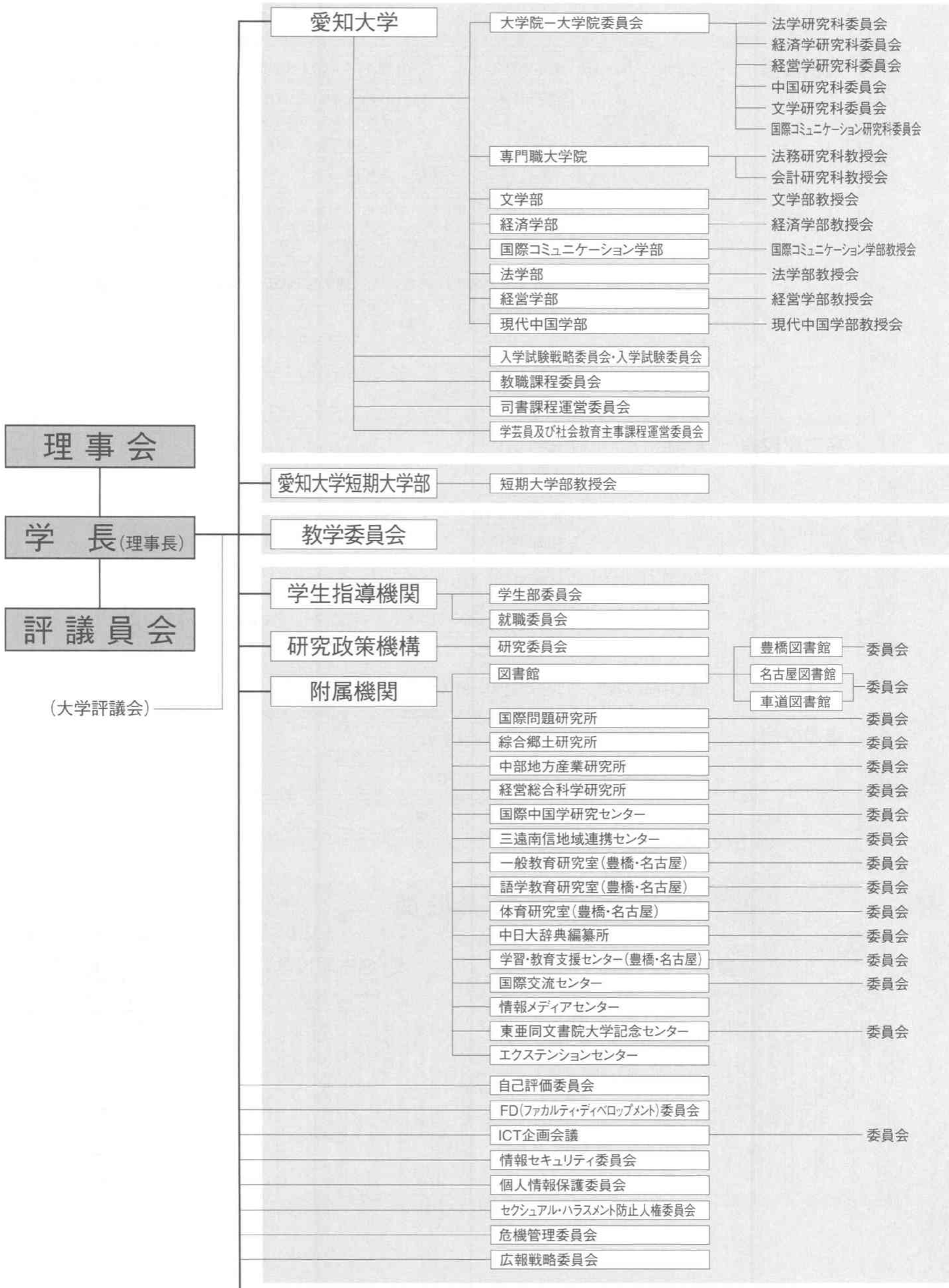
車道校舎

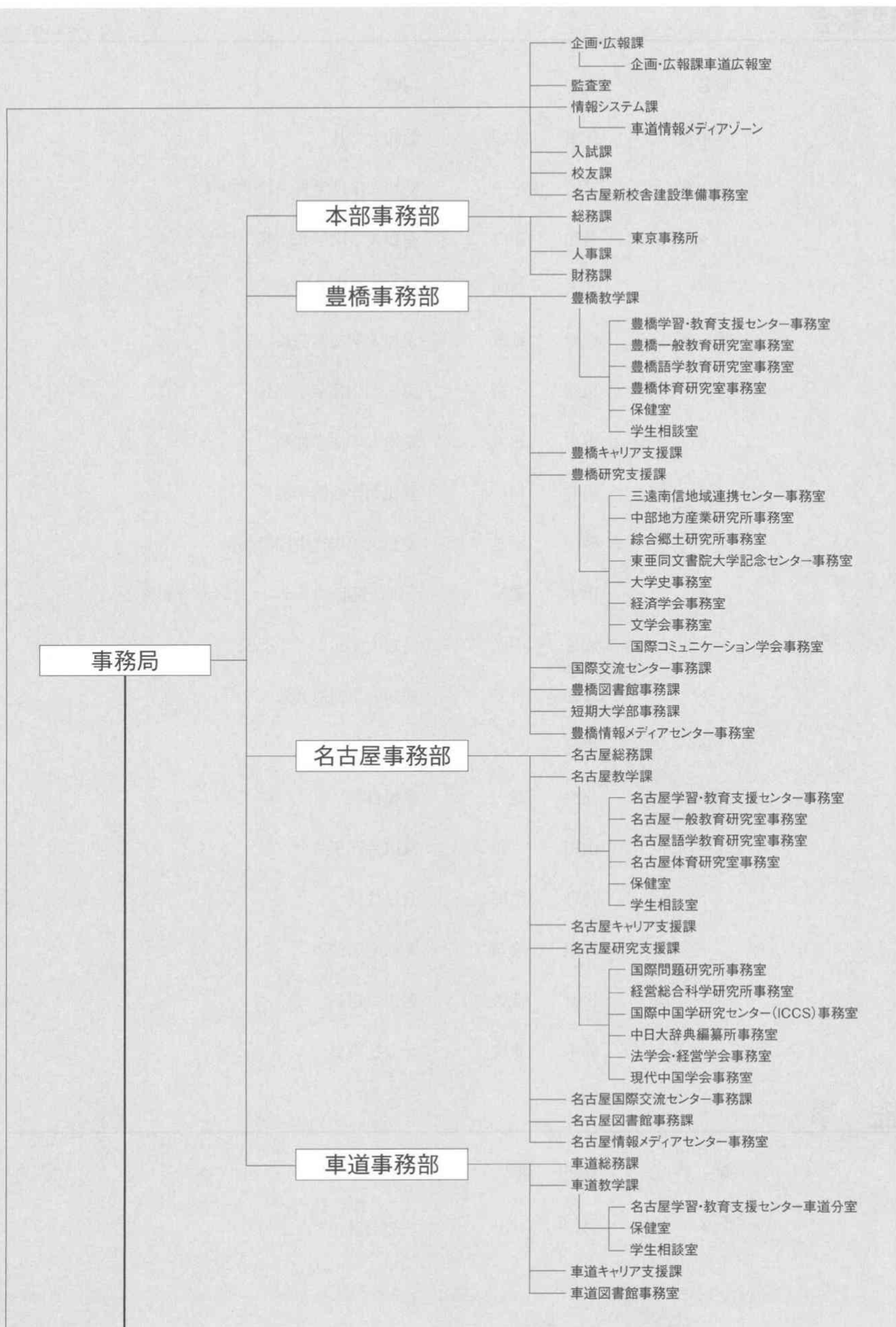
法科大学院	法務研究科(法務専攻)
会計大学院	会計研究科(会計専攻)
法学部(3・4年次)	法学科(司法、行政、企業)

附属機関



大学の教育・研究及び事務機構





理事会

(2009年 4月現在)

職名	氏名	現職
理事長	佐藤 元彦	愛知大学長
理事 (常務理事)	功刀 由紀子	愛知大学副学長 (教学担当)
〃	名和 聖高	愛知大学副学長 (経営担当)
〃	八木 隆明	愛知大学事務局長
理事	交野 正芳	愛知大学文学部長
〃	栗原 裕	愛知大学経済学部長
〃	田中 正人	愛知大学法学部長
〃	川井 伸一	愛知大学経営学部長
〃	砂山 幸雄	愛知大学現代中国学部長
〃	田本 健一	愛知大学国際コミュニケーション学部長
〃	武藤 明弘	愛知大学短期大学部長
〃	安井 善宏	愛知大学同窓会長
〃	甲斐 一政	愛知大学同窓生
〃	佐原 光一	豊橋市長
〃	山田 正	霞山会理事長
〃	神野 信郎	会社役員
〃	稲垣 隆司	愛知県副知事
〃	松原 武久	名古屋市長
〃	鈴木 重文	元会社役員

監事

監事	酒井 強次	愛知大学監事
〃	松井 昭	公認会計士

評議員会

(2009年 4月現在) (順不同)

佐藤 元彦	大学教員	村瀬 朱美	後援会役員
功刀由紀子	大学教員	佐原 光一	豊橋市長
名和 聖高	大学教員	神野 信郎	会社役員
八木 隆明	大学職員	山田 正	法人理事長
交野 正芳	大学教員	安井 善宏	会社役員
栗原 裕	大学教員	甲斐 一政	元会社役員
田中 正人	大学教員	稲垣 隆司	愛知県副知事
川井 伸一	大学教員	松原 武久	名古屋市長
砂山 幸雄	大学教員	鈴木 重文	元会社役員
田本 健一	大学教員	宮入 興一	大学教員
武藤 明弘	大学教員	浅野 俊夫	大学教員
熊谷 正人	大学職員	矢田 博士	大学教員
矢野 健司	大学職員	宇佐美一博	大学教員
下和田恵男	大学職員	山田 邦明	大学教員
藤本 茂	同窓会役員	國崎 稔	大学教員
加藤 満憲	同窓会役員	新井野洋一	大学教員
八塚 哲子	同窓会役員	長峯 信彦	大学教員
銭谷 欣吾	同窓会役員	広瀬 裕樹	大学教員
高井 和伸	同窓会役員	田川 光照	大学教員
岩間 毅	同窓会役員	富増 和彦	大学教員
浅井 英行	同窓会役員	安倍 悟	大学教員
荒木 仁子	同窓会役員	河辺 一郎	大学教員
勝 昭雄	同窓会役員	鈴木 規夫	大学教員
八木 好郎	同窓会役員	塚本 倫久	大学教員
大島 俊明	後援会役員	須田 淳一	大学教員
池本 和実	後援会役員		

運営
法人関係役員

大学評議会

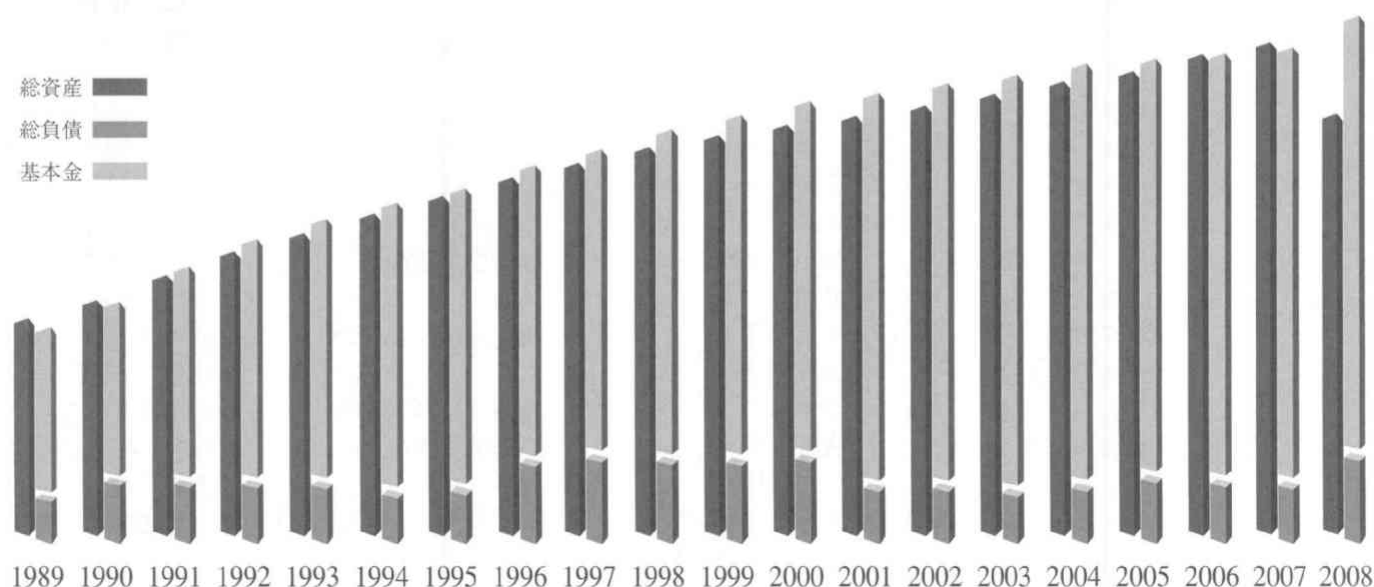
(順不同)

学長	佐藤 元彦	文学部選出	宇佐美一博
副学長 (教学担当)	功刀由紀子	〃	山田 邦明
〃 (経営担当)	名和 聖高	経済学部選出	國崎 稔
文学部長	交野 正芳	〃	新井野洋一
経済学部長	栗原 裕	国際コミュニケーション学部選出	鈴木 規夫
国際コミュニケーション学部長	田本 健一	〃	塚本 倫久
法学部長	田中 正人	法学部選出	長峯 信彦
経営学部長	川井 伸一	〃	広瀬 裕樹
現代中国学部長	砂山 幸雄	経営学部選出	田川 光照
短期大学部長	武藤 明弘	〃	富増 和彦
大学院長	宮入 興一	現代中国学部選出	安倍 悟
法務研究科長	大林 文敏	〃	河辺 一郎
会計研究科長	鈴木 孝一	短期大学部選出	須田 淳一
豊橋教学部長	浅野 俊夫	事務職員選出	熊谷 正人
名古屋教学部長	矢田 博士	〃	矢野 健司
事務局長	八木 隆明	〃	下和田恵男
本部事務部長	八木 隆明		

資産状況

(単位：円)

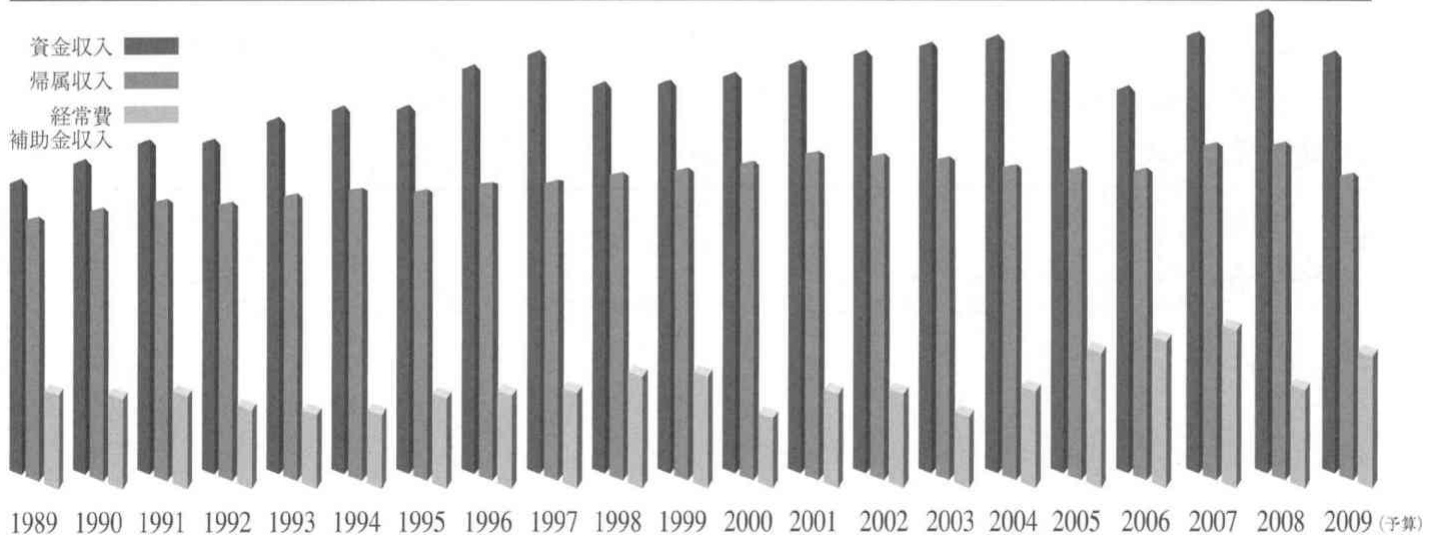
年度	総資産	総負債	基本金	消費収支差額
1989	22,436,417,886	4,668,988,492	17,099,212,121	668,217,273
1990	24,663,790,360	5,006,835,946	18,768,181,806	888,772,608
1991	26,785,355,749	4,904,876,541	20,421,010,135	1,459,469,073
1992	28,886,835,579	4,928,508,562	22,033,363,807	1,924,963,210
1993	31,084,255,384	4,997,178,204	24,301,808,891	1,785,268,289
1994	32,955,482,811	4,577,301,547	26,303,525,207	2,074,656,057
1995	34,896,300,660	4,789,626,288	27,633,241,593	2,473,432,779
1996	37,217,102,371	5,547,073,846	29,275,716,376	2,394,312,149
1997	39,237,430,536	6,213,029,463	33,453,752,511	△ 429,351,438
1998	40,500,002,487	6,199,110,263	35,572,341,903	△ 1,271,449,679
1999	42,102,411,070	6,154,888,383	36,284,675,317	△ 337,152,630
2000	43,983,889,293	6,242,380,385	37,198,811,100	542,697,808
2001	45,568,608,580	5,778,088,623	38,170,406,419	1,620,113,538
2002	47,559,447,298	5,685,441,783	39,483,651,959	2,390,353,556
2003	49,201,387,673	5,599,970,327	40,784,897,082	2,816,520,264
2004	49,907,083,038	5,716,655,665	42,085,610,032	2,104,817,341
2005	51,435,320,000	5,875,180,926	42,624,368,726	2,935,770,348
2006	52,837,516,030	5,851,926,986	43,248,291,702	3,737,297,342
2007	54,571,504,676	5,810,909,605	45,014,280,782	3,746,314,289
2008	45,004,582,053	6,731,677,521	47,146,698,316	△ 8,873,793,784



資金収入と帰属収入の推移

(単位：円)

年度	資金収入	帰属収入	経常費補助金収入
1989	9,755,213,384	7,321,741,085	869,993,000
1990	10,591,837,778	8,092,075,775	820,854,000
1991	11,290,616,686	9,022,120,093	837,878,000
1992	11,495,373,425	8,904,470,401	793,319,000
1993	12,219,999,904	9,309,528,194	756,153,000
1994	13,452,106,789	9,838,953,511	742,782,000
1995	13,463,187,018	9,781,625,182	873,011,000
1996	18,052,790,486	10,477,946,269	876,891,000
1997	19,410,603,408	10,584,008,675	856,894,000
1998	16,425,119,406	11,387,249,604	943,642,000
1999	16,499,923,987	11,639,222,997	925,955,000
2000	17,756,204,330	11,945,365,352	716,706,000
2001	18,271,200,212	12,654,526,571	848,625,000
2002	19,164,868,785	12,284,799,888	839,890,000
2003	20,249,345,117	12,223,754,221	764,802,000
2004	21,029,274,315	11,799,896,733	862,976,000
2005	19,493,887,245	11,630,377,186	1,070,897,000
2006	18,590,273,131	11,629,344,322	1,082,124,000
2007	21,904,204,047	12,437,317,502	1,114,622,000
2008	27,366,466,067	12,037,103,527	965,717,000
2009 (予算)	19,439,853,000	11,114,306,000	1,000,000,000



運営
資金収入と帰属収入の推移

愛知大学

学部等	入学金	授業料	教育充実費 (単位:円)
文学部	250,000	640,000	200,000
経済学部	250,000	640,000	200,000
国際コミュニケーション学部	270,000	710,000	200,000
法学部	250,000	640,000	250,000
経営学部	250,000	640,000	200,000
現代中国学部	270,000	710,000	200,000
大学院	250,000	550,000	170,000
法科大学院	250,000	1,000,000	300,000
会計大学院	250,000	1,000,000	300,000

備考

- 入学金は入学時にのみ、授業料及び教育充実費は毎年納入する。
- 文学部人文社会学科心理学専攻は、前項の学費のほか2年次より毎年実験実習費60,000円を納入する。
- 文学部人文社会学科の次の専攻は、第1項の学費のほか2年次に、次の調査実習費を納入する。
 社会学及び行動社会学専攻 20,000円
 日本史学及びアジア史学専攻 3,000円
 地理学専攻 10,000円
- 現代中国学部は、第1項の学費のほか2年次に次の実習費を納入をする。ただし、中国語を母語とする外国人留学生は、この限りでない。
 ・現代中国学部 実習費 250,000円

愛知大学短期大学部

学科等	入学金	授業料	教育充実費 (単位:円)
ライフデザイン総合学科 (長期履修コース)	250,000 (250,000)	640,000 (1・2年次/430,000 3年次/420,000)	210,000 (210,000)

備考

- 入学金は入学時にのみ、授業料及び教育充実費は毎年納入する。
- ライフデザイン総合学科の長期履修コースの授業料については、2年コースで入学した場合の2年間の授業料の総額を3年間で納入するものとする。

教学

学部・学科及び授業科目…21P
大学院研究科及び授業科目…29P
特別課程…32P
専任教員主要担当科目…33P

学部・学科及び授業科目

文学部

文学部カリキュラム

卒業に最低必要な単位 合計124単位 / 専門教育科目 62単位
 共通教育科目 44単位 / フリーゾーン 18単位

文学部共通カリキュラム

専攻共通科目	コーロップ文明史I-II、芸術史(東洋)、視聴覚教育、生涯学習概論I-II、社会教育計画I-II、博物館概論、社会政策、地域経済論I-II、地域政策論、地方財政学、芸術史(西洋)、映像文化論、 西欧近代社会思想史、現代社会思想史、行政法、民法1部、民法2部、商法、経済法、労働法
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ●英語/ReadingI~III、Communicative EnglishI-II、Practical English、Advanced EnglishI-II、Current EnglishI-II、Communication SkillsI~IV ●中国語/入門中国語I-II、基礎中国語I-II、応用中国語I-II、総合中国語I-II、中国語会話(初級)I-II、中国語会話(中級)I-II、コミュニケーション中国語I-II A、コミュニケーション中国語I-II B ●フランス語/入門フランス語I-II、基礎フランス語I-II、応用フランス語I-II、総合フランス語I-II、フランス語会話(初級)I-II、フランス語会話(中級)I-II、コミュニケーションフランス語I-II A、コミュニケーションフランス語I-II B ●ドイツ語/入門ドイツ語I-II、基礎ドイツ語I-II、応用ドイツ語I-II、総合ドイツ語I-II、ドイツ語会話(初級)I-II、ドイツ語会話(中級)I-II、コミュニケーションドイツ語I-II A、コミュニケーションドイツ語I-II B ●ロシア語/入門ロシア語I-II、基礎ロシア語I-II、応用ロシア語I-II、総合ロシア語I-II ●タイ語/入門タイ語I-II、基礎タイ語I-II、応用タイ語I-II、総合タイ語I-II ●韓国・朝鮮語/入門韓国・朝鮮語I-II、基礎韓国・朝鮮語I-II、応用韓国・朝鮮語I-II、総合韓国・朝鮮語I-II ●日本語/日本語・表現I-II、日本語・論文技術(基礎)I-II、日本語・総合I-II、日本語・論文技術(応用)I-II、アカデミック日本語I-II、ビジネス日本語I-II ●外国理解/世界の言語I-II、古典言語I-II
情報	<ul style="list-style-type: none"> ●総合演習/情報総合演習 ●情報科学/マルチメディア表現、ネットワークとセキュリティ、モデル化とデータベース、プログラミング、情報の科学、情報と社会
自然	<ul style="list-style-type: none"> ●自然・数理・環境/物質の科学、地球の科学、宇宙の科学、数理学、統計学入門、科学技術史、現代技術と社会、地球環境問題、自然環境と地理、現代科学技術論、テーマスタディ自然 ●身体・生命/生物の科学、生態学、動物行動学、スポーツ科学、健康行動論
社会	<ul style="list-style-type: none"> ●歴史・社会/歴史学、社会学、地理学、ジェンダー論、遺跡の世界、中国の社会問題、ボランティア活動論、高齢者生活論、ジャーナリズム論、テーマスタディ社会 ●政治・経済/政治学、経済学、法学、現代中国の世相、アジアの政治と経済、経営学、憲法
人文	<ul style="list-style-type: none"> ●思想・文化/哲学、論理学、宗教学、心理学、心の働き、文化人類学、現代の思想、民俗論、生活文化史、スポーツ文化論、日本事情I-II ●芸術・文学/文学、日本語学、古典の世界、言語と文化、芸術論、テーマスタディ人文
総合	平和学、地域の環境、地域の文化と歴史、大学史、連携講座
体育	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎/コンディショニング、生涯スポーツ ●発展/リフレッシュスポーツ、ウエイトトレーニング、スノースポーツ

共通教育科目

文学部専攻カリキュラム

1年次

専攻選択の目安となる
人文社会科学の
対象分野を
総合的に学びます。

2年次

専攻に所属し
本格的に専門分野を
学びます。

3年次

少人数ごとの演習
が始まり、さらに
学びを深めます。

4年次

これまでの学習の
集大成として卒業論文の
完成をめざします。

東洋哲学専攻	必修科目	東洋哲学基礎演習、東洋哲学史I-II、東洋哲学講義I	東洋哲学演習I、東洋哲学講義II	東洋哲学演習II
	選択科目	東洋哲学特殊講義I-II、中国哲学I-II、東洋政治思想史I-II、日本思想史I-II、印度哲学I-II、仏教思想I-II、西洋哲学史I-II、漢文学I-II、漢文研究I-II、書道論I-II		
西洋哲学専攻	必修科目	西洋哲学基礎演習I-II、西洋哲学史I-II	西洋哲学演習I	西洋哲学演習II
	選択科目	ドイツ哲学講義I、フランス哲学講義I、ギリシア哲学講義I、倫理思想史、応用倫理学概論、美学概論I-II、宗教学概論、宗教思想史、比較思想I-II、東洋哲学史I-II、現代社会論	ドイツ哲学講義II、フランス哲学講義II、ギリシア哲学講義II、西洋哲学特殊講義I-IV	ドイツ哲学講義III、フランス哲学講義III、ギリシア哲学講義III
社会学専攻	必修科目	現代社会論、社会調査法、社会調査データ分析法、社会学の展開I-II、社会調査実習	社会学演習I	社会学演習II
	選択科目	家族と社会、生涯学習社会論、都市社会論、コミュニティ政策論、環境社会学、社会心理学、権力・支配の社会学、社会病理学、キャリア発達論、産業社会学、福祉・労働政策論、情報社会学、階級・階層論、組織社会学、比較社会・文化論、家族・村落史、外国書講読、マス・コミュニケーション論、アジア近現代史論、日本民俗学I		
行動社会学専攻	必修科目	社会行動論、社会調査法、社会調査データ分析法、社会学の展開I-II、社会調査実習	行動社会学演習I	行動社会学演習II
	選択科目	家族関係論、自我論、文化とパーソナリティ、ソーシャル・ネットワーク論、遊動行動論、コミュニケーション論、精神分析学、文化の社会学、ライフ・コースの社会学、宗教と個人、差別の社会学、応用倫理学概論、福祉社会学、クアア社会学、セクシュアリティ・ジェンダーの社会学、社会心理学、外国書講読、人間活動の地理学、臨床ケーススタディ(児童・少年期)、日本民俗学I		
心理学専攻	必修科目	心理学研究法、心理学基礎実験I-II、心理統計、心理学基礎演習	心理学演習I 心理アセスメント	心理学演習II
	選択科目	認知心理学I-II、行動心理学I-II、発達心理学、比較心理学I-II、性格心理学、生理心理学、臨床ケーススタディ(児童・少年期)、心理療法、教育実践の心理学、家族関係論、精神分析学、社会心理学、キャリア発達論、社会病理学	行動分析応用、社会行動分析、心理学プログラミング演習、認知科学、臨床ケーススタディ(青年・成人期)、心理学特殊講義I-II、行動療法、思春期精神医学、カウンセリング研究	
図書館情報学専攻	必修科目	情報組織化I-II、情報提供論、調査検索実習、情報サービス、情報メディア概論、ネットワーク情報、図書館情報学講義I-II	図書館情報学演習I	図書館情報学演習II
	選択科目	情報処理基礎I、情報処理I-II、専門情報特殊講義I-IV、専門情報論I-IV、図書館の歴史と経営、知識組織論I、専門コミュニケーション、文書概論、情報社会学、知的所有権、漢字文化論、演劇論、映画論、書道論I-II、児童文学I-II、社会調査法	図書館実習、知識組織論II、書誌学、東洋哲学特殊講義II、地誌学I-II	
日本史学専攻	必修科目	日本史基礎演習、日本史講義、古文書読解	日本史演習I	日本史演習II
	選択科目	日本史概説I-II、日本史科学、日本文化史I-II、歴史学概論、歴史学史、日本考古学I-II、西洋史概説、日本民俗学I-II、歴史地理学、日本思想史I-II、アジア近現代史論、アジア近現代史論、古典文学古文書読解、日本語史、家系・村落史、漢文学I-II	日本社会史特殊講義I-II、日本史特殊講義I-IV	
アジア史学専攻	必修科目	アジア史基礎演習、アジア史基礎講義、アジア近現代史論	アジア史演習I アジア史講義	アジア史演習II
	選択科目	歴史学史、歴史学概論、アジア考古学I-II、西洋史概説、日本史概説I-II、日本考古学I-II、歴史地理学、人間活動の地理学、東洋政治思想史I-II、仏教思想I-II、漢文学I-II、中国文学史(古代・中世)、中国文学史(近世・近代)、中国古文書講読I	アジア諸国史特殊講義I-II、中国古文書講読II	
地理学専攻	必修科目	地理学研究法、地理学基礎実習、地理学講義、地理学演習I	地理学演習II	
	選択科目	地理学フィールドワーク実習I、測量学I-II、地球環境科学I-II、自然地域システム特殊講義I-II、歴史地理学、人間活動の地理学、日本民俗学I-II、日本文化史I-II、日本考古学I-II、アジア考古学I-II、アジア近現代史論、西洋史概説、都市社会学、環境社会学、社会心理学	地理学フィールドワーク実習II、地誌学I-II、人文地域システム特殊講義	都市・観光地理学、国際地域研究
日本文学専攻	必修科目	日本古典文学基礎演習、日本近代文学基礎演習、日本語学基礎演習、日本古典文学概論、日本近代文学概論、日本語学概論	日本文学演習I、日本語学演習I	日本文学演習II、日本語学演習II
	選択科目	日本古典文学史、日本近代文学史、日本語史、日本古典文学講義I、日本近代文学講義I、日本語学講義I、日本古典文学資料論、古典文学古文書読解、漢字文化論、日本近代文学I、日本語教育研究I-II、児童文学I-II、漢文学I-II	日本古典文学講義II、日本近代文学講義II、日本語学講義II、日本古典文学特殊講義、日本近代文学特殊講義、日本語学特殊講義、日本語文法論、日本近代文学II	
中国語中国文学専攻	必修科目	中国古文書講読I、中国文学講義I、中国語学基礎演習	中国文学演習I	中国文学演習II
	選択科目	中国文学史(古代・中世)、中国文学史(近世・近代)、中国文学概論、中国文芸論、日中比較文学(古代)、日中比較文学(近代)、漢文学I-II、漢文研究I-II、書道論I-II	中国古文書講読II、中国文学講義II、中国語学演習	中国語学概論、中国語文法論、中国文学特殊講義、中国文学作家作品論
英語圏文学専攻	必修科目	English Pronunciation, English Reading, English Grammar, English Composition, Creative Writing I-II, 英語学、イギリス文学、アメリカ文学、英語圏地域研究、英語圏文化史	英語学演習II、イギリス文学演習II-II、アメリカ文学演習II-II、英語圏文化史演習II-II	
	選択科目	英語学基礎演習、イギリス文学基礎演習、アメリカ文学基礎演習、英語圏地域研究基礎演習、英語圏文化史基礎演習、欧米文芸論入門、欧米文学史概論、福祉言語学概論、言語科学入門	英語学特殊講義、イギリス文学特殊講義、アメリカ文学特殊講義、英語圏地域研究特殊講義、英語圏文化史特殊講義、英語学演習I、イギリス文学演習I、アメリカ文学演習I、英語圏地域研究演習I、英語圏文化史演習I、Discussing Current Issues I-II、比較文学、欧米文学受容史	
ドイツ文学専攻	必修科目	ドイツ語基礎演習I-II、ドイツ文学講義I-II、ドイツ語学講義I-II	ドイツ文学演習I ドイツ文学講義I-IV、ドイツ文学概論、ドイツ文学特殊講義、ドイツ語学概論、ドイツ語文法論	ドイツ文学演習II
	選択科目	欧米文芸論入門、欧米文学史概論、ドイツ文学史(現代)、ドイツ文学史(古典)、ドイツ史講読、ドイツ思想講読、福祉言語学概論、言語科学入門、外国語としてのドイツ語I	比較文学、欧米文学受容史、外国語としてのドイツ語II-III	外国語としてのドイツ語IV
フランス文学専攻	必修科目	フランス語基礎演習I-II、フランス語学講義I-II、フランス文学史(中世・近代)、フランス文学史(近現代)	フランス文学演習I フランス語学概論、フランス語文法論、フランス文学講義I-II	フランス文学演習II
	選択科目	フランス哲学講義I、欧米文芸論入門、欧米文学史概論、福祉言語学概論、言語科学入門、フランス語・フランス文学特殊講義I、フランス事情	フランス文化論I-II、フランス哲学講義II、比較文学、欧米文学受容史、フランス語・フランス文学特殊講義II、外国語としてのフランス語I-II	フランス哲学講義III、外国語としてのフランス語III-IV

教学
文学部

経済学部

経済学部カリキュラム

卒業に最低必要な単位 合計124単位／専門教育科目 70単位
 共通教育科目 40単位／フリーゾーン 14単位 (全ての科目群から選択)



教学
経済学部

導入科目	経済学への招待 学習法		
経済学の基礎	マクロ経済学、ミクロ経済学、資本主義経済論I	資本主義経済論II、経済史、統計学	
理論・情報	経済数学(代数)、経済数学(微積)	経済学史I・II、公共経済学、環境経済学、中級マクロ経済学、中級ミクロ経済学、金融論、経済データ分析、経済統計学、計量経済学I	貨幣信用論、経済原論、非営利経済論、実証経済分析、計量経済学II、産業組織論 経済学特殊講義
歴史・政策	履修コースとして6コースを設けました。専門科目群の中で重点的に学習する領域を選択できるこのコース制により、体系的な学習を可能にしています。	財政学I・II、経済政策I・II、社会政策、比較経済史	産業政策論、環境・エネルギー政策論、労働経済論、社会保障論、西政近代社会思想史、現代社会思想史、近代日本経済史、現代日本経済史、日本交通経済史、西洋経済史概論、西洋経済史、アメリカ経済史、近代中国経済史、中国歴史地理学、公共政策特殊講義
日本経済		日本経済論、地域経済論I・II、地方財政学、地域政策論、地場産業論、中小企業論	地域経営論、地域経済史、経済地理、都市経済論、ネットワーク経済論、流通経済論、観光論、農業経済論、日本経済特殊講義
国際経済		国際経済学、国際金融論、貿易政策論、国際政治経済学、多国籍企業論、国際ビジネス論、国際観光論、国際開発論、開発経済論、アメリカ経済論、中国経済論、中国産業概論、中国企業経営論、中国農業論、中国のアジア太平洋政策、アジア太平洋経済論、アジア比較経済論、韓国経済論、東アジアの自動車産業	地球資源論、ヨーロッパ経済論、移行経済論、国際経済特殊講義
隣接・関連分野科目		社会福祉理論、社会福祉政策、行動科学、民衆論、情報システム構築論、総合マルチメディア論、ウェブデザイン論	産業社会学、経営管理論、基礎簿記論、応用簿記論、会計学、現代社会と食文化、文化論、スポーツ経済・社会学、健康・スポーツ情報論、行政法、国際ビジネス法、民法1部・2部、商法、経済法、労働法
外国語科目		時事中国語I・II	外国語講読I・II、経済英語I・II、経済中国語I・II
その他		特別講義A・B・C、社会研修	
演習系科目		調査法 研究法 フィールドワーク方法論、フィールドワーク	専門演習I 専門演習II 卒業研究

卒業研究の主なテーマ

- 日本版金融ビッグバン
～金融機関の変貌と将来の展開～
- グローバル化における一考察
～アメリカ依存経済からの脱却～
- 「格差社会」それとも「格差機関」?
～今、問われる格付け責任と信頼性～
- 銀行業務～銀行マンへの第一歩～
- 日本、アメリカ、スウェーデンの福祉制度比較
- バイオ燃料の現状と展望
～主要生産国の食料問題との関係～
- メガスポーツイベントの経済効果と影響
- 愛知県の魅力ある都市化計画
- 食の地域ブランドによるまちづくり
- 世界におけるBPIICのプレゼンス
- 急成長するイスラム金融
- 日韓ワールドカップの経済波及効果 など

外国語	<ul style="list-style-type: none"> ●英語/ReadingI～III、Communicative EnglishI・II、Practical English、Advanced EnglishI・II、Current EnglishI・II、Communication SkillsI～IV ●中国語/入門中国語I・II、基礎中国語I・II、応用中国語I・II、総合中国語I・II、中国語会話(初級)I・II、中国語会話(中級)I・II、コミュニケーション中国語I・II B ●フランス語/入門フランス語I・II、基礎フランス語I・II、応用フランス語I・II、総合フランス語I・II、フランス語会話(初級)I・II、フランス語会話(中級)I・II、コミュニケーションフランス語I・II A、コミュニケーションフランス語I・II B ●ドイツ語/入門ドイツ語I・II、基礎ドイツ語I・II、応用ドイツ語I・II、総合ドイツ語I・II、ドイツ語会話(初級)I・II、ドイツ語会話(中級)I・II、コミュニケーションドイツ語I・II A、コミュニケーションドイツ語I・II B ●ロシア語/入門ロシア語I・II、基礎ロシア語I・II、応用ロシア語I・II、総合ロシア語I・II ●タイ語/入門タイ語I・II、基礎タイ語I・II、応用タイ語I・II、総合タイ語I・II ●韓国語/入門韓国語I・II、基礎韓国語I・II、応用韓国語I・II、総合韓国語I・II ●日本語/日本語表現I・II、日本語論文技術(基礎)I・II、日本語総合I・II、日本語論文技術(応用)I・II、アカデミック日本語I・II、ビジネス日本語I・II ●外国語理解/世界の言語I・II、古典言語I・II
情報	<ul style="list-style-type: none"> ●総合演習/情報総合演習 ●情報科学/マルチメディア表現、ネットワークとセキュリティ、モデル化とデータベース、プログラミング、情報の科学、情報と社会
自然	<ul style="list-style-type: none"> ●自然・数理・環境/物質の科学、地球の科学、宇宙の科学、数理科学、統計学入門、科学技術史、現代技術と社会、地球環境問題、自然環境と地理、現代科学技術論、テーマスタディ自然 ●身体生命/生物の科学、生態学、動物行動学、スポーツ科学、健康行動論
社会	<ul style="list-style-type: none"> ●歴史・社会/歴史学、社会学、地理学、ジェンダー論、選挙の世界、中国の社会問題、ボランティア活動論、高齢者生活論、ジャーナリズム論、テーマスタディ社会 ●政治・経済/政治学、経済学、法学、現代中国の世相、アジアの政治と経済、経営学、憲法
人文	<ul style="list-style-type: none"> ●思想文化/哲学、論理学、宗教学、心理学、心の働き、文化人類学、現代の思想、民俗論、生活文化史、スポーツ文化論、日本事情I・II ●芸術・文学/文学、日本語学、古典の世界、言語と文化、芸術論、テーマスタディ人文
総合	平和学、地域の環境、地域の文化と歴史、大学史、連携講座
体育	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎/コンディショニング、生涯スポーツ ●発展/リフレッシュスポーツ、ウエイトトレーニング、スノースポーツ

国際コミュニケーション学部

言語コミュニケーション学科カリキュラム

卒業に最低必要な単位 合計124単位 / 専門教育科目 62単位
 共通教育科目 44単位 / フリーゾーン 18単位 (全ての科目群および比較文化学科の指定する授業科目の中から選択)

比較文化学科カリキュラム

卒業に最低必要な単位 合計124単位 / 専門教育科目 62単位
 共通教育科目 44単位 / フリーゾーン 18単位 (全ての科目群および言語コミュニケーション学科の指定する授業科目の中から選択)



英語	Reading I・II, Communicative English I・II, Communication Skills I~IV	Reading III, Practical English, Advanced English I・II, Current English I・II		
中国語	入門中国語 I・II, 基礎中国語 I・II, 中国語会話(初級) I・II	応用中国語 I・II, 総合中国語 I・II, 中国語会話(中級) I・II	コミュニケーション中国語 I・II A, コミュニケーション中国語 I・II B	
フランス語	入門フランス語 I・II, 基礎フランス語 I・II, フランス語会話(初級) I・II	応用フランス語 I・II, 総合フランス語 I・II, フランス語会話(中級) I・II	コミュニケーションフランス語 I・II A, コミュニケーションフランス語 I・II B	
ドイツ語	入門ドイツ語 I・II, 基礎ドイツ語 I・II, ドイツ語会話(初級) I・II	応用ドイツ語 I・II, 総合ドイツ語 I・II, ドイツ語会話(中級) I・II	コミュニケーションドイツ語 I・II A, コミュニケーションドイツ語 I・II B	
ロシア語	入門ロシア語 I・II, 基礎ロシア語 I・II	応用ロシア語 I・II, 総合ロシア語 I・II		
タイ語	入門タイ語 I・II, 基礎タイ語 I・II	応用タイ語 I・II, 総合タイ語 I・II		
韓国・朝鮮語	入門韓国・朝鮮語 I・II, 基礎韓国・朝鮮語 I・II	応用韓国・朝鮮語 I・II, 総合韓国・朝鮮語 I・II		
日本語	日本語表現 I・II, 日本語論文技術(基礎) I・II	日本語総合 I・II, 日本語論文技術(応用) I・II	アカデミック日本語 I・II, ビジネス日本語 I・II	
外国理解	外国理解(英語圏・ドイツ語圏・フランス語圏・中国語圏・韓国語圏・タイ語圏) I・II, 海外セミナー(英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語) I・II	世界の言語 I・II, 古典言語 I・II		

短期語学セミナー
 夏期・春期休暇を利用し、イギリス・アメリカ・オーストラリア・ドイツ・フランス・中国・韓国 の7ヶ国で、4週間程度の短期留学に参加するプログラムです。

長期留学制度
 アメリカ・カナダ・イギリスなどの提携校へ半年間もしくは1年間留学する制度を用意。留学先で修得した単位は本学の単位として認定され4年間で卒業が可能です。

基礎科目	外国語学習入門, 比較文化入門, 言語文化論, 文化人類学入門, 国際政治論入門, 国際ビジネス入門, 生活文化論, 日本文化入門, 異文化間コミュニケーション, 言語学概論 I・II, フィールドワーク入門	比較文化論 I (比較思想)・II (比較文学)・III (比較宗教), 映像コミュニケーション, ネットワークコミュニケーション	2年次の2週間、アメリカ・ニューヨーク州で現地調査を実施。テレビ局や大型食料品店、学校などでのインタビューを通して、アメリカ社会の一面を体験的に学びます。	
演習科目	入門ゼミ, 日本語コミュニケーション技術 I	国際フィールドワーク I, 国際フィールドワーク II, 日本語コミュニケーション技術 II	演習 I・II	演習 III・IV, 卒業研究
英語	英会話初級 I・II, 英作文初級 I・II	英会話初級 III・IV, 英会話中級 I, 英作文初級 III, English Grammar I	英会話中級 II・III, 英作文中級 II, English Grammar II, Mass Media English, Business English	英作文上級, 英会話上級 I・II
関連する科目	英語学概論, 英語音声学, British History, American History, 日英通訳法, 日英翻訳法		英語の歴史, 英語学演習, イギリス文学講義, アメリカ文学講義, 中国語テキスト講読 I・II, 中国語応用会話 I・II, ドイツ語テキスト講読 I・II, ドイツ語応用会話 I・II	

基幹科目	外国語学習入門, 比較文化入門, 言語文化論, 文化人類学入門, 国際政治論入門, 国際ビジネス入門, 異文化間コミュニケーション, 言語学概論 I・II, 日本文化入門, 生活文化論, 現代ヨーロッパ事情, 現代アメリカ事情, 現代アジア事情, 現代日本の生活文化, 欧米の生活文化, フィールドワーク入門	映像コミュニケーション, ネットワークコミュニケーション, 比較文化論 I (比較思想)・II (比較文学)・III (比較宗教)		
演習科目	入門ゼミ, 基礎演習	国際フィールドワーク I, 国際フィールドワーク II, 外国書ゼミ I・II	演習 I・II	演習 III・IV, 卒業研究
欧米文化		ヨーロッパの文化 I・II, イギリスの文化, ヨーロッパ文化史, キリスト教とヨーロッパ, アメリカの文化 I・II, 欧米の民俗学		
アジア文化	アメリカ・韓国・中国・タイ / フィールドワーク アメリカ, アジア地域の3ヶ国で2週間の現地調査を実施。現地での活動を通して、これらの国をより深く理解することができます。	中国の文化, 韓国の文化, 東南アジアの文化, インドの社会と文化, 現代アジアの生活文化 I・II, アジアの伝承文化 I・II		
日本文化		日本文化史, 日本人と思想, 日本人と宗教, 日本の伝承文化, 日本の伝統芸能, 日本語と日本人, 日本語教育研究 I・II		
主題研究		現代フォーカロア方法論, 民具・民芸論, 民族芸術論, 観光文化論, 博物館展示論, ティーロード文化論, 比較文化特講 I・II		
国際関係・国際ビジネス		国際政治論 I・II, 比較経済システム論, 国際開発論, 国際文化関係論, グローバリズム論 I・II, イスラーム世界論, 平和研究, 国際ビジネス論 I・II, 国際観光論, 国際観光地理, アメリカ経済論, アジア比較経済論, 中国経済論	ヨーロッパ経済論, 基礎簿記論, 会計学	
英語		Cultural Studies in English I・II, Advanced Writing, Critical Readings, Media Studies		

情報	●総合演習 / 情報総合演習 ●情報科学 / マルチメディア表現, ネットワークとセキュリティ, モデル化とデータベース, プログラミング, 情報の科学, 情報と社会
自然	●自然・数値・環境 / 物質の科学, 地球の科学, 宇宙の科学, 数理解科学, 統計学入門, 科学技術史, 現代技術と社会, 地球環境問題, 自然環境と地理, 現代科学技術論, テーマスタディ自然 ●身体・生命 / 生物の科学, 生態学, 動物行動学, スポーツ科学, 健康行動論
社会	●歴史・社会 / 歴史学, 社会学, 地理学, ジェンダー論, 遺跡の世界, 中国の社会問題, ボランティア活動論, 高齢者生活論, ジャーナリズム論, テーマスタディ社会 ●政治・経済 / 政治学, 経済学, 法学, 現代中国の世相, アジアの政治と経済, 経営学, 憲法
人文	●思想・文化 / 哲学, 論理学, 宗教学, 心理学, 心の働き, 文化人類学, 現代の思想, 民俗論, 生活文化史, スポーツ文化論, 日本事情 I・II ●芸術・文学 / 文学, 日本語学, 古典の世界, 言語と文化, 芸術論, テーマスタディ人文
総合	平和学, 地域の環境, 地域の文化と歴史, 大学史, 連携講座

●基礎 / コンディショニング, 生涯スポーツ ●発展 / リフレッシュスポーツ, ウエイトトレーニング, スノースポーツ

国際コミュニケーション学部

法学部

法学部カリキュラム

卒業に最低必要な単位 合計124単位/専門教育科目/共通教育科目
フリーゾーン(全ての科目群から選択)



基礎法部門		法思想史I・II、比較法I・II	法哲学I・II、法社会学I・II、西洋法制史I・II、日本近代法制史I・II、外国法I・II、中国法I・II	
公法部門	憲法-基本的人権、憲法-統治機構I・II	行政法総論I・II、国際法総論I・II、刑法総論	行政救済法、行政法各論、租税法I・II、国際法各論、国際組織法、刑法各論I・II、刑事訴訟法I・II、刑事政策I・II	
私法部門	民法総論、家族法	物権法、契約法I・II、不法行為法、商法総論、消費者保護法	担保物権法、債権法I・II、相続法、民事訴訟法I・II、民事執行法、破産法、国際取引法I・II、国際私法I・II、商取引法、会社法I・II、手形法・小切手法I・II、保険法、労働法I・II、社会保険法、社会福祉法、経済法I・II、知的所有権法	
行政・政治部門	政治学I・II、行政学I・II、日本政治論I・II、中国政治論	日本政治史I・II、ヨーロッパ政治史I・II、中国政治体制論、中国政治思想史	ヨーロッパ(政治思想史I・II、ヨーロッパの政治文化I・II、国際政治史I・II、公共政策論I・II、欧米政治論I・II、地方自治論I・II、第三世界の政治)	
演習部門	入門演習	基礎演習	専門演習I	専門演習II、卒業論文
特殊部門			外国法政研究I・II、法律学特殊講義、政治学特殊講義	外国法政研究III・IV
他学部部門	経営学総論、現代日本の企業経営、現代企業の経営環境、日中間係論	企業形態論、会計学基礎理論、金融政策、国際経済論、国際金融論、財政学理論、財政学政策、日本外交論、国際関係論、南北問題、平和学		
教職課程科目	授業構成法演習(社会)	授業コミュニケーション論(社会系)、授業構成法(社会系・公民分野)		

教学
法学部

外国語	<ul style="list-style-type: none"> ●英語/TOEICⅢ、論説英文講読Ⅰ～Ⅳ、特別基礎英語Ⅰ～Ⅳ、コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、メディア英語Ⅰ・Ⅱ、表現英語Ⅰ・Ⅱ、英文小説講読Ⅰ・Ⅱ、英語演習Ⅰ～Ⅳ ○ドイツ語/ドイツ語入門、ドイツ語基礎、ドイツ語応用Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語発展Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語演習Ⅰ～Ⅳ ○フランス語/フランス語入門、フランス語基礎、フランス語応用Ⅰ・Ⅱ、フランス語発展Ⅰ・Ⅱ、フランス語演習Ⅰ～Ⅳ ○中国語/中国語入門、中国語基礎、中国語応用Ⅰ・Ⅱ、中国語発展Ⅰ・Ⅱ、中国語演習Ⅰ～Ⅳ ○韓国・朝鮮語/韓国・朝鮮語入門、韓国・朝鮮語基礎、韓国・朝鮮語応用Ⅰ・Ⅱ、韓国・朝鮮語発展Ⅰ・Ⅱ、韓国・朝鮮語演習Ⅰ～Ⅳ ○日本語/日本語Ⅰ～Ⅳ、専門日本語Ⅰ・Ⅱ、ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ、日本事情Ⅰ・Ⅱ <p>●第一外国語 ○第二外国語(1言語選択)</p>
自然	<ul style="list-style-type: none"> ●数理情報/代数基礎、線形代数、微積分の基礎、微積分の応用、確率の基礎、確率の応用、統計の基礎、統計の応用、Web site構築、プレゼンテーション技術、マルチメディア表現法、情報倫理、社会データ分析入門、情報化社会論、命題計算とデジタル回路、コンピュータ科学の基礎、数値とプログラム入門、数値とプログラム応用、情報リテラシー入門、情報リテラシー応用 ●生命・環境/科学と社会、現代科学の諸問題、宇宙、地球、物質科学、資源・エネルギー、環境の科学、環境と都市、生命科学基礎、生命科学応用、生物コミュニケーション、生理行動基礎、生理行動応用、健康と運動の科学、健康と栄養、スポーツの科学、身体とコンディショニング
社会	<ul style="list-style-type: none"> ●政治・経済/憲法とくらし、法とくらし、政治とくらし、市場経済とくらし、国民所得とくらし、経済と社会、国際社会と政治、政治と社会、政治と国家、情報と社会 ●歴史・社会/社会科学入門、社会科学応用、社会科学基礎、現代コミュニティ論、現代社会論、国際社会とNGO、現代社会とメディア、社会思想史、日本史、西洋史、東洋史、東アジア近代史、近代アジアと日本、近代アジアと欧米、アジア地誌、国際事情、地理学通論、地誌学
人文	<ul style="list-style-type: none"> ●思想文化/人間と文化、人間と社会、思想と文化、思想と社会、言語と人間、民族と文化、民族と国家、社会と宗教、異文化コミュニケーション、思想文化総論、思想文化特論、倫理学通論 ●芸術・文学/文学と人間(アジア)、文学と人間(欧米)、文学と人間(日本)、美術と人間、映画と人間、音楽と人間、演劇と人間
総合	<ul style="list-style-type: none"> ●総合科目 ●総合演習/総合演習Ⅰ～Ⅳ ●体育 ヘルスエクササイズ入門、ヘルスエクササイズ基礎、ヘルスエクササイズ応用、ヘルスエクササイズ選択Ⅰ・Ⅱ

経営学科カリキュラム

卒業に最低必要な単位 合計124単位/専門教育科目 64単位/共通教育科目 33単位
フリーゾーン 27単位(全ての科目群から選択)

会計ファイナンス学科カリキュラム

卒業に最低必要な単位 合計124単位/専門教育科目 64単位/共通教育科目 33単位
フリーゾーン 27単位(全ての科目群から選択)

経営学部

1年次・2年次

経営学・会計学の専門分野に加え、人文、社会、外国語などを学び、4年間の学びの基礎をつきます。

→3年次

専門教育は、講義科目と少数セミナーの関連を重視して進められます。

→4年次

3年次の「専門演習」で扱ったテーマをもとに「卒業論文」に挑戦します。

学部	学科	1年次	2年次	3年次	4年次		
経営学	学科共通部門	経営学基礎、基礎簿記論、流通総論、情報システム概論、国際経営論、ミクロ経済学、マクロ経済学、現代日本の企業経営、現代企業の経営環境	経営管理概論、統計学概論				
	ビジネス部門		経営学原理、企業理論I、経営史、日本経営史、企業形態論、現代企業論	企業理論II、公共経営論、中小企業論、ベンチャービジネス論、経営立地論			
	マネジメント部門		経営管理システム論、経営戦略論、コーポレートファイナンス論	人事管理論、労使関係論、生産管理論、品質管理論、販売管理論、経営組織論、組織動態論、立地分析論			
	流通部門	流通政策	交通論、交通経営論、国際流通論、金銭概論、物流論、貿易実務論、物流システム論	損害保険論			
	マーケティング部門	マーケティング論	消費者行動論、消費者行動分析、マーケティング戦略論、マーケティングシステム、サービスマーケティング、ソーシャルマーケティング、環境マーケティング	マーケティング情報論、広告コミュニケーション、小売マーケティング			
	情報システム部門	コンピュータ制御	経営工学入門、プログラミング入門、多変量解析、経営データ解析、オペレーションズリサーチ、プログラミング論、アルゴリズム、オペレーティングシステム論、データベース論、情報システム組織論、企業情報システム論、ソフトウェアツール	シミュレーション論、ソフトウェア工学、コンピュータネットワーク論、コンピュータセキュリティ論、システムデザインI・II、システム管理、国際情報ネットワーク論			
	国際経営部門		多国籍企業論、国際経営戦略論、国際マーケティング論、比較経営史、イギリス経営史	技術移転論、国際人事管理論			
	地域ビジネス部門		アジア企業論、アジア企業経営論、アジア経営比較論、中国外資経営論、中国経営論、ユーロビジネス論、アメリカビジネス論	中国企業改革論			
	ビジネス実践部門		国際経済事情、国際ビジネス論、国際ビジネス実践	国際ビジネス法務、ビジネスと文化、ビジネス英語I・II			
	演習部門	入門ゼミ	外国書講読I・II	外国書講読III・IV 専門演習I	専門演習II、卒業論文		
	その他			経営学特殊講義、ビジネス研修			
	他学部部門	民法総論、政治学I・II		国際社会調査論			
教職課程科目	授業構成法演習(社会)						
会計学	学科共通部門	会計学概論、商業簿記初級、商業簿記中級I、経営学概論I・II、ミクロ経済学、マクロ経済学	商業簿記中級II、統計学概論、企業法概論I・II、法人税法	財務諸表分析論、経営分析論、国際会計論、知的財産評価論、企業価値評価論			
	アカウンティング部門		商業簿記上級、工業簿記I・II、会計学基礎理論、財務諸表論、原価計算論、経営原価計算論、予算管理論、会計情報処理論	財務会計論総合研究、連結会計論、制度会計論、管理会計基礎理論、管理会計応用理論、管理会計論総合研究、会計監査論I・II、会計監査論総合研究、税務会計基礎理論、税務会計応用理論、国際会計基準論、公会計論I・II、環境会計論I・II、英文会計			
	ファイナンス部門		ファイナンス理論、経営財務論、金庫論、金融政策、国際経済論、国際金融論、金融・証券市場論、年金・保険論、財政学・理論、財政学・政策	資本調達論、投資決定論、国際財務論、金融工学、金融機関論、外国為替論、証券分析論、証券投資論			
	演習部門	入門ゼミ	外国書講読I・II	外国書講読III・IV 専門演習I	専門演習II、卒業論文		
	その他			会計学特殊講義、ファイナンス特殊講義、ビジネス研修			
	他学部部門	民法総論、政治学I・II		国際社会調査論、中国投資論			
	教職課程科目	授業コミュニケーション論(商業)、授業構成法演習(商業)I					
	外国語		<ul style="list-style-type: none"> ●英語/TOEIC～Ⅲ、論説英文講読I～IV、特別基礎英語I～IV、コミュニケーション英語I・II、メディア英語I・II、表現英語I・II、英文小説講読I・II、英語演習I～IV ○ドイツ語/ドイツ語入門、ドイツ語基礎、ドイツ語応用I・II、ドイツ語発展I・II、ドイツ語演習I～IV ○フランス語/フランス語入門、フランス語基礎、フランス語応用I・II、フランス語発展I・II、フランス語演習I～IV ○中国語/中国語入門、中国語基礎、中国語応用I・II、中国語発展I・II、中国語演習I～IV ○韓国/朝鮮語/韓国朝鮮語入門、韓国朝鮮語基礎、韓国朝鮮語応用I・II、韓国朝鮮語発展I・II、韓国朝鮮語演習I～IV ○日本語/日本語I～Ⅶ、専門日本語I・II、ビジネス日本語I・II、日本事情I・II 				
			●第一外国語 ○第二外国語(1言語選択)				
		自然		<ul style="list-style-type: none"> ●数理・情報/代数基礎、線形代数、微分積分の基礎、微分積分の応用、確率の基礎、確率の応用、統計の基礎、統計の応用、Web site構築、プレゼンテーション技術、マルチメディア表現法、情報倫理、社会データ分析入門、情報化社会論、命題計算とデジタル回路、コンピュータ科学の基礎、数値とプログラム入門、数値とプログラム応用、情報リテラシー入門、情報リテラシー応用 ●生命・環境/科学と社会、現代科学の諸問題、宇宙、地球、物質科学、資源・エネルギー、環境の科学、環境と都市、生命科学基礎、生命科学応用、生物コミュニケーション、生理行動基礎、生理行動応用、健康と運動の科学、健康と栄養、スポーツの科学、身体とコンディショニング 			
				●政治・経済/憲法とくらし、法とくらし、政治とくらし、市場経済とくらし、国民所得とくらし、経済と社会、国際社会と政治、政治と社会、政治と国家、情報と社会			
		社会		●歴史・社会/社会科学入門、社会科学応用、社会学基礎、現代コミュニティ論、現代社会論、国際社会とNGO、現代社会とメディア、社会思想史、日本史、西洋史、東アジア近代史、近代アジアと日本、近代アジアと欧米、アジア地誌、国際事情、地理学通論、地誌学			
人文		●思想文化/人間と文化、人間と社会、思想と文化、思想と社会、言語と人間、民族と文化、民族と国家、社会と宗教、異文化コミュニケーション、思想文化総論、思想文化特論、倫理学通論					
		●芸術・文学/文学と人間(アジア)、文学と人間(欧米)、文学と人間(日本)、美術と人間、映画と人間、音楽と人間、演劇と人間					
総合		●総合科目 ●総合演習/総合演習I～IV					
		●体育 ●ヘルスエクササイズ入門、ヘルスエクササイズ基礎、ヘルスエクササイズ応用、ヘルスエクササイズ選択I・II					

現代中国学部

現代中国学部カリキュラム

卒業に最低必要な単位 合計124単位／専門教育科目 71単位／共通教育科目 27単位
 フリーゾーン 26単位(全ての科目群から選択)



英語	TOEICⅠ-Ⅱ	TOEICⅢ, 特別基礎英語Ⅰ-Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅰ-Ⅱ, メディア英語Ⅰ-Ⅱ, 表現英語Ⅰ-Ⅱ, 英文小説読解Ⅰ-Ⅱ	特別基礎英語Ⅲ・Ⅳ, 論説英文講読Ⅰ-Ⅱ, 英語演習Ⅰ-Ⅱ	論説英文講読Ⅲ・Ⅳ, 英語演習Ⅲ・Ⅳ
中国語強化部門		中国語プレゼンテーションⅠ	中国語プレゼンテーションⅡ・Ⅲ, 上級中国語Ⅰ-Ⅱ	上級中国語Ⅲ
語学部門	中国語発音Ⅰ-Ⅱ, 中国語Ⅰ～Ⅶ	中国現地プログラム 中国語Ⅷ, 中国語Ⅸ, 中国語Ⅺ, 中国語Ⅻ, 中国語ⅫⅠ, 中国語ⅫⅡ, 中国語ⅫⅢ, 中国語ⅫⅣ, 中国語ⅫⅤ, 中国語ⅫⅥ, 現地実習入門, 中国文化講座, 現代中国社会論	英語リスニング, 実用オフィス英語Ⅰ	中国現地プログラム ～中国語の集中レッスン～ 第3セメスターの4ヶ月間, 2年生全員が天津・南開大学漢語言文化学院に留学します。語学研修を中心とし、「中国語(精読, 口語, 聴力, 翻訳)」「現代中国社会論」「中国文化講座」などの科目を履修します。キャンパス内の南開愛大会館(留学研修センター)で留学生生活を送ります。
中国現地プログラム 留連部門	現地プログラム基礎, 現地プログラム生活事前教育			
専門共通部門	中国研究入門Ⅰ-Ⅱ, 現代日本社会論, 現代中国学原論, 経済の基礎, 経営の基礎, 中国思想概説, 中国文学概説, 日中戦争史, 日中関係論, 中国政治論	中国地理, 情報産業論, 中国語学概説, 中国前近代史, 中国近代史, 国際関係論, 中国法概説, コミュニケーション中国語Ⅰ, 日中ビジネス会話Ⅰ	国際社会調査論, 現地研究実習基礎, コミュニケーション中国語Ⅱ, 日中ビジネス会話Ⅱ	
ビジネス部門		中国近代経済史, 中国体制改革, 中国経済論, 中国産業論, 中国農業論, 中国農民経済論, 中国企業論, 中国貿易論, 華人企業経済論	中国現代経済史, 中国経済改革, 中国投資論, 日中ビジネス基礎論, 日中ビジネス実践論, 日中比較経営論	
言語文化部門		中国現代文学史, 中国語文法論, 中国語学概説, ビンナン語Ⅰ-Ⅱ, 中国語方言Ⅰ-Ⅱ, 中国古典文論, 東アジア古典芸術論, 東アジア現代芸術論, 中国民俗学	中国語表現論, 中国語語彙論, 中国語文法論, 中国語学概説, 中国現代文学論, 華人現代文学論	
国際関係部門		南北問題, 開発経済学, 国際文化論, 平和学, 日本外交論, 東アジア国際政治, 東アジア経済論, アジア社会論, 中国外交論, 中国政治体制論, 国際経済学, 中国民族論, 中国政治思想史	発展途上国経済論, 中国法	中国現地研究実習 ～フィールドワーク～ 3年次の3週間, 学生自身が中国を訪れ, 中国社会の実情を多面的に研究。その結果を, 中国主要大学の学生との日中学生会シンポジウムで発表, ディスカッションします。
外国語講読		外国語講読Ⅰ-Ⅱ		
実習部門			中国現地研究実習	
演習部門	入門演習, 基礎演習	プレ演習	中国現地インターンシップ ～企業研修～ 3年次の2週間, 学生自身が中国の日系企業を訪れ, 企業研修に従事。その結果を報告書で発表し, 実務経験を就職活動に活かします。	専門演習Ⅰ-Ⅱ 卒業研究
中国語情報部門	ネットワーク情報論, ソフトウェア演習			
その他		現代中国学特殊講義	日中企業研修	
他学部部門	経営学総論, 現代日本の企業経営, 現代企業の経営環境	国際法総論Ⅰ-Ⅱ, 会計学基礎理論, 財政学理論		
教職課程科目		授業コミュニケーション論(言語系), 授業コミュニケーション論(社会系), 授業構成法(社会系/地域分野)	授業構成法演習(中国語)Ⅰ	

教学 現代中国学部

外国語	●ドイツ語/ドイツ語入門, ドイツ語基礎, ドイツ語応用Ⅰ-Ⅱ ●フランス語/フランス語入門, フランス語基礎, フランス語応用Ⅰ-Ⅱ ●韓国/朝鮮語/韓国/朝鮮語入門, 韓国/朝鮮語基礎, 韓国/朝鮮語応用Ⅰ-Ⅱ ●日本語/日本語Ⅰ～Ⅷ, 専門日本語Ⅰ-Ⅱ, ビジネス日本語Ⅰ-Ⅱ, 日本語Ⅰ-Ⅱ			
自然	●数理・情報/代数基礎, 線形代数, 微分積分の基礎, 微分積分の応用, 確率の基礎, 確率の応用, 統計の基礎, 統計の応用, Web site構築, プレゼンテーション技術, マルチメディア表現法, 情報倫理, 社会データ分析入門, 情報化社会論, 命題計算とデジタル回路コンピュータ科学の基礎, 数理とプログラム入門, 数理とプログラム応用, 情報リテラシー入門, 情報リテラシー応用 ●生命・環境/科学と社会, 現代科学の諸問題, 宇宙, 地球, 物質科学, 資源・エネルギー, 環境の科学, 環境と都市, 生命科学基礎, 生命科学応用, 生物コミュニケーション, 生理行動基礎, 生理行動応用, 健康と運動の科学, 健康と栄養, スポーツの科学, 身体とコンディショニング			
社会	●政治・経済/憲法とくらし, 法とくらし, 政治とくらし, 市場経済とくらし, 国民所得とくらし, 経済と社会, 国際社会と政治, 政治と社会, 政治と国家, 情報と社会 ●歴史・社会/社会科学入門, 社会科学応用, 社会学基礎, 現代コミュニケーション論, 現代社会論, 国際社会とNGO, 現代社会とメディア, 社会思想史, 日本史, 西洋史, 東洋史, 東アジア近代史, 近代アジアと日本, 近代アジアと欧米, アジア地誌, 国際事情, 地理学通論, 地誌学			
人文	●思想・文化/人間と文化, 人間と社会, 思想と文化, 思想と社会, 言語と人間, 民族と文化, 民族と国家, 社会と宗教, 異文化コミュニケーション, 思想文化概論, 思想文化特論, 倫理学通論 ●芸術・文学/文学と人間(アジア), 文学と人間(欧米), 文学と人間(日本), 美術と人間, 映画と人間, 音楽と人間, 演劇と人間			
総合	●総合科目 ●総合演習総合演習Ⅰ～Ⅳ	体育	ヘルスエクササイズ入門, ヘルスエクササイズ基礎, ヘルスエクササイズ応用, ヘルスエクササイズ選択Ⅰ-Ⅱ	

短期大学部

卒業必要単位
62単位

ベーシックフィールド
22単位以上

共通エリア
10単位以上

教養エリア
12単位以上

セレクトフィールド
24単位以上*

主要教養エリア
12単位以上

その他の
エリア

卒業プロジェクト
フィールド
4単位

フリーゾーン
12単位以上

ベーシックフィールド
セレクトフィールド
特別フィールド

*主要教養エリアから12単位以上を定め、
その上のエリアから24単位以上

フィールド	エリア	ユニット	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター
共通	共通エリア (10以上)	必修ユニット	基礎演習	発想・演習演習 キャリアプランニング		
		選択ユニット	美しい日本語 ライフプランニング 色彩とデザイン	文書表現演習		
教養	教養エリア (12以上)		文学 英米文学(児童文学) 芸術 文化人類学 現代社会のあゆみ 女性と社会 社会と福祉 コミュニティ論 法学 経済学 現代の子供と教育 地球と環境 情報文化論I 健康・スポーツI 英語初級I 中国語初級I 日本語I ドイツ語初級I フランス語初級I	哲学 流通論 情報総合演習 マルチメディア表現 ネットワークとセキュリティ モデル化のデータベース プログラミング 情報の科学 情報と社会 生涯学習概論 情報文化論II ボランティア活動 健康・スポーツII 英語初級II 中国語初級II 日本語II ドイツ語初級II フランス語初級II 大学史	英語中級I Practical English 中国語中級I 日本語III ドイツ語中級I フランス語中級I	英語中級II 中国語中級II 日本語IV ドイツ語中級II フランス語中級II
英語 コミュニケーション エリア	ABC スピーキング・ リスニングユニット		コミュニケーションリッシュI コミュニケーションリッシュプラスI 言語コミュニケーション	コミュニケーションリッシュII コミュニケーションリッシュプラスII リスニングI 英語聴解学研修入門 英語聴解短期修 日本語と英語の音声	コミュニケーションリッシュIII コミュニケーションリッシュプラスIII リスニングII	コミュニケーションリッシュIV コミュニケーションリッシュプラスIV リスニングIII
		ABC リーディング・ ライティング ユニット			ラビトリリーディングI ベーシックライティングI	ラビトリリーディングII ベーシックライティングII マスメディアイングリッシュ ビジネスイングリッシュ
日本文化 エリア	CULTURE 英米文化ユニット			西洋の伝統思想	アメリカの歴史と文化	イギリスの歴史と文化
		文化 伝統文化ユニット	日本の食と文化	日本文化のかたち 地域の文化		伝統文化演習 日本の食と文化演習
日本語 エリア	文化 現代文化ユニット			映像文化	モダンカルチャー論	エンターテインメント文化 現代文化演習
		いっは 日本文学ユニット	日本文学の歴史	近代の作家と作品 詩歌を読む	文学の現場 古典作品を読む	現代小説を読む
食・健康・スポーツ エリア	いっは 日本語技能ユニット		応用敬語	文字研究	論証作文 ドキュメンテーション演習 プレゼンテーション	図表化技法
		いっは 日本語教育技能 ユニット		日本語と英語の音声 言語コミュニケーション	日本語教師への日本語文法I	日本語教師への日本語文法II 日本語教授法
人間社会 エリア	いっは 食文化ユニット		日本の食と文化	地域の食文化 儀式行事と食	芸術と食	日本の食と文化演習
		いっは 健康・スポーツ ユニット	たべもの栄養	女性のからだと健康 食生活プランニング	アウトドアライフ演習 レジャー・レクリエーション演習	ダイエットと運動
オフィス・情報 エリア	いっは 人間社会ユニット		人間関係の心理I 心理コミュニケーション論	現代社会と生活 日本社会論 生活と福祉 人間関係の心理II 児童サービス論	社会調査法 家族論	マスメディアコミュニケーション論
		いっは オフィスユニット	ビジネス基礎	簿記会計実務I ビジネスマナー 産業社会と人間	簿記会計実務II 社会調査法 ドキュメンテーション演習 プレゼンテーション ビジネスイングリッシュ	ビジネスイングリッシュ
卒業プロジェクト フィールド(4)	いっは 情報ユニット		情報機器の操作 情報提供論	情報サービス 情報機器論	Webデザイン 情報管理 情報検索演習	図表化技法 生活と情報セキュリティ
					卒業研究I	卒業研究II
特別 フィールド	単位認定 エリア		海外研修I・II 技能検定I・II 特別講座I・II	海外研修I・II 技能検定I・II 特別講座I・II	海外研修I・II 技能検定I・II 特別聴講科目 単位互換科目	技能検定I・II 特別聴講科目 単位互換科目

大 学 院

□豊橋キャンパス

研究科区分		授 業 科 目				
経済学研究科	経済学 博士前期課程 (修士課程)	理論経済学研究Ⅰ 計量経済学研究Ⅱ 数理統計学研究Ⅰ 国際経済論研究Ⅱ 社会思想史研究 社会福祉論研究 地方財政論研究 租税実務論研究Ⅲ 日本経済論研究Ⅰ 日本経済史研究Ⅱ 現代アジア地域経済研究 現代アメリカ経済研究 中国のアジア太平洋政策研究 環境論研究Ⅰ	理論経済学研究Ⅱ 実証経済分析研究Ⅰ 数理統計学研究Ⅱ 経済原論研究Ⅰ 経済学史研究 比較経済体制論研究 社会政策研究 金融政策論研究Ⅰ 日本経済論研究Ⅱ 日本経済史研究Ⅲ ヨーロッパ経済研究 中国経済史研究 国際開発の政治経済学研究 環境論研究Ⅱ	理論経済学研究Ⅲ 実証経済分析研究Ⅱ 情報処理論研究Ⅰ 経済原論研究Ⅱ 近代経済思想史研究 環境経済学研究 経済政策論研究 金融政策論研究Ⅱ 地域経済論研究Ⅰ 日本経済史研究Ⅳ 西洋経済史研究 現代中国経済研究 グローバル経済と東海地方研究 演習	理論経済学研究Ⅳ 国際金融論研究Ⅰ 情報処理論研究Ⅱ 経済原論研究Ⅲ 近代経済学研究 財政学研究Ⅰ 租税実務論研究Ⅰ 公共経済学研究Ⅰ 地域経済論研究Ⅱ 農業経済論研究 国際比較地域経済史研究 現代韓国・朝鮮経済研究 経済学特別講義	計量経済学研究Ⅰ 国際金融論研究Ⅱ 国際経済論研究Ⅰ 経済原論研究Ⅳ 制度経済学研究 財政学研究Ⅱ 租税実務論研究Ⅱ 公共経済学研究Ⅱ 日本経済学研究Ⅰ 中小企業論研究 アメリカ経済史研究 現代アジア比較経済研究 外国文献研究
	経済学 博士後期課程	理論経済学特殊研究Ⅰ 国際経済論特殊研究 環境経済学特殊研究 現代アジア地域経済特殊研究 中小企業論特殊研究 社会政策論特殊研究	理論経済学特殊研究Ⅱ 経済学史特殊研究Ⅰ 日本経済史特殊研究Ⅰ 経済政策論特殊研究 国際金融論特殊研究 社会思想史特殊研究	計量経済学特殊研究 経済学史特殊研究Ⅱ 日本経済史特殊研究Ⅱ 農業政策論特殊研究 金融政策論特殊研究 研究演習	公共経済学特殊研究 社会主義経済論特殊研究 西洋経済史特殊研究 日本経済論特殊研究 財政学特殊研究	情報処理論特殊研究 中国経済論特殊研究 アメリカ経済史特殊研究 地域経済論特殊研究 数理統計学特殊研究
文学研究科	日本文化 博士前期課程 (修士課程)	日本文化研究方法論 日本民俗学研究 日本中近世文学研究 日本語史研究 西欧文化史研究	日本古代社会研究 日本文化史研究 日本近代文学研究Ⅰ 日本古代語研究 演習	日本中世社会研究 日本民俗資料論研究 日本近代文学研究Ⅱ 日本古典資料研究	日本近世文化研究 日本宗教論研究 日本現代文学研究 歴史地域論研究	日本近代社会研究 日本古代文学研究 日本語学研究 比較文化研究
	日本文化 博士後期課程	日本文化特殊研究Ⅰ 日本文化特殊研究Ⅵ	日本文化特殊研究Ⅱ 日本文化特殊研究Ⅶ	日本文化特殊研究Ⅲ 日本文化特殊研究Ⅷ	日本文化特殊研究Ⅳ 研究指導	日本文化特殊研究Ⅴ
	地域社会システム 博士前期課程 (修士課程)	地域社会システム研究方法論 地域社会生活論研究 歴史地域論研究 地域文化論研究	社会システム論研究 地域社会形成論研究 地域生態論研究 地域社会変動論研究	人間行動論研究 都市社会論研究 地域環境論研究 地理情報システム(GIS)論研究	生活行動論研究 地域社会システム論研究 自然地域システム論研究 地域社会システム研究特論	社会行動論研究 人文地域システム論研究 地域政策・計画論研究 演習
	地域社会システム 博士後期課程	地域社会システム特殊研究Ⅰ 地域社会システム特殊研究Ⅵ	地域社会システム特殊研究Ⅱ 地域社会システム特殊研究Ⅶ	地域社会システム特殊研究Ⅲ 地域社会システム特殊研究Ⅷ	地域社会システム特殊研究Ⅳ 研究指導	地域社会システム特殊研究Ⅴ
	欧米文化 博士前期課程 (修士課程)	欧米文化研究方法論 行動心理学研究 フランス語学研究 イギリス文学研究(詩批評) フランス文学研究(近代) 演習	ギリシャ古代哲学研究 精神分析学研究 応用フランス語学研究 イギリス文学研究(小説) フランス文学研究(現代)	ヨーロッパ近・現代哲学研究 言語文化研究 ドイツ語学研究 イギリス文学研究(劇) ドイツ文学研究(近代)	ヨーロッパ近代哲学研究 英語学研究 応用ドイツ語学研究 アメリカ文学研究a ドイツ文学研究(現代)	ヨーロッパ民俗学研究 応用英語学研究 イギリス文化研究 アメリカ文学研究b 欧米文化研究特論
欧米文化 博士後期課程	欧米文化特殊研究Ⅰ 欧米文化特殊研究Ⅵ	欧米文化特殊研究Ⅱ 欧米文化特殊研究Ⅶ	欧米文化特殊研究Ⅲ 研究指導	欧米文化特殊研究Ⅳ	欧米文化特殊研究Ⅴ	
国際コミュニケーション研究科	国際コミュニケーション (修士課程)	国際コミュニケーション研究方法論 英語コミュニケーション研究Ⅰa 英語コミュニケーション研究Ⅳ 英語圏文化研究Ⅰb 日本語学研究Ⅰa 日本語コミュニケーション研究b 日中対照言語研究a 日本語教授法Ⅱ 国際関係研究Ⅰa 国際関係研究Ⅲb 多文化間比較研究Ⅱa 多文化間比較研究Ⅳb 国際コミュニケーション研究特講Ⅲ	英語学研究Ⅰa 英語コミュニケーション研究Ⅰb 英語教育学研究Ⅰa 英語圏文化研究Ⅱa 日本語学研究Ⅰb 日本語教育学研究a 日中対照言語研究b 音声学a 国際関係研究Ⅰb 国際関係研究Ⅳa 多文化間比較研究Ⅱb 多文化間比較研究Ⅴa フィールドワーク	英語学研究Ⅰb 英語コミュニケーション研究Ⅱa 英語教育学研究Ⅰb 英語圏文化研究Ⅱb 日本語学研究Ⅱa 日本語教育学研究b 言語学特殊講義a(一般言語学) 音声学b 国際関係研究Ⅱa 国際関係研究Ⅳb 多文化間比較研究Ⅲa 多文化間比較研究Ⅴb 演習	英語学研究Ⅱa 英語コミュニケーション研究Ⅱb 英語教育学研究Ⅱ 英語圏文化研究Ⅲ 日本語学研究Ⅱb 日英対照言語研究a 言語学特殊講義b(一般言語学) 日本語論文技術a 国際関係研究Ⅱb 多文化間比較研究Ⅰa 多文化間比較研究Ⅲb 国際コミュニケーション研究特講Ⅰ	英語学研究Ⅱb 英語コミュニケーション研究Ⅲ 英語圏文化研究Ⅰa 言語文化研究 日本語コミュニケーション研究a 日英対照言語研究b 日本語教授法Ⅰ 日本語論文技術b 国際関係研究Ⅲa 多文化間比較研究Ⅰb 多文化間比較研究Ⅳa 国際コミュニケーション研究特講Ⅱ

名古屋キャンパス

研究区分		授 業 科 目				
法学研究科	公 法 学 博士後期課程	憲法研究演習 法哲学研究演習	行政法研究演習 欧米政治論研究演習	国際法研究演習	刑事法研究演習	刑事訴訟法研究演習
	私 法 学 博士後期課程	民法研究演習	商法研究演習	民事訴訟法研究演習	国際取引法研究演習	経済法研究演習
経営学研究科	経営学 博士前期課程 (修士課程)	経営学研究方法論特殊講義 国際経営論特殊講義 マーケティング論特殊講義 情報処理論特殊講義 財務会計論特殊講義 社会関連会計論特殊講義 消費者行動論特殊講義 外国文献研究 経営学原理 経営財務論 都市空間整備論 都市・地域経営論 企業予算管理論 財務会計論 国際経営論 マーケティング戦略論 ファイナンス理論 プログラム論Ⅰ システム最適化の実際 外国文献研究Ⅱ	経営学原理特殊講義 マネジメント理論特殊講義 経営立地論特殊講義 確率モデル特殊講義 管理会計論特殊講義 流通論特殊講義 国際マーケティングコミュニケーション 演習 企業論 人的資源管理論 都市アメニティ創造論 コミュニティデザイン論 社会関連会計論 国際会計基準論 中国経営経済論 日本の流通システム デリバティブの数理 プログラム論Ⅱ 生産管理システムの実 演習Ⅰ	経営史特殊講義 ファイナンス理論特殊講義 地域社会学特殊講義 統計解析特殊講義 会計監査論特殊講義 国際マーケティング論特殊講義 サービス産業論特殊講義 ビジネス・マネジメント論 人的資源開発論 地域観光経営論 コミュニティガバナンス論 比較会計制度論 環境会計論 中国外資経営論 消費者市場分析 金融システム論 情報処理論 統計による企業分析(理論) 演習Ⅱ	企業論特殊講義 労務管理論特殊講義 オペレーション/リサーチ特殊講義 情報数理特殊講義 システム監査論特殊講義 金融論特殊講義 中国経営経済論特殊講義 経営計画論 意思決定の数理 交通空間論 日本の企業会計制度 日本の企業監査制度 多国籍企業論 アジア企業論 マーケティングコミュニケーション 日本の金融政策 システム監査論 統計による企業分析(実践) 演習Ⅱ	アジア企業論特殊講義 生産管理論特殊講義 マネジメントサイエンス特殊講義 経営情報システム論特殊講義 税務会計論特殊講義 交通論特殊講義 経営学特別講義 組織イノベーション論 立地計画論 都市・地域計画論 経営原価計算論 管理会計論 国際戦略論 技術移転論 国際マーケティング 経営情報論 システム内部監査論 外国文献研究Ⅰ
		経営学 博士後期課程	企業論研究演習 オペレーション/リサーチ研究演習 金融論研究演習	マネジメント理論研究演習 財務会計論研究演習 中国経営経済論研究演習	ファイナンス理論研究演習 原価計算論研究演習 ユーロ/トファイナンス研究演習	マーケティング論研究演習 国際会計論研究演習
	中国研究科	中国研究 博士前期課程 (修士課程)	中国学総論 a 中国語学研究Ⅰb 中国文学研究Ⅰa 中国文学研究Ⅲb 中国思想研究Ⅱa 中国民俗学研究b 中国政治史研究a 中国社会史研究b 中国制度史研究a 中国経済史研究b 中国経済研究Ⅲa 中国経済研究Ⅴb 中国法制研究a 日中関係研究b 国際経済研究Ⅱa 中国政治思想史研究Ⅱb 中国特殊講義b	中国学総論 b 中国語学研究Ⅱa 中国文学研究Ⅰb 中国文学研究Ⅳa 中国思想研究Ⅱb 中国民族学研究Ⅰa 中国政治史研究b 日中関係史研究Ⅰa 中国制度史研究b 中国経済研究Ⅰa 中国経済研究Ⅲb 中国経済地域研究a 中国法制研究b 平和学研究a 国際経済研究Ⅱb フィールドワーク方法論a 演習 a	中国研究方法論 a 中国語学研究Ⅱb 中国文学研究Ⅱa 中国文学研究Ⅳb 中国思想研究Ⅲa 中国民族学研究Ⅰb 中国社会学研究a 日中関係史研究Ⅰb 中国近隣諸国史研究a 中国経済研究Ⅰb 中国経済研究Ⅳa 中国経済地域研究b 中国現代政治研究a 平和学研究b 中国政治思想史研究Ⅰa フィールドワーク方法論b 演習 b	中国研究方法論 b 中国語学研究Ⅲa 中国文学研究Ⅱb 中国思想研究Ⅰa 中国思想研究Ⅲb 中国民族学研究Ⅱa 中国社会学研究b 日中関係史研究Ⅱa 中国近隣諸国史研究b 中国経済研究Ⅱa 中国経済研究Ⅳb 中国企業経営研究a 中国現代政治研究b 国際経済研究Ⅰa 中国政治思想史研究Ⅰb フィールドワーク 中国語学研究Ⅰa 中国語学研究Ⅲb 中国文学研究Ⅲa 中国思想研究Ⅰb 中国民俗学研究a 中国民族学研究Ⅱb 中国社会史研究a 日中関係史研究Ⅱb 中国経済史研究a 中国経済研究Ⅱb 中国経済研究Ⅴa 中国企業経営研究b 日中関係研究a 国際経済研究Ⅰb 中国政治思想史研究Ⅱa 中国特殊講義 a
中国研究 博士後期課程			現代中国学特殊研究Ⅰ 中国文化特殊研究Ⅲ 中国文化特殊研究Ⅶ 中国政法特殊研究Ⅲ 中国経済特殊研究Ⅳ 中国経済特殊研究Ⅸ 日中関係特殊研究Ⅴ 中国環境特殊研究Ⅳ 中国現地研究	現代中国学特殊研究Ⅱ 中国文化特殊研究Ⅳ 中国文化特殊研究Ⅸ 中国政法特殊研究Ⅳ 中国経済特殊研究Ⅴ 日中関係特殊研究Ⅰ 日中関係特殊研究Ⅵ 中国環境特殊研究Ⅴ 研究演習	現代中国論特殊研究 中国文化特殊研究Ⅴ 中国近隣諸国史特殊研究 中国経済特殊研究Ⅰ 中国経済特殊研究Ⅵ 日中関係特殊研究Ⅱ 中国環境特殊研究Ⅰ 中国環境特殊研究Ⅵ	中国文化特殊研究Ⅰ 中国文化特殊研究Ⅵ 中国政法特殊研究Ⅰ 中国経済特殊研究Ⅱ 中国経済特殊研究Ⅶ 日中関係特殊研究Ⅲ 中国環境特殊研究Ⅱ 研究特論Ⅰ

教学
大学院

特別課程

課程区分	授 業 科 目			
<p>教職課程 (学部)</p>	<p>学校教師入門 学校問題の法規・行政史研究 授業コミュニケーション論(言語系) 授業構成法(国語) 授業構成法演習(中国語) 授業構成法(社会系・公民分野) 授業構成法演習(商業) 教育コミュニケーション研究Ⅲ(生徒指導) 臨床ケーススタディ(児童・少年期) 教育実習</p>	<p>学校文化論 生涯学習社会論 授業コミュニケーション論(社会系) 授業構成法演習(国語) 外国語としてのドイツ語 授業構成法演習(社会) 授業構成法演習(情報) カウンセリング研究 精神分析学</p>	<p>教育文化の分析 教育実践の心理学 授業コミュニケーション論(商業) 授業構成法(英語) 外国語としてのフランス語 授業構成法演習(社会系・地歴分野) 教育コミュニケーション研究Ⅰ(道徳) 思春期精神医学 現代社会の諸問題</p>	<p>教育問題の思想史研究 発達心理学 授業コミュニケーション論(情報) 授業構成法演習(英語) 授業構成法(社会系・地歴分野) 授業構成法演習(社会系・公民分野) 教育コミュニケーション研究Ⅱ(特別活動) 性格心理学 総合演習</p>
<p>司書課程</p>	<p>生涯学習概論 図書館サービス論 情報検索演習 資料組織法Ⅱ 図書館資料論特講Ⅰ 専門資料論特講Ⅰ < 司書教諭 ></p>	<p>図書館概論Ⅰ 情報サービス概説 図書館資料論 資料組織法Ⅰ演習 図書館資料論特講Ⅱ 専門資料論特講Ⅱ 学校経営と学校図書館 読書と豊かな人間性</p>	<p>図書館概論Ⅱ レファレンスサービス演習 専門資料論 資料組織法Ⅱ演習 図書及び図書館史 専門資料論特講Ⅲ 学校図書館メディアの構成 情報メディアの活用</p>	<p>図書館経営論 情報管理論 資料組織法Ⅰ 児童サービス論 情報機器論 専門資料論特講Ⅳ 学習指導と学校図書館</p>
<p>博物館 学芸員課程</p>	<p>生涯学習概論Ⅰ 博物館学各論Ⅱ 教育学概論 (文化史関係) (美術史関係) (考古学関係) (民俗学関係) (地学関係)</p>	<p>生涯学習概論Ⅱ 博物館実習Ⅰ 日本文化史Ⅰ ヨーロッパの文化Ⅰ 芸術史(東洋) 書画論Ⅱ 日本考古学Ⅰ アジア考古学Ⅱ 日本民俗学Ⅰ 現代フォークロア方法論 地球環境科学Ⅰ</p>	<p>博物館概論 博物館実習Ⅱ 日本文化史Ⅱ 現代日本の生活文化 芸術史(西洋) 民具・民芸論 日本考古学Ⅱ 日本民俗学Ⅱ 地球環境科学Ⅱ</p>	<p>博物館学各論Ⅰ 視聴覚教育 現代アジアの生活文化Ⅱ 書画論Ⅰ 民族芸術論 アジア考古学Ⅰ 欧米の民俗学</p>
<p>社会教育 主事課程</p>	<p>生涯学習概論Ⅰ 社会教育演習Ⅰ (特講Ⅰ関係) (特講Ⅱ関係) (特講Ⅲ関係)</p>	<p>生涯学習概論Ⅱ 社会教育演習Ⅱ コミュニケーション論 ライフ・コースの社会学 キャリア発達論 図書館概論Ⅰ 博物館学各論Ⅰ ネットワークコミュニケーション マス・コミュニケーション論 生涯学習社会論 平和研究</p>	<p>社会教育計画Ⅰ 社会教育演習Ⅲ 社会行動論 高齢者生活論 図書館概論Ⅱ 博物館学各論Ⅱ 情報社会論 福祉社会学 教育学概論 文化の社会学</p>	<p>社会教育計画Ⅱ 社会教育演習Ⅳ ソーシャル・ネットワーク論 現代社会論 博物館概論 視聴覚教育 ケアの社会学 マスコミュニケーション</p>

文学部

人文社会学科 教授

秋山 公男

①東北大学教育学部 同大学院 文学修士②日本近代文学/夏目漱石③日本近代文学基礎演習、日本語学・文学演習、日本近代文学史

浅野 俊夫

①慶應義塾大学文学部 同大学院 文学修士②実験心理学、行動分析学③生理・行動基礎および応用、生物コミュニケーション、心理学基礎実験、比較心理学、行動分析応用

有蘭 正一郎

①立命館大学文学部 同大学院 文学博士②地理学。日本における農耕技術の地域性と共通性の研究③地理学講読、歴史地理学、地理学演習

伊集院 利明

①早稲田大学第一文学部 東京大学大学院 修士(文学)②哲学。ソクラテス、プラトン、アリストテレス哲学。出会いの構造。死。生の意味③西洋哲学演習、ギリシャ哲学講読、西洋哲学概論、ギリシャ語

伊東 利勝

①成城大学経済学部 同大学院 経済学修士②経済史。コンバウン王朝チャンマーの農村社会/民衆運動史/東南アジア大陸部古代史③アジア史基礎講読、アジア史演習、アジア近現代史論

宇佐美 一博

①大阪外国語大学外国語学部 大阪大学大学院 文学修士②中国哲学。春秋学の成立と展開/中国における懐疑論について/中国哲学における基礎概念の成立と展開③東洋哲学演習、東洋哲学基礎演習、漢文学

漆谷 広樹

①明治大学文学部 専修大学大学院 東北大学大学院 博士(文学)②日本語学。日本語語構成の研究③日本語学概論、日本語史、日本語学演習

海老澤 善一

①京都大学文学部 同大学院 文学修士②哲学/ヘーゲル哲学③哲学、論理学、西洋哲学演習、西洋哲学概論、西洋哲学基礎演習、キリスト教とヨーロッパ

檉村 愛子

①京都府立大学文学部 東京大学大学院 文学修士②精神分析理論(ラカン派)による現代社会分析、現代文化分析。臨床社会学、カルチュラル・スタディーズ他③精神分析学、福祉社会学、社会学演習、社会調査実習

片岡 邦好

①南山大学文学部 アリゾナ大学大学院 Ph.D.②社会言語学・人類言語学、英語応用言語学③英語、英語学、英語学演習、英語学特殊講義、英語学基礎演習、入門講義

交野 正芳

①関西学院大学社会学部 同大学院 同志社大学大学院 文学修士②社会学。社会的差異と共同性について③コミュニティ政策論、都市社会論、社会学演習

神谷 智

①名古屋大学文学部 同大学院 博士(歴史学)②日本近代史、記録史料学③日本社会史特殊講義、日本史演習

木之下 隆夫

①愛知学院大学文学部 同大学院 文学修士②京都大学大学院③学校臨床、臨床心理学、心理療法、病院心理臨床④心理療法、臨床ケーススタディ

小山 澄夫

①東京大学文学部 同大学院 文学修士②中国古典文学。③中国文学演習、中国文学講読、中国文学概論、日中比較文学

Simon George Sanada

①ケンブリッジ大学 フィッツウィリアムカレッジ M.A.(Cantab)②18世紀以後の英文学。イギリスロマン派の詩およびその社会的背景③英語、イギリス文学、イギリス文学基礎演習、英会話・作文(上級)、英米文学講読、Creative Writing、英米文学演習、イギリス文学特殊講義、イギリス文学演習

沢井 耐三

①金沢大学法文学部 東京大学大学院 文学修士②日本古典文学。中世物語および連歌・古俳諧の研究③日本古典文学史、日本古典文学概論、日本古典文学演習、日本古典文学講読

鈴木 康志

①静岡大学人文学部 筑波大学大学院 文学修士②ドイツ語学。ドイツ語における体験話法/ドイツ語における命令・要求表現/物語論③ドイツ語学概論、ドイツ語文法論、ドイツ文学演習

鈴木 立子

①東京女子大学 東京教育大学大学院 文学修士②中国史。元朝史③アジア諸国史特殊講義、東洋史演習

Serge Giunta

①パリ第10大学 文学修士②フランス語教育法。視聴覚法によるフランス語教育/フランス現代文学の動向/ヨーロッパ連合研究③フランス語基礎演習、フランス語会話・作文

高橋 秀雄

①早稲田大学第一文学部 同大学院 文学修士②フランス言語学。フランス語の特質一問題と方法③フランス語学講読、フランス語・フランス文学演習

武田 圭太

①慶應義塾大学文学部 同大学院 社会学修士②産業・組織心理学、社会心理学。生涯キャリア発達論一働くことをとおした人間の発達・成長・社会化・個性化の過程/「UJターン現象」/海外帰国子女のキャリア発達/「共働き夫婦のキャリア」/「ふるさと」の心象と定住願望③社会心理学、キャリア発達論、福祉・労働政策論、社会学演習、社会調査データ分析法、社会調査実習

玉井 力

①名古屋大学文学部 同大学院 文学修士②日本古代史。平安時代政治史③日本史演習、日本史講読

土屋 洋二

①東京外国語大学 京都大学大学院 文学修士②ドイツ文学(近代)。19・20世紀のドイツ抒情詩(A.v.ドロステ=ヒュルスホフ、H.ハイネ、ブレヒト語学概論、ドイツ文学史、ドイツ文学演習、欧米文学史概論

和田 明美

①県立高知女子大学文学部 名古屋大学大学院 博士(文学)②日本語学。古代日本語の動詞と助動詞の研究/源氏物語の表現(文法と意味)の研究③日本語学基礎演習、日本語学演習、日本語学講読

時実 象一

①東京大学理学部 同大学院理学系大学院 理学博士②図書館情報学。情報検索③情報文化論、情報管理、図書館概論

永瀬 美智子

①新潟大学人文学部 お茶の水女子大学大学院 文学修士②アメリカ文学。トニ・モリソンを中心とした現代アメリカ黒人文学③英語、英米文学演習、アメリカ文学基礎演習、アメリカ文学特殊講義、アメリカ文学演習

樋口 義治

①慶應義塾大学文学部 同大学院 文学博士②心理学/行動科学。ニホンザルの文化的行動/ヒトの行動分析③心理学、心の働き、動物行動学、心理学基礎実験、行動心理学

藤田 佳久

①愛知学芸大学社会学部 名古屋大学大学院 理学博士②地理学。土地利用の地域形成論とその実証的研究/山地・山村の総合的研究/東亜同文書院の中国研究に関する研究/イギリス地域研究/地域整備と地域計画研究③地理学基礎演習、社会経済地理学特殊講義、地理学研究法、地理学野外演習

三野 豊浩

①東京大学文学部 同大学院 修士(文学)②中国古典文学。唐宋の詩詞の研究③中国古文講読、中国文学史、中国文学演習

山田 邦明

①東京大学文学部 同大学院 博士(文学)②日本中世史③日本史講読、日本史演習

下野 正俊

①東京大学文学部 同大学院 修士(文学)②哲学/カントを中心とする近現代ドイツ哲学③西洋哲学演習、西洋哲学講読、西洋哲学特殊講義、倫理学概論、応用倫理学概論

土屋 葉

①千葉大学文学部 お茶の水女子大学大学院 博士(社会科学)②家族社会学・障害社会学/障害をもつ人と家族関係③家族と社会、家族関係論、ケアの社会学、逸脱行動論、社会調査実習、行動社会学演習

准教授

白田 真佐子

①東京外国語大学 外国語学部 お茶の水女子大学大学院 文学修士②中国語学(音韻・文字)。清代古音学と『説文解字』に関する研究。③中国古文講読、中国語文法論、中国語

加藤 一己

①京都大学文学部 同大学院 文学修士②理論社会学。G.H.ミードの理論を社会思想史の中に位置づけ、現代自然科学とも関連させつつ解明する。③社会行動論、コミュニケーション論、自我論、社会学演習、ライフ・コースの社会学、社会調査実習

河合 まゆみ

①富山大学人文学部 名古屋大学大学院 文学修士②ドイツ文学。ドイツ近代小説③ドイツ文学演習、ドイツ文学講読、ドイツ文学概論、ドイツ文学特殊講義

小島 基洋

①慶應義塾大学文学部 大阪大学トリニティーカレッジ M.Phil. 京都大学大学院 博士(文学)②英文学③英米事情、地域文化研究

下野 正俊

①東京大学文学部 同大学院 修士(文学)②哲学/カントを中心とする近現代ドイツ哲学③西洋哲学演習、西洋哲学講読、西洋哲学特殊講義、倫理学概論、応用倫理学概論

土屋 葉

①千葉大学文学部 お茶の水女子大学大学院 博士(社会科学)②家族社会学・障害社会学/障害をもつ人と家族関係③家族と社会、家族関係論、ケアの社会学、逸脱行動論、社会調査実習、行動社会学演習

長井 千秋

①鳥根大学法文学部 大阪大学大学院 博士(文学)②中国社会経済史、中国財政史/宋代経済史、南宋時代の財政・軍事③アジア史基礎講読、アジア史基礎演習、アジア史講読、アジア史演習、アジア近世史論

中尾 充良

①名古屋大学文学部 同大学院 文学博士(ニース大学)②フランス文学。近現代詩(ランボー、セガレン)③フランス事情、フランス文学演習、フランス文学史

山本 昭

①慶應義塾大学工学部 同大学院工学修士 文学修士②図書館情報学。情報検索、分類・索引、ターミノロジー③図書館情報学講読、専門コミュニケーション、知識組織法

助教

井藤 寛志

①信州大学教育学部 教育学士 名古屋大学大学院 情報科学研究科 博士(学術)②認知科学/認知心理学③認知科学、認知心理学、生理心理学、心理学基礎実験、心理学演習、心理学プログラム演習

加島 大輔

①山形大学教育学部 東京大学大学院 修士(教育学)②日本教育史・教員養成/明治期を中心とした教員養成史・教員史研究、教員養成制度

鎌倉 利光

①千葉大学文学部 東京学芸大学大学院 教育学修士 慶應義塾大学大学院 博士(教育学)②発達心理学・パーソナリティ心理学③臨床心理学④発達心理学、性格心理学、教育実践の心理学、カウンセリング研究、心理アセスメント

経済学部

教授

阿部 聖

①中央大学商学部
同大学院 商学修
士②日本経済史(近
現代)。日本エネ
ルギー産業史/東
海地域産業史/空
襲史③日本経済史、地
域経済史

李 泰王

①慶北大学校経
商大学 大阪市立
大学大学院 博士
(経済学)②韓国
経済論、アジア比
較経済論。自動車
産業と多国籍企業
の研究③韓国経済
論、アジア比較経
済論

伊藤 勳

①明治学院大学
文学部 同大学院
文学修士②英国
唯美主義文学③英語

伊藤 靖徳

①南山大学経済
学部 経済学修士②
中小企業論/地域
産業集積構造/中
小地域金融③中
小企業論、地場産
業論

岩崎 正弥

①京都大学農学
部 同大学院 博士
(農学)②地域
経済。地域づくり
に関する総合的
研究/中山間地域
経営論③地域
経済論

印南 敏秀

①武蔵野美術大
学造形学部 文学
士②日本民俗学・
日本民俗学。物質
文化を中心とし
た入浴・食・住
文化論/里海論③
民俗論、民具論、
博物館概論

大澤 正治

①慶應義塾大学
商学部②環境、
エネルギー/環
境制約、資源制
約が強まる時代
の社会と経済③
環境経済学、環
境・エネルギー
政策論、非営
利経済論

小津 秀晴

①茨城大学理学
部 神戸大学大
学院 名古屋大学
大学院 理学博士
②理論物理学
(素粒子論)。場
の量子論の位相
幾何学的構造③
物質の科学、現
代技術④宇宙の
科学、現代科学
技術論

桂 秀行

①一橋大学経済
学部 同大学院
Ph.D.②ヨーロ
ッパ中世社会経
済史。領主制の
形成と展開(中
地中海地方の
地域研究)③経
済史、西洋経済
史

沓掛 俊夫

①京都大学理学
部 同大学院 理
学博士②地球
科学。大陸地殻
の形成史/鉱物
科学史③地球
の科学、科学
技術史

國崎 稔

①桃山学院大学
経済学部 神戸
商科大学大学院
経済学修士②
経済政策/不完
全競争下の租
税調和化、地域
間移転と地方
公共財問題、寡
占市場での租
税帰着③経済
政策

栗原 裕

①南山大学外国
語学部 神戸大
学院 経営学修
士②国際貿易、
欧州経済・通貨
統合、国際金
融の理論・制度
・実証的研究③
国際経済学

桑島 由美子

①東京女子大学
文学部 筑波大
学院 国際学修
士 一橋大学大
学院 東アジア
地域研究。中国
近代文学と文化
研究②中国文
学演習、専門演
習

小林 慎哉

①埼玉大学教養
学部 早稲田大
学院 経済学修
士②日本経済
の実証分析/為
替レート決定
の実証研究③
計量経済学Ⅰ・Ⅱ、
経済データ分析

佐藤 元彦

①慶應義塾大学
経済学部 広島
大学大学院 国
際学修士②発
展途上国経済
論。貧困緩和、
解消の政治経済
学/マイクロ・
ステートの経済
学③発展途上
国経済論、国際
開発論、国際
政治経済学、ア
ジア太平洋
経済論

蔣 湧

①中国上海海
運学院基礎学部
数学科 筑波大
学院 博士(経営
工学)②確率
過程論、デー
タ工学、デー
タベース/Per
formance Analysis
 of Transaction
 Processes、
 Object-Oriented-
 Database System
③情報システム
構築論

竹内 晴夫

①山口大学経済
学部 東京大学
大学院 博士(経
済学)②経済
原論。現代の
貨幣・金融シ
ステムの体系的
研究③経済原
論、資本主義
経済論

田中 良明

①大阪市立大学
経済学部 同大
学院 経済学修
士②社会思想
史。社会運動
の諸思想/20
世紀の意味③
現代社会思想
史、西欧近代
社会思想史

沈 徹

①早稲田大学
政治経済学部
同大学院 経
済学修士②
国際マクロ経
済学。為替レ
ートの動学理
論/輸出企業
の市場別価格
設定行動③金
融論、国際金
融論

中川 清

①同志社大学
経済学部 同大
学院 経済学修
士②経済学
原理論。資本
主義経済機構
の理論的研究③
経済原論、資
本主義経済論

中崎 温子

①立命館大学
文学部 マック
オリー大学大
学院 文学修
士②日・英語
対照研究。異
文化コミュニケーション
と日本語教育。
③日本語(留
学生)、日本語
教育、日本語学

新井野 洋一

①順天堂大学
体育学部 同大
学院 体育学修
士②スポーツ
経済・社会学
/スポーツマネ
ジメント論/健
康行動論/高
齢者生活論③
体育実技、ス
ポーツ文化論、
スポーツ経済・
社会学・健康
行動論、高齢
者生活論、社
会研修、演習

早川 勇

①愛知県立大
学文学部 エク
セター大学大
学院 言語文化
学博士(大阪大
学)②応用言
語学。英語辞
書史/日英語
の対照研究/英
語に入った日
本語③英語

保住 敏彦

①京都大学教
育学部 同大
学院(経済学
研究科)経済
学博士②経済
学史。ドイツ
社会国家の生
成・変遷とそ
れをめぐると
ヨーロッパの
社会保障制度
の比較③経済
学史Ⅰ、経済
学史Ⅱ

宮内 興一

①埼玉大学文
理学部 大阪市
立大学大学院
経済学修士②
財政学・地方
財政論/災害
の政治経済学
、開発政策と
国・地方財政
、維持可能な
社会の国・地
方の税財政、
日本租税論
研究③財政
学、地方財政

宮沢 哲男

①東京教育大
学理学部 同大
学院 理学修
士②地理学。
水収支論(河
川・地下水の
収支と循環)/
水質汚濁③地
理学、自然環
境と地理

森 久男

①名古屋市立
大学経済学部
東京大学大
学院 農学博
士②中国経済
史。蒙疆政権
の研究/興安
省の研究③近
代中国経済史。
中国のアジア
太平洋政策、
時事中国語

藪内 繁己

①神戸商科大
学商経学部 同
大学院 経済学
研究科 経済
学博士②経済
理論、国際
経済学/ミ
クロ経済学の
国際貿易への
応用に関する
研究、国際
貿易と生産
要素移動の
経済分析③
ミクロ経済学
、マクロ経済
学

李 春利

①上海外国語
大学日語系 東
京大学大学院
博士(経済学)
②中国経済
論。国際産
業論。イ
ンフレーション
・システ
ムの国際比較
/中国の経済
発展と資源・
環境問題/新
興国(BRICs)
経済と日本。
③中国経済
論、中国産
業概論、東
アジアの自
動車産業、
外国書講読

渡辺 和敏

①法政大学文
学部 同大
学院 博士
(文学)②日
本近世社会
史。日本近
世社会史/日
本交通史③
歴史学、生
活文化史、
日本交通
経済史、地
域経済史

准教授

井口 泰秀

①京都大学
経済学部 同
大学院 経済
学修士(経済
学)②計量
経済学、経
済時系列分
析/マクロ
経済統計の
特性分析③
経済統計学
、経済数学
(代数)(微積)

打田 委千弘

①立命館大学
経済学部 同
大学院 博士
(経済学)②
応用計量
経済学/金
融市場に関
する実証分
析/生産関
数に関する
実証分析③
実証経済分
析

葛谷 登

①一橋大学
社会学部 同
大学院 社会
学修士②中
国宗敎思想
史/中国語
表現文法/東
洋とキリス
ト敎③中国
語、中国文
学講読

小林 弥生

①名古屋大
学経済学部
同大学院 博
士(経済学)②
理論経済学
・公共経済
学。家族の
経済学/家
族に対する
公共政策③
マクロ経済
学、ミクロ
経済学

清水 伸子

①名古屋大
学文学部 同
大学院 文学
修士②ロシア
語学。談話
レベルでの
動詞が係る
現象③ロシア
語

西村 正広

①日本福祉大
学社会福祉
学部 同大
学院 社会学
修士②社会
福祉方法論
/地域保健
福祉計画論
③社会福祉
理論、社会
福祉政策、
社会政策史

三川 克俊

①早稲田大学
第一文学部
同大学院 英
国レディング
大学大学院
教育学修
士 応用言語
学 MA②応
用言語学
(英語教育、
異文化語
用論)③英
語、Current
 English

湯川 治敏

①筑波大学
体育専門
学群 同大
学院 修士
(体育科学)
②スポーツ
工学/スポ
ーツバイオ
メカニクス
、スポーツ
サーフェス
の緩衝特性
、ヒューマン
・フィギュア
アニメシ
ョン、モー
ションデー
タベース③
コンディ
ショニング
、生涯スポ
ーツ、マル
チメディア
表現

教
学
専
任
教
員

- ①出身学校・学位
- ②専門分野/研究テーマ
- ③主な担当科目

国際コミュニケーション学部

言語コミュニケーション学科
教授

Ivan Cosby

①アイルランド・ダブリン大学 同大学院 Master of Arts (M.A.) ②西欧人道主義のキリスト教と労働組合に与える衝撃 ③ British History、ラテン語、英会話

荒川 清秀

①大阪市立大学文学部 同大学院 博士(文学) ②中国語学/日中比較語学。現代中国語の文法と語彙/日本語と中国語の対照研究/日中共通の漢語の歴史的研究 ③言語文化論、基礎中国語、演習

Jon Blundell

①ロンドン大学 イースト・アングリア大学大学院 エセックス大学大学院 Master of Arts (M.A.) ②コミュニケーション英語教授法。近年の英語における変化、特に日本人大学生に関する学習様式 ③英会話、英作文、英語発音練習

田本 健一

①都留文科大学文学部 上智大学大学院 博士(文学) ②英語学/中世英文学。アングロ・サクソン福音書における語彙。英語コミュニケーション学。③英語の歴史、Business English、英作文、English Grammar

張 筱平

①南開大学中国語文学部 ②異文化コミュニケーション ③基礎中国語、口語中国語、コミュニケーション中国語

塚本 鋭司

①早稲田大学第二文学部 西イリノイ大学大学院 シラキウス大学大学院 Ph.D.(教育社会学) ②英語教育学。異文化間コミュニケーション/アメリカ文化研究 ③Mass Media English、American History、国際フィールドワーク(アメリカ)

塚本 倫久

①駒澤大学文学部 同大学院 修士(英文学) ②英語学。現代英語の語法研究/コーパス言語学 ③英語学概論、英作文

Thomas Michael Gross

①マルブルク・フィリップス大学大学院 博士(日本語学) ②言語学・コミュニケーション心理学 ③言語学概論Ⅰ・Ⅱ、外国語学習入門

Benab-derrahmane Lahcene

①INSTITUT NATIONAL du PETROLEALIANCE FRANCAISE de PARIS 石油精製と石油化学におけるステイトエンジニア(修士)・フランス国外に於けるフランス語教育者資格免状 ②フランス語教育。外国語としてのフランス語教育法 ③コミュニケーションフランス語、口語フランス語、フランス語会話入門

准教授

Angus MacIndoe

①オックスフォード大学 (University College) Master of Arts (M.A.) ②古代史及び哲学。英国の方言及び話し方のパターン/英文学におけるスポーツのテーマ/古代ギリシャ文化との関連 ③古典ギリシャ語、英作文、英会話

磯野 徹

①甲南大学文学部 英国 ESSEX 大学大学院 Ph.D. in Language and Linguistics 博士(言語学) ②応用言語学 ③Intensive Reading II、英語音声学、Practical English、Advanced English I

塩山 正純

①関西大学文学部 同大学院 博士(文学) ②近代中国語研究 ③入門中国語、メディア中国語テキスト講読

助教(外国語圏助教Ⅱ)

Andrew Kean

①グエルフ大学 ニューイングランド大学大学院 ③英会話、英作文

Carolyn E. Fish

①ウェールズ大学 同大学院 Master of Arts (M.A.) ③英会話、英作文

Sian Davis Edwards

①西イングランド大学 ウェールズ大学 インスティテュート・カーディフ MA (Ceramics) ③英会話、英作文

比較文化学科
教授

垣内 伸彦

①名古屋大学理学部 同大学院 理学修士 ②数学(トポロジー)。微分方程式の定性的性質 ③演習、情報処理、数理学、統計学入門、総合情報演習

河野 眞

①京都大学文学部 同大学院 博士(文学) ②比較文化/ヨーロッパ民俗学/観光研究/多文化共生研究/巡礼研究 ③比較文化入門、現代フォークロア方法論、総合ドイツ語

周星

①西北大学歴史学科 中国社会科学部 同大学院 博士(民族学) ②民族学。民俗学(生活文化論)。日中比較文化、アジアの諸文化 ③生活文化論、現代日本の生活文化、比較文化フィールド・ワーク

鈴木 規夫

①上智大学文学部 中央大学大学院 法学修士 成蹊大学大学院 博士(政治学) ②政治哲学/国際関係論/イスラーム研究/平和研究 ③国際文化関係論、平和研究、イスラーム世界論

鈴木 秀治

①東京大学文学部 同大学院 文学修士 ②比較文学比較文化/近現代フランス文学 ③比較文化論(比較文学)、日本文化史、基礎フランス語、演習

高橋 貴

①国際基督教大学 教養学部 教養学修士 ②文化人類学/民族芸芸論/南インドの手芸 ③民族芸芸論、博物館展示論、文化人類学入門

高原 隆

①滋賀大学経済学部 ニューヨーク州立大学大学院(人類学修士) インディアナ大学大学院 Ph.D.(Folklore) ②アメリカン・フォークロア/記号論/人類学。人間のアイデンティティと身体と場所の関係、鬼師の世界 ③アメリカの文化、欧米の民俗学、欧米の生活文化

名和 聖高

①静岡大学人文学部 社会科学士 ②国際ビジネス実務/国際商取引契約/国際商事仲裁 ③国際ビジネス入門、国際ビジネス論Ⅰ・Ⅱ

新形 信和

①東京外国語大学 外国語学部 京都大学大学院 文学修士 ②比較思想/比較文化論。「無」の概念あるいは死生観の相違を通して日本と西欧との精神の構造化の差異を明らかにすること ③比較文化論(比較思想)、日本人と思想、基礎ドイツ語、演習

新津 嗣郎

①京都大学文学部 同大学院 文学修士 ②近代以後のドイツ叙情詩。Gunter Eich の叙情詩およびラジオドラマ研究/日本とドイツの昔話 ③ヨーロッパの文化Ⅰ・Ⅱ、基礎ドイツ語、演習

浜本 正文

①京都大学文学部 同大学院 文学修士 ②フランス文学。マルセル・ブルーストからボリス・ヴィアンまで ③ヨーロッパの文化Ⅰ・Ⅱ、基礎フランス語

樋野 芳雄

①一橋大学社会学部 同大学院 社会学修士 ②国際関係学/社会学。現代国際政治・思想の変容/近代化・現代化、産業・経営・労働をめぐる諸問題 ③国際政治論入門、国際政治論Ⅰ・Ⅱ、社会学

片 茂永

①建国大学日本語教育学科 筑波大学大学院 文学博士 ②民俗学。アジアのvesak研究 ③韓国の文化、アジアの伝承文化、国際フィールドワーク、基礎韓国・朝鮮語

広木 詔三

①東北大学理学研究科 理学博士 ②森林生態学/フナ科の生態学的研究/火山植生の遷移・里山の雑木林 ③生物学・生態学・地球環境問題

山口 隆一

①米国フシントン大学大学院文学研究科 文学修士 Master of Arts ②アメリカ文学。ウィリアム・フォークナーにおけるユーモアの研究:「ユーモアとその文化(社会・風俗・フォークロア)の背景」「ユーモアと作品の主題の関係」 ③アメリカの文学/文化、外国書ゼミ、Intensive Reading、演習

山本 雅子

①南山大学外国語学部 京都大学大学院 博士(人間・環境学) ②認知言語学、日本語教育学/認知言語学的観点から日本語の言語現象を解明する ③日本語、日本語学、日本語教育学

准教授

加納 寛

①名古屋大学文学部 同大学院 博士(歴史学) ②東洋史(タイ文化史)。タイの都市における日常生活文化の変化/タイの文化政策 ③現代アジアの生活文化Ⅱ、比較文化フィールド・ワーク、基礎タイ語

助教(外国語圏助教Ⅱ)

Jean Marie Simonian

①ウィートン大学 インディアナ大学 修士 ③英会話、英作文

法学部

教授

浅尾 仁

①横浜国立大学経済学部 京都大学大学院 経済学修士②比較経済体制論/ルーマニア経済③市場経済とくらし、国民所得とくらし

大川 四郎

①名古屋大学法学部 同大学院 法学修士 ジュネーブ大学大学院 D.E.S.(法制史)②西洋法制史③西洋法制史、日本近代法制史、社会思想史

大林 文敏

①愛知大学法経学部 同大学院 法学修士 九州大学大学院 博士(法学)②憲法学/アメリカ最高裁判所論③憲法・統治機構

片野 三郎

①愛知大学法経学部 同大学院 法学修士②民事訴訟法。訴訟要件論/民事上告制度③民事訴訟法

加藤 克佳

①早稲田大学法学部 同大学院 法学修士②刑事訴訟法学/事実誤認救済制度の再検討、犯罪被害者と刑事手続、裁判員制度③刑事訴訟法

John Hamilton

①オックスフォード大学 Master of Arts (M.A.)②PPE(政治学、哲学、経済学)③コミュニケーション英語、近代アジアと欧米

杉浦 市郎

①京都大学法学部 同大学院 法学修士②経済法。ドイツ経済法とEC経済法③経済法、消費者保護法

須藤 祐孝

①東北大学法学部 同大学院 法学修士②政治学/ヨーロッパ政治思想史。ルネサンス・イタリア政治思想(N.マキアヴェッリおよびG.サヴォナローラ中心)。少数者支配論(G.モスカ中心)。③政治学、ヨーロッパ政治思想史

田中 正人

①京都大学法学部 同大学院 法学修士②フランス政治・政治史③政治学、欧米政治論

常石 希望

①四国学院大学文学部 関西学院大学大学院 文学修士②韓国語学/日本語母国語者に対する韓国語教育法/韓国キリスト教史③韓国・朝鮮語入門・基礎・発展

中尾 浩

①青山学院大学文学部 中央大学大学院 文学修士 パリ第10大学第三課程D.E.A(言語科学)②フランス語、コーパス言語学/コンピュータによるフランス語の構文解析③フランス語入門・応用・発展、情報リテラシー

長峯 信彦

①早稲田大学法学部 同大学院 法学修士(法学)②憲法/英米法③憲法・基本的人権、憲法とくらし

西野 基継

①京都大学法学部 同大学院 法学修士②法哲学。現代自然法論/法存在論/人間の尊厳論③法哲学、法思想史

村瀬 智彦

①金沢大学教育学部 同大学院 筑波大学大学院 教育学修士 博士(体育科学)②体育測定評価論。トレーニング論③健康と運動の科学、身体とコンディショニング、ヘルスエクササイズ

寄川 条路

①早稲田大学第一文学部 同大学院 博士②思想・文化。観念論と解釈学③人間と文化、思想と社会

准教授

入江 容子

①同志社大学法学部 同大学院 博士(政策科学)②地方自治論、行政学③地方自治論、公共政策論

木村 義和

①関西学院大学法学部 同大学院 博士(法学)②民法(契約法)/フランチャイズ契約について③民法、契約法、家族法、相続法、民法総論

小坂 敦子

①同志社大学文学部 ハワイ大学大学院 Ph.D.(教育学)②英語教育・教育学③論説英文講読、表現英語、特別基礎英語、英語演習

小林 真紀

①上智大学法学部 同大学院 法学修士 パリ第一大学第三課程D.E.A.(国内公法)②フランス法、ヨーロッパ法③外国法、比較法

鈴木 清貴

①明治大学法学部 慶應義塾大学大学院 修士(法学)②民法/代理、使用者責任、他人の行為についての責任③物権法、債権法、不法行為法

専田 泰孝

①早稲田大学法学部 同大学院 法学修士(法学)②刑法/具体的事実の錯誤③刑法

多田 哲也

①上智大学文学部 同大学院 修士(文学)②英語学/言語学/イギリス文化。イギリスの言語思想/文法理論③総合英語、言語と人間

鄭 高咏

①北京第二外国語大学 昭 and 女子大学大学院 文学修士②文章論。日中対照研究③中国語入門・基礎・応用・発展・演習

広瀬 裕樹

①名古屋大学法学部 同大学院 法学修士②商法、保険法③商法総則、商取引法、保険法

松井 吉光

①名古屋大学大学院 理学研究科素粒子・宇宙物理学専攻 博士(理学)②物理(素粒子論)/現象論(重いクォークを含むハドロンとニュートリノについて)③現代科学の諸問題、統計、情報リテラシー

緑 大輔

①一橋大学法学部 同大学院 博士(法学)②刑事法学/対物強制処分、未決拘禁③刑事訴訟法、刑法各論、刑事政策、法律学特殊講義

李 秀密

①東呉大学法学部 東北大学大学院 博士(法学)②商法/自己株式の取得、コーポレート・ガバナンス③会社法

助教

金井 幸子

①獨協大学法学部 名古屋大学大学院 博士(法学)②労働法/労働条件変更・解雇③労働法I・II

北尾 泰幸

①京都外国語大学 外国語学部 大阪大学大学院 修士(言語文化学)②理論言語学/統語論、生成文法理論③論説英文講読、TOEIC、言語と人間

田中 清久

①東北大学法学部 同大学院 博士(法学)②国際法/国際組織法、国際責任法、国際裁判法(国際司法裁判所)③国際法総論I・II、国際法各論、国際組織法

山本 未来

①京都大学法学部 シアトル大学行政大学院 修士(MPA)②行政調査③行政法総論I・II、行政救済法、行政法各論

教学

専任教員

- ①出身学校・学位
- ②専門分野/研究テーマ
- ③主な担当科目

経営学部

経営学科
教授

有澤 健治

①東京大学文学部 同大学院(理学系研究科)理学博士
②情報処理。オペレーティングシステム・プログラミング③プログラミング論、情報システム概論

川井 伸一

①東京大学教養学部 同大学院 国際学修士②中国企業経営論/比較経営論。株式会社のコアレポート・ガバナンス比較/中国企業の海外進出③中国企業改革論、中国経営論、アジア経営比較論

神頭 広好

①学習院大学経済学部 東京工業大学大学院 経済学修士②経営立地論。都市の空間的立地構造に関する研究③経営立地論、立地分析論

小浜 ふみ子

①立教大学社会学部 慶應義塾大学大学院 東京都立大学大学院 博士(社会学)②都市社会学/地域社会学/コミュニティ論。コミュニティの歴史社会学、若者とライフスタイル③社会学基礎、現代コミュニティ論、現代社会学論、社会科学入門・応用、総合演習

田川 克生

①神戸大学経営学部 同大学院 経営学修士②経営学の基礎研究。企業理論によるマネジメントの基礎づけ③経営学総論、経営学原理、企業理論 I・II

田川 光照

①名古屋大学文学部 同大学院 文学修士②18世紀フランス文学。現代韓国文学③フランス語入門・基礎、韓国・朝鮮語発展

玉置 光司

①名古屋工業大学工学部 大阪大学大学院 工学博士②オペレーションズ・リサーチ。確率モデルと最適化③経営工学入門、オペレーションズ・リサーチ

藤本 光夫

①愛知大学法経学部 名古屋大学大学院 大阪市立大学大学院 同経営学博士②経営学。フランス企業の発展・展開および経営戦略/多国籍企業とその経営/EUと企業経営③現代企業論、多国籍企業論、国際経営論

別所 興一

①名古屋大学文学部②中学校社会科と高校地歴科・公民科の教育の内容と方法。江戸後期～明治前期の思想史・教育史③日本史。授業コミュニケーション論、授業構成法、授業構成法演習、教育実習、現代社会の諸問題(「戦争と平和」関連)

南 龍久

①立命館大学経済学部 同大学院 博士(経営学)(大阪市立大学)②経営組織論。現代企業における組織革新の諸問題③経営管理総論、経営組織論

村松 幸廣

①愛知大学法経学部 同大学院 経済学修士②消費者行動論。消費者行動の国際比較③消費者行動論、消費者行動分析、流通総論

矢田 博士

①早稲田大学第一文学部 同大学院 文学修士②中国古典詩歌。三国・魏の曹植の詩歌研究/漢魏六朝期における四言詩と五言詩の盛衰について③中国語入門・基礎、文学と人間(アジア)

山田 晶子

①愛知県立大学文学部 名古屋大学大学院 文学修士(英文学)②英文学(20世紀中心)。D. H. Lawrence(1885-1930)の研究中心③論説英文講読、TOEIC、英文小説講読、英語演習、入門ゼミ

准教授

岩田 員典

①名古屋工業大学大学院 博士(工学)②マルチエージェントシステムに関する研究③オペレーティングシステム論、コンピュータネットワーク論、コンピュータセキュリティ論、統計の基礎、専門演習、情報リテラシー入門、情報リテラシー応用

太田 幸治

①東京国際大学 明治学院大学大学院 修士(経営学)②流通・マーケティング(とりわけ製品戦略論)③流通総論、マーケティング論、サービスマーケティング、マーケティング戦略論、販売管理論、入門ゼミ、専門演習

小野 良太

①電気通信大学 電気通信学部 ハワイ大学大学院 Ph.D. in Communication and Information Sciences②情報通信技術、情報通信開発政策、未来研究③国際情報ネットワーク論、企業情報システム論、情報システム組織論、コンピュータ制御B、専門演習

河田 賢二

①名古屋大学理学部 同大学院 理学修士②数学。Nonstandard analysis; 計算論代数学、線形代数、コンピュータ科学の基礎、命題計算とデジタル回路、数理とプログラム I・II、総合演習

田中 英式

①関西大学法学部 名古屋大学大学院 修士(学術)②日系企業の技術移転、日系企業と現地サプライヤーとの企業間関係、台湾経済、台湾企業、産業集積論③アジア企業論、アジア企業経営論、国際ビジネス論

為廣 吉弘

①東京大学農学部②流通・物流③物流論、交通論、流通政策論、マーケティング情報論

土屋 仁志

①関西大学商学部 商学博士②流通業の国際化③国際流通論、小売マーケティング、国際マーケティング

藤本 正和

①北九州市立大学商学部 神戸商科大学大学院 経営学修士②企業経営史。両大戦間期のイギリス海運企業史③経営史、日本経営史、比較経営史、イギリス経営史

Malcolm Duff

①ロンドン大学②Drama Methodology, Theatre and Communication ③コミュニケーション英語、メディア英語、演劇と人間

山本 大造

①松山大学経営学部 同大学院 同志社大学大学院 修士(経営学)②熟練の変化と労務管理の研究、「人的資源管理論」の研究③人事管理論、労使関係論

助教

古川 邦之

①高知大学理学部 京都大学大学院 博士(人間・環境学)②地球科学、地質学、火山学③環境の科学、環境と都市、現代科学の諸問題

会計ファイナンス学科

教授

伊藤 清己

①愛知大学法経学部 神戸商科大学大学院 博士(経営学)②財務会計論、国際会計論/キャッシュ・フロー計算書の理論と制度③会計学概論、会計学基礎理論、財務諸表論、会計情報処理論

奥野 博幸

①関西学院大学経済学部 同大学院 経済学修士②金融論。金融制度改革と持株会社制度/地域金融(東アジアの金融を含む)③金融論、金融政策、金融概論

功刀 由紀子

①京都大学農学部 同大学院 農学博士②食品安全学。リスクアナリシス論。生命科学③物質科学、生命科学基礎・応用、総合演習

富増 和彦

①大阪市立大学商学部 同大学院 博士(経営学)②環境会計③商業簿記、財務諸表分析論、経営分析論、環境会計論 I・II

架谷 真知子

①津田塾大学②日本語教授法。協同学習。小集団におけるグループ・ダイナミクス③日本語、専門日本語

望月 恒男

①早稲田大学社会科学部 同大学院(商学修士)横浜市立大学大学院②管理会計論/現代企業における管理会計システムに関する研究③管理会計基礎理論、管理会計応用理論、工業簿記 I・II

盛田 良久

①愛知大学法経学部 神戸商科大学大学院 経営学博士②監査論/コーピング・コンサーン問題と公認会計士裁判の研究③会計監査論 I、会計監査論 II、外国書講読 I、外国書講読 II、会計監査論総合研究、演習

准教授

石川 業

①小樽商科大学商学部 一橋大学大学院 博士(商学)②制度会計。資本会計③商業簿記、制度会計論

齋藤 毅

①筑波大学社会学類 同大学院 博士(経営工学)②確率的意思決定問題(最適停止問題)、金融工学、IE(Industrial Engineering)③生産管理論、品質管理論、微分積分の基礎・応用、統計の基礎・応用、金融工学

島田 了

①南山大学文学部 同大学院 文学修士②ドイツ語ドイツ文学、ドイツ文化史③ドイツ語入門・基礎・応用・発展、上級ドイツ語、美術と人間

滝沢 宏人

①日本体育大学体育学部 同大学院 体育学修士②バイオメカニクス/運動生理学。人間が多関節を介して発揮する力に及ぼす姿勢・力の作用点の影響③ヘルスエクササイズ入門、ヘルスエクササイズ応用、スポーツの科学

水野 孝彦

①愛知大学経営学部 同大学院 博士(経営学)②米国における連結会計論の展開③商業簿記、連結会計論、国際会計論、英文会計

山下 裕企

①東京理科大学工学部 同大学院 博士(工学)②租税を考慮した経営計画に関する研究、税務情報の有用性に関する研究、税制が経営者行動に与える影響の分析③原価計算論、経営原価計算論、予算管理論

助教

吉本 理沙

①兵庫県立大学 同大学院経営学研究科 博士後期課程単位取得満期退学②公会計、特に北米の州・地方の業績報告③商業簿記初級、商業簿記中級、基礎簿記論、公会計論

現代中国学部

教授

安部 悟

①大阪外国語大学 外国語学部 大阪市立大学大学院 文学修士②中国近・現代文学。魯迅及び同時代の作家研究。中国語教育③中国語、中国現代文学史、中国現代文学論

今井 理之

①東京外国語大学 外国語学部 文学士②中国貿易論。③中国貿易論、中国投資論、華人企業経済論

小田川 圭甫

①東京大学法学部 法学士②中国経済。中国の企業経営。中国の体制改革。技術移転／アジアの地域協力と共生③中国体制改革、中国企業論、日中比較経営論、現代日本社会論

加々美 光行

①東京大学文学部 文学士②中国政治思想。中国外交論／文化大革命論／東アジア民族問題③現代中国学原論、中国外交論、中国研究入門II

河辺 一郎

①東京都立大学人文学部 文学士(文学)②国連問題。国連政策を中心とした日本外交③国際関係論、現代社会とメディア、日本外交論、中国外交論、平和学

黄 英哲

①台湾師範大学文学部 立命館大学大学院 博士(文学)②台湾近現代史・台湾文学。植民地主義と文学。台湾における「戦後」の意味。③中国語、中国現代文学作家研究、ピンナン語

高 明潔

①中央民族大学歴史学科②中国の社会文化に関する人類学・歴史学的研究③中国語、中国民族論、民族と国家、中国現地研究実習

砂山 幸雄

①東京大学教養学部 同大学院 国際学修士②現代中国政治論／現代中国思想・文化研究③中国政治思想史、中国政治体制論、中国政治論、日中関係論、国際文化論II

薛 鳴

①中国東北師範大学外国語学部 大阪大学大学院 修士(文学)②社会言語学、日中比較言語学／日中言語行動の比較研究③中国語、コミュニケーション中国語、中国語文法論、中国語学概論、中国語学彙論

高橋 五郎

①愛知大学法経学部 千葉大学大学院 農学博士②中国社会調査／中国農業、農村経済問題③国際社会調査論、中国農村経済論、中国現地研究実習

張 琢

①武漢大学哲学部②魯迅思想、中国文化論③中国史概説、中国社会論、中国発展研究

土橋 喜

①法政大学経済学部 筑波大学大学院 東京大学大学院 博士(工学)②情報科学。問題解決における発想支援／問題構造の可視化③情報化社会論、社会データ分析入門

馬場 毅

①早稲田大学第一文学部 東京教育大学大学院 早稲田大学 博士(文学)②中国近現代史。中国近代史における秘密結社史／抗日戦争③中国社会史、中国研究入門I、東アジア近代史、中国近代経済史

古澤 賢治

①愛知大学法経学部 大阪市立大学大学院 博士(経済学)②中国経済の歴史的展開／東アジアビジネス事情③中国経済論、発展途上国経済論III

松岡 弘記

①中京大学体育学部 同大学院 体育学修士②運動生理学。スポーツ選手のウエイトコントロールに関する研究③現地プログラム生活事前教育、ヘルスエクササイズ、健康と栄養

松岡 正子

①早稲田大学第一文学部 同大学院 博士(文学)②中国民俗学。中国文化人類学。西南中国の諸民族における文化の変容③中国民俗学、民族と文化

三好 章

①東京教育大学文学部 一橋大学大学院 博士(社会学)②中国近現代史／中華人民共和国社会史③中国史II、日中戦争史

山本 一巳

①早稲田大学第一政経学部 経済学士②発展途上国経済論／アジア経済③発展途上国経済論、南北問題

劉 柏林

①北京第二外国語学院アジア・アフリカ語系学部 北京国際関係学院日本語文学研究科 文学修士②中日言語と文化の比較。中日両国の近代化による文化と言語の変化／中日コミュニケーションの異同について③日中ビジネス会話、中国語、コミュニケーション中国語、中国語プレゼンテーション、研究演習

准教授

梅田 康子

①桜美林大学文学部 慶應義塾大学大学院 修士(社会学)②日本語教育／異文化間教育③日本語、ビジネス日本語

木島 史雄

①京都大学文学部 同大学院 文学修士②中国古典学／儀礼を中心とする中国思想史／東洋の書物の文化史③社会と宗教、中国思想概説

佐野 俊彦

①愛知教育大学教育学部 広島大学大学院 文学修士②シェイクスピア。英詩。ルネッサンスの世界観③英語、文学と人間

藤森 猛

①中央大学経済学部 愛知大学大学院 修士(中国研究)②中国芸術論、中国語学。映画／テレビ放送／新劇などの中国大衆芸術および中国語語彙研究③中国語、東アジア現代芸術論、授業構成法演習(中国語)、演習、映画と人間

吉川 剛

①明治学院大学法学部 愛知大学大学院 修士(中国研究)②中国語CAI／現代中国の法意識・法文化に関する法社会学的研究③中国語、中国法概説、中国法

助教

今枝 明子

①南山大学経営学部 南山大学大学院人間文化研究科 教育ファシリテーション専攻修了 教育ファシリテーション修士②国際理解教育／参加体験型学習、多文化共生③教育コミュニケーション研究I・II、学校文化論、教育文化の分析

助教(外国語専任助教II)

焦 毓芳

①上海外国語大学 日本語科 九州大学比較社会文化学府(修士) 上海外国語大学日本文化経済学院(博士)②中国語発音

段 銀萍

①遼寧大学 北海道教育大学 教育学研究科③中国語発音

教学

専任教員

- ①出身学校・学位
- ②専門分野／研究テーマ
- ③主な担当科目

短期大学部

ライブデザイン総合学科

教授

黒柳 孝夫

①国学院大学文学部 愛知大学文学専攻科 文学士②日本文学。文学にみる日本人の美意識と自然観。③日本文学の歴史、伝統文化演習、日本文化のかたち

須田 淳一

①早稲田大学文学部 同大学院 文学修士②日本語学／説明リテラシー。日本語文法のシステムダイナミクスに関する実証研究／説得的論理の階層化と文型の最適化。③日本語学研究

谷 彰

①広島大学文学部 同大学院 文学修士②日本近代文学。大正期、昭和期の文学研究(長期)／宇野浩二、牧野信一、石川淳、梶井基次郎の研究(短期)③近代の作家と作品、モダンカルチャー論、文学

武藤 明弘

①早稲田大学教育学部 同大学院 文学修士 ロンドン大学(UCL)大学院 言語学修士②英語学。歴史言語学、音韻論③日本語と英語の発音、リスニング

安 智史

①立教大学文学部 同大学院 博士(文学)②日本近代文学。日本近代詩、文学と他メディアとの関係③文学の環境、詩歌を読む、映像文化

山本 茂紀

①東京教育大学体育学部 同大学院 体育学修士②レジャー・レクリエーション。SCUBAダイビング／海女③健康・スポーツ、アウトドアライフ演習、ダイエットと運動

龍 昌治

①島根大学教育学部 愛知教育大学大学院 教育学修士②情報教育学。情報教育・技術教育のカリキュラムと教材③プレゼンテーション、Webデザイン、ビジネス基礎

Laura Lee Kusaka

①スクール・フォー・インタナショナル・トレーニング語学教育修士課程(M.A.T.)②英語教育教授法、異文化コミュニケーション、日本における英語教育、日系アメリカ人事情③アメリカの歴史と文化、コミュニケーションングリッシュ

准教授

岡田 圭二

①立命館大学文学部 広島大学大学院 博士(心理学)②認知心理学。自己、感情、記憶、意識の関係③心理コミュニケーション論、ライフプランニング

川端 朋広

①上智大学文学部 青山学院大学大学院 修士(文学)②英語学。コーパス言語学、文法化③リスニング、ベーシックライティング、言語コミュニケーション

迫田 耕作

①東京都立大学人文学部 同大学院 社会学修士②社会学。現代日本社会論／地域社会／社会史③日本社会論、現代社会と生活

須川 妙子

①同志社女子大学家政学部 同大学院 修士(家政学)②食文化。宮中・公家・寺社の儀式行事と食。菓子文化③日本の食と文化、文化人類学

豊橋語学教育研究室

助教(外国語専任助教1)

Christine Fernandes

①ブリストル大学 M.Sc.③Communicative English

Jack Ryan

①テンブル大学大学院 修士③Communicative English

Mark Gerrard

①スタッフオードシャー大学 学士③Communicative English

Rory John Davies

①サザンクイーンズランド大学大学院 修士③Communicative English

名古屋語学教育研究室

助教(外国語専任助教1)

鬼頭 修

①京都大学大学院 ③英語

服部 茂

①中京大学文学部 同大学院 ③英語

林 姿穂

①同志社大学文学部 滋賀大学大学院 修士(教育学) ③英語

- ①出身学校・学位
②専門分野/
研究テーマ
③主な担当科目

大学院

法学研究科 [公法学専攻]

教授

- 岩間 康夫 [刑事法]
- 大林 文敏 [博士(法学)] [憲法]
- 春日 修 [行政法]
- 加藤 克佳 [刑事訴訟法]
- 久須本 かおり [民法]
- 小林 武 [法学博士] [憲法]
- 田中 正人 [欧米政治論]
- 長峯 信彦 [憲法]
- 西野 基継 [法哲学]

法学研究科 [私法学専攻]

教授

- 宇田 一明 [商法]
- 片野 三郎 [民事訴訟法]
- 杉浦 市郎 [経済法]

経営学研究科

教授

- 阿部 聖 [日本経済史]
- 李 泰王 [博士(経済学)] [現代韓国・朝鮮経済] [現代アジア比較経済]
- 伊藤 靖徳 [中小企業論]
- 岩崎 正弥 [博士(農学)] [地域経済論]
- 大澤 正治 [環境経済学]
- 桂 秀行 [Ph.D] [西洋経済史] [国際比較地域経済史]
- 沓掛 俊夫 [理学博士] [環境論]
- 國崎 稔 [経済政策論]
- 栗原 裕 [国際経済論]
- 小林 慎哉 [計量経済学]
- 佐藤 元彦 [現代アジア地域経済] [国際開発の政治経済学]

蔣 湧 [博士(経営工学)] [情報処理論]

竹内 晴夫 [博士(経済学)] [経済原論]

田中 良明 [社会思想史]

沈 徹 [国際金融論]

中川 清 [経済原論]

保住 敏彦 [経済学博士] [経済学史]

宮入 興一 [財政学]

藪内 繁己 [経済学博士] [理論経済学]

渡辺 和敏 [博士(文学)] [日本経済史]

准教授

井口 泰秀 [数理統計学]

打田 委千弘 [博士(経済学)] [実証経済分析]

小林 弥生 [博士(経済学)] [理論経済学]

西村 正広 [社会福祉論]

経営学研究科

教授

- 伊藤 清己 [博士(経営学)] [財務会計論]
- 川井 伸一 [中国経営経済論]
- 神頭 広好 [経営立地論]
- 小浜 ふみ子 [博士(社会学)] [地域社会学]
- 田川 克生 [経営学原理]
- 玉置 光司 [工学博士] [オペレーションズ・リサーチ]
- 富増 和彦 [博士(経営学)] [社会関連会計論]
- 藤本 光夫 [経営学博士] [企業論]
- 星野 靖雄 [経済学博士] [コーポレート・ファイナンス]
- 南 龍久 [博士(経営学)] [マネジメント理論]
- 村松 幸廣 [消費者行動論]
- 盛田 良久 [経営学博士] [会計監査論]

准教授

岩田 真典 [博士(工学)] [情報数理]

太田 幸治 [マーケティング論]

齋藤 毅 [博士(経営工学)] [生産管理論]

田中 英式 [アジア企業論]

山本 大造 [労務管理論]

中国研究科

教授

- 荒川 清秀 [博士(文学)] [中国語文法論]
- 伊東 利勝 [中国近隣諸国史]
- 今井 理之 [中国経済]
- 宇佐美 一博 [中国思想]
- 加々美 光行 [中国現代政治]
- 河辺 一郎 [平和学]
- 桑島 由美子 [中国文学]

黄 英哲 [博士(文学)] [中国文学]

高 明潔 [中国民族学]

小山 澄夫 [中国文学]

周星 [博士(民族学)] [中国民族・文化人類学]

鈴木 立子 [中国政治史]

高橋 五郎 [農学博士] [フィールドワーク方法論]

張 琢 [中国社会学]

馬場 毅 [博士(文学)] [中国社会学]

古澤 賢治 [博士(経済学)] [中国経済]

松岡 正子 [博士(文学)] [中国民俗学]

三好 章 [博士(社会学)] [日中間係史]

森 久男 [農学博士] [中国経済史]

山本 一巳 [アジア開発経済論]

李 春利 [博士(経済学)] [中国経済論]

准教授

木島 史雄 [中国思想]

長井 千秋 [博士(文学)] [中国制度史]

文学研究科 [日本文化専攻]

教授

秋山 公男 [日本近代文学]

印南 敏秀 [日本民俗学]

漆谷 広樹 [博士(文学)] [日本語学]

神谷 智 [博士(歴史学)] [日本近世文化]

沢井 耐三 [日本中近世文学] [日本古典資料]

玉井 力 [日本古代社会]

山田 邦明 [博士(文学)] [日本中世社会]

和田 明美 [博士(文学)] [日本古代語]

文学研究科 [地域社会システム専攻]

教授

有菌 正一郎 [文学博士] [歴史地域論]

櫻村 愛子 [地域文化論]

交野 正芳 [地域社会生活論] [地域社会システム研究方法論]

武田 圭太 [生活行動論]

樋口 義治 [文学博士] [人間行動論]

藤田 佳久 [理学博士] [地域システム論] [地域社会システム研究方法論]

宮沢 哲男 [自然地域システム論]

渡邊 正 [地域社会形成論]

准教授

加藤 一己 [社会行動論]

文学研究科 [欧米文化専攻]

教授

浅野 俊夫 [文学博士] [行動心理学]

伊集院 利明 [ギリシヤ古代哲学]

伊藤 勲 [イギリス文学] [欧米文化研究方法論]

海老澤 善一 [ヨーロッパ近代哲学]

片岡 邦好 [Ph.D] [英語学]

サイモン・サナダ [応用英語学]

鈴木 康志 [ドイツ語学]

セルジュ・ジュンタ [応用フランス語学]

高橋 秀雄 [フランス語学] [欧米文化研究方法論]

土屋 洋二 [ドイツ文学]

トマス・グロース [博士(哲学)] [応用ドイツ語学]

永瀬 美智子 [アメリカ文学]

浜本 正文 [フランス文学]

早川 勇 [言語文化学博士] [言語文化]

山口 隆一 [アメリカ文学]

准教授

下野 正俊 [ヨーロッパ近・現代哲学]

中尾 充良 [文学博士] [フランス文学]

国際コミュニケーション研究科

教授

アイバン・コスビー [英語コミュニケーション]

河野 眞 [博士(文学)] [国際コミュニケーション研究方法論] [多文化間比較] [日本語論文技術]

ジョン・ブランデル [英語コミュニケーション]

高橋 貴 [多文化間比較]

鈴木 規夫 [博士(政治学)] [国際コミュニケーション研究方法論] [国際関係]

高原 隆 [Ph.D] [多文化間比較]

塚本 鋭司 [Ph.D] [英語教育学]

田本 健一 [博士(文学)] [国際コミュニケーション研究方法論] [英語学]

塚本 倫久 [英語学]

名和 聖高 [国際関係]

架谷 真知子 [日本語教授法]

片 茂永 [文学博士] [多文化間比較]

山本 雅子 [博士(人間・環境学)] [日本語学]

須田 淳一 [兼任] [日本語学]

准教授

アンガス・マッキンドー [英語コミュニケーション]

梅田 康子 [日本語教育学]

加納 寛 [博士(歴史学)] [多文化間比較]

小坂 敦子 [Ph.D] [英語教育学]

佐野 俊彦 [英語圏文化]

清水 伸子 [言語学特殊講義]

専門職大学院

教学
専任教員

法務研究科

教授

浅井 正

①金沢大学 愛知大学大学院 修士(法学)②刑事法、現代中国法、知的財産法、国際人権法③刑事訴訟実務基礎Ⅰ、刑事訴訟実務基礎Ⅱ、法律中国語Ⅰ、現代中国法

石井 三一

①中央大学 法学士②倒産法③倒産法Ⅰ・Ⅱ、執行保全法、民事訴訟実務基礎Ⅱ

伊藤 博文

①同志社大学 愛知大学大学院 法学修士 ウィスコンシン大学ロースクール M.L.I.②法情報学③法情報調査、法文書作成、法情報学、法律英語Ⅰ、法律英語Ⅱ、英米法Ⅰ

今村 憲治

①中央大学 法学士②一般民事、商取引、消費者法③法務総合演習、商法演習、企業法務Ⅰ、民事訴訟実務基礎Ⅱ

岩間 康夫

①京都大学 京都大学大学院 法学修士②刑法学③刑法Ⅰ、刑法Ⅱ、刑法Ⅲ、刑法演習、刑事法総合演習、法務総合演習

宇田 一明

①愛知大学 同大学院 法学修士②商法学、ゴルフ法学③商法、商法演習、民事法総合演習、有価証券法、企業法務Ⅰ

大林 文敏

①愛知大学法経学部 同大学院 法学修士 九州大学 博士(法学)②憲法学／アメリカ最高裁判所論③公法総合演習、憲法演習、法務総合演習

奥岡 直子

①大阪大学 法学士②刑事法(刑法、特別刑法、刑事訴訟法)③刑事法総合演習、刑事訴訟実務基礎Ⅰ・Ⅱ、刑法演習、刑事訴訟法演習、法務総合演習、法文書作成

春日 修

①早稲田大学政治経済学部 同大学院 政治学修士②行政法③行政法、公法総合演習、行政法演習、行政法特論、法務総合演習

片野 三郎

①愛知大学法経学部 同大学院 法学修士②民事訴訟法／訴訟要件論／民事上告制度③民事訴訟法、民事訴訟法演習

加藤 克佳

①早稲田大学法学部 同大学院 法学修士②刑事訴訟法学／事実誤認救済制度の再検討(長期)／犯罪被害者と刑事手続(短期)、裁判員制度③刑事訴訟法、刑事訴訟法演習、刑事法総合演習、法務総合演習、刑事訴訟実務基礎Ⅰ・Ⅱ、法律英語Ⅰ・Ⅱ、被害者と法

久須本 かおり

①名古屋大学法学部 同大学院 修士(法学)②契約不履行／過失相殺③民法Ⅱ・Ⅲ、民法演習Ⅰ・Ⅱ、民事法総合演習、法務総合演習

小林 武

①立命館大学 同大学院 法学博士②憲法学③憲法Ⅰ・Ⅱ、公法総合演習、憲法演習、法務総合演習、地方自治法、法学の基礎Ⅰ

高橋 譲二

①東京大学 法学士②知的所有権紛争、商事紛争、独占禁止法③民事訴訟法演習、民事訴訟実務基礎Ⅰ、法務総合演習、知的財産法Ⅰ、知的財産法Ⅱ

前田 義博

①早稲田大学 法学士②刑事法、労働法③刑事訴訟実務基礎Ⅰ、刑事訴訟実務基礎Ⅱ、労働法Ⅰ・Ⅱ

森山 文昭

①京都大学 法学士 名古屋大学大学院②民事法、租税法、司法制度論③民法演習Ⅰ・Ⅱ、民事法総合演習、法曹倫理、司法制度論、租税法Ⅱ、法文書作成

准教授

川崎 修一

①名城大学法学部 同大学院 修士(法学)②民事訴訟法、倒産法、スポーツ法③民事法総合演習、民事訴訟法演習、民事訴訟実務基礎Ⅰ、法務総合演習

会計研究科

教授

伊藤 清己

①愛知大学法経学部 神戸商科大学大学院 博士(経営学)②財務会計論、国際会計論／キャッシュ・フロー計算書の理論と制度③財務会計総論、財務諸表論

大槻 隆

①名古屋大学 法学士②金融法務・企業法務・民商法③会社法Ⅰ、会社法Ⅱ、企業法演習Ⅰ

奥野 博幸

①関西学院大学経済学部 同大学院 経済学修士②金融論、金融制度改革と持株会社制度／地域金融(東アジアの金融を含む)③金融論

加藤 義幸

①愛知大学法経学部 名古屋市立大学大学院 修士(経済学)②租税法／租税争訟・所得税／税理士制度と専門家責任③租税法概論、所得税法、演習

粥川 和枝

①南山大学 同大学院 名古屋大学大学院 博士(経済学)②財務会計論、国際会計論③財務会計総論、財務諸表論、会計基準Ⅱ、財務会計論演習、研究指導Ⅰ、研究指導Ⅱ

鈴木 孝一

①愛知大学 神戸商科大学大学院 経営学修士②法人税法③法人税法、研究指導Ⅰ、研究指導Ⅱ

中 善宏

①北九州大学 神戸大学大学院 経営学修士②業績管理会計、経営戦略と管理会計③業績管理会計、意思決定会計、原価計算Ⅰ、原価計算Ⅱ、戦略管理会計論

林 隆一

①立命館大学経営学部 名古屋大学大学院 経済学修士②租税法／所得区分の見直しについて③消費税法、相続税法

星野 靖雄

①東京大学大学院 経済学博士②M&Aの実証分析、海外子会社の実証分析、日本の経営③ファイナンス理論、経営財務論、経営分析、経営学演習、研究指導Ⅰ、研究指導Ⅱ

望月 恒男

①早稲田大学社会科学部 同大学院(商学修士) 横浜市立大学大学院②管理会計論／現代企業における管理会計システムに関する研究③業績管理会計、意思決定会計

盛田 良久

①愛知大学法経学部 神戸商科大学大学院 経営学博士②監査論／ゴーイング・コンサーン問題と公認会計士裁判の研究③研究指導Ⅰ、研究指導Ⅱ

准教授

栗濱 竜一郎

①弘前大学人文学部 北海道大学大学院 博士(経営学)②監査論③監査論総論、監査基準論、会計・監査制度、簿記

齋藤 誠

①同志社大学 愛知大学大学院 法学修士②所得税法③租税法演習、租税法事例研究、研究指導Ⅰ、研究指導Ⅱ

花野 康成

①愛知大学 経営学学士②会計・監査実務、事業承継対策、経営コンサルティング③会計実務研究、監査事例研究、職業倫理、エグゼクティブ

①出身学校・学位
②専門分野/
研究テーマ
③主な担当科目

学生生活

学生サークル活動…43P

卒業者進路状況…45P

奨学状況…47P



体育系

豊橋校舎

体育会

- アメリカンフットボール部
- 応援團
- 空手道部
- 弓道部
- 競技スキー部
- 剣道部
- 硬式ソフトボール部
- 硬式庭球部
- 硬式野球部
- ゴルフ部
- サイクリング部
- サッカー部
- 自動車部
- 柔道部
- 少林寺拳法部
- 女子バスケットボール部
- 女子バレーボール部
- 女子ハンドボール部
- 女子ラクロス部
- 水泳部
- ソフトテニス部
- 卓球部
- 男子バスケットボール部
- 男子バレーボール部
- 男子ラクロス部
- 軟式野球部
- 日本拳法部
- 馬術部
- ハンドボール部
- ヨット部
- ラグビー部
- 陸上競技部
- ワンダーフォーゲル部

名古屋校舎

体育会

- アメリカンフットボール部
- カヌー部
- 空手道部
- 競技スキー部
- 剣道部
- 硬式庭球部
- ゴルフ部
- サッカー部
- 自動車部
- 柔道部
- 準硬式野球部
- 少林寺拳法部
- 水泳部
- 漕艇部
- ソフトテニス部
- 卓球部
- 中国武術部
- トライアスロン部
- 軟式野球部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- バレーボール部
- ハンドボール部
- フィギュアスケート部
- モーターサイクル部
- 洋弓部
- ライフル射撃部
- ラグビー部
- ラクロス部
- 陸上競技部

豊橋校舎 短大

運動部

- 弓道部
- ソフトテニス部
- 女子バレーボール部
- 女子ラクロス部
- 卓球部
- 馬術部

文化系

豊橋

学研連

- Wish
- ウリネ
- 英語会話研究会(E.S.S)
- 会計学研究会
- クイズ愛好会
- 経営学研究会
- 経済学研究会
- 考古学研究会
- 広告研究会
- 国際問題研究会
- 国文学研究会(JLC)
- コント研究会
- 社会科学研究会
- 証券研究会
- 心理学研究会
- タイ研究会
- 中国語会話研究会
- 中国語文研究会
- 中国武術研究会
- 中国問題研究会
- 哲学研究会
- 野宿研究会
- プロ野球研究会
- 歴史科学研究会

文芸連

- アカベラサークルVMC2
- 映画研究会
- 演劇研究会
- 音楽研究会
- 観光事業・ローカル旅行研究会
- ギターアンサンブル
- キャンパスマガジンらじやん
- 軽音楽部
- 児童文化研究会
- 写真研究会
- 吹奏楽団
- 創作研究会
- 美術部
- フォークソング研究会(TFA)
- フォークダンス部
- 舞踏研究会
- 邦楽研究会
- 漫画研究同好会
- ミステリー同好会
- モダン・ジャズ研究会
- 落語研究会



校舎

連合会未加盟の団体

- HB-DASH
- FAC(フィールド・アスレチック・クラブ)
- 木曜フットサル
- C.S.C(クリエイティブ・スポーツ・カンパニー)
- ゲレンデスキー愛好会
- 情報処理研究クラブ(IPC)
- 豊橋日曜学校(TSS)
- バスケットボールを楽しむ会
- バドミントンを楽しむ会
- B.P.M(Black People Movement)
- 伝説の槍投げサークル
- 社会学研究会
- GINGA(ジンガ)
- 愛知大学釣り同好会
- リバーフローティングクラブ
- サッカーチームをつくろう(さかつく)
- ソフトボール愛好会
- ATT(アドバンテージテニスチーム)
- 国際スポーツ研究クラブ
- KSAフットサル
- ボクシング同好会

連合会外自治団体

- 愛大祭実行委員会
- 愛知大学卒業アルバム委員会
- 学生論叢編集委員会
- 新聞会
- 生協学生委員会



名古屋校舎

文 化 連

- 愛華倶楽部
- A.U.C.C
(Aichi University Computer Club)
- A.U.F
(Aichi University Flea Market)
- 英会話研究会(ESS)
- 音楽愛好会
- 会計学研究会
- [教] -SCHOOL
- ギターアンサンブル部
- 軽音楽部
- 現代音楽研究会
- 茶道研究会
- 写真研究会
- 創作画研究会
- 二胡部(知音)
- フォークソング研究会
- プロ野球研究会
- メンネル・コール
- ローカル旅行愛好会
- B.P.M
(Black People Movement)
- 留学生交流会
- 日本フード研究会
- エコビジネス研究会

連合会外自治団体

- 愛大祭実行委員会
- 新聞会
- 生協学生委員会(AU.NOIS)
- 留学生会



連合会未加盟の団体

- 法学研究会(愛法会)
- やるら〜(英語学習)
- F.C.スプロケット(サッカー)
- ゴールデンサンズ(バスケ)
- 213.com(軟式野球)
- TWIST(テニス等)
- サイパンF.C.(サッカー)
- 愛大創造社(平和・文化・教育)
- ドットジェイビー愛大
- 星コミュ
- つかサク(スポーツ何でも)
- F.C.チュッパ
- DWE(裁判傍聴サークル)
- PRET'Z(テニス)
- グラスホッパーズ(ソフトボール)
- ソフトボール愛好会
- ファンタチオ(フットサル)
- 幸せ予備軍(何でも)
- 遊戯研究会
- A.B.C.(Aichi Band Circle)
- 園芸部
- バボバボ(バレーボール)
- 蹴猿(フットサル その他スポーツ)
- LUV(Leaning University V)
- ファイト!(格闘技)
- パティ(バドミントン)
- オッパッピー(スポーツ何でも)
- Physical(スポーツ何でも)
- Round 2(マーケティング会)
- ATRIERNO(スポーツ何でも)
- ドイツ研究会

豊橋校舎 短大

文 化 部

- 舞踏研究会
- 情報処理研究クラブ
- 吹奏楽団
- 煎茶道研究会
- 創作研究会
- 邦楽研究会
- 心理学クラブ
- PCS(ばそこんサークル)
- 茶道研究会
- 日本文化研究クラブ
- 児童文化研究会



2008年度卒業生就職状況

区分		1部								
		文学部		経済学部		国際コミュニケーション学部		法学部		
		男	女	男	女	男	女	男	女	
進路状況	就職決定率	94.6%	96.1%	97.7%	98.7%	96.5%	98.6%	98.3%	98.2%	
就職状況	規模別	超大企業	12	21	28	17	5	23	24	24
		巨大企業	25	29	77	19	12	26	39	20
大企業		22	24	50	12	8	35	27	13	
中企業		21	38	59	18	20	41	26	16	
小企業		10	26	16	7	7	10	8	11	
地域別	北海道	0	0	1	0	0	0	1	0	
	東北	0	0	0	0	0	0	0	0	
	関東	13	12	16	15	5	17	24	19	
	北陸	2	3	4	0	2	0	1	1	
	甲信	0	1	3	0	0	0	0	0	
	岐阜県	6	8	23	3	1	3	9	7	
	静岡県	4	16	19	13	3	11	5	1	
	愛知県	54	71	148	35	37	85	100	54	
	三重県	4	2	6	0	0	0	5	6	
	近畿	1	4	2	1	0	6	5	4	
	中国	0	2	2	0	0	1	0	1	
	四国	1	1	0	0	0	0	0	0	
	九州	0	0	0	0	0	0	0	0	
	海外	0	0	0	0	0	0	0	0	
業種別	建設業	0	3	6	2	2	2	5	2	
	製造業	19	23	56	15	11	23	28	10	
	電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	1	0	0	0	0	0	
	情報通信業	4	7	20	4	4	3	10	5	
	運輸業	10	5	7	3	7	11	6	3	
	卸売業・小売業	29	32	53	11	16	36	36	17	
	金融・保険業	16	36	68	29	4	33	31	38	
	不動産業	1	3	0	3	1	2	2	3	
	飲食店・宿泊業	2	1	3	0	0	3	0	0	
	医療・福祉	0	5	1	0	0	0	0	1	
	教育・学習支援業	6	12	2	1	2	6	1	2	
	複合サービス業	0	1	4	0	0	2	1	0	
	その他のサービス業	11	17	15	6	5	16	9	8	
	国家公務員・地方公務員	8	2	13	2	2	5	43	20	

・規模別の欄には公務員・教員は除く

・規模別(従業員数)超大企業:3,000人以上・巨大企業:2,999人~1,000人・大企業:999人~500人・中企業:499人~100人・小企業:100人未満

・全求人件数:7,136件

規模別就職状況



(2009年 4月27日現在)

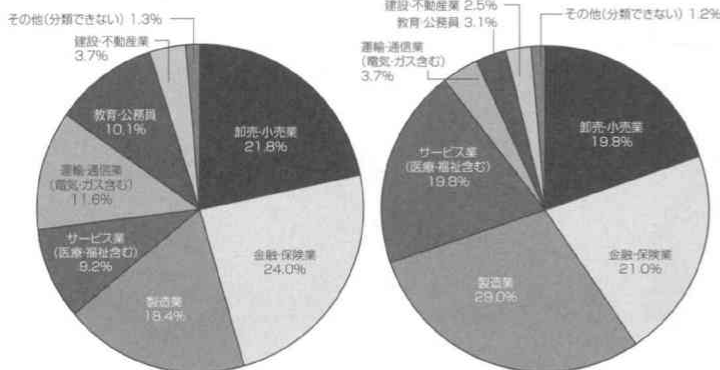
経営学部		現代中国学部		2部 経済学部 法学部		短期大学部	総計	
男	女	男	女	男	男	女	男	女
97.9%	100.0%	95.9%	100.0%	—	100.0%	95.9%	97.3%	97.6%
45	28	11	29	0	0	28	125	170
82	27	20	18	0	0	18	255	157
44	12	10	13	0	0	30	161	139
70	31	19	26	0	1	60	216	230
22	7	6	5	0	0	18	69	84
0	0	0	0	0	0	0	2	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
42	14	7	14	0	0	6	107	97
7	0	0	0	0	0	0	16	4
1	0	1	0	0	0	0	5	1
17	14	3	8	0	0	1	59	44
5	3	1	3	0	0	19	37	66
163	51	41	49	0	0	108	543	453
7	4	2	2	0	0	0	24	14
10	5	4	8	0	0	2	22	30
0	0	2	0	0	0	0	4	4
0	1	0	0	0	0	0	1	2
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	1	1	2	0	0	4	25	16
53	20	22	21	0	1	47	190	159
1	1	1	0	0	0	2	3	3
26	8	4	4	0	0	2	68	33
8	3	14	9	0	0	2	52	36
82	15	13	17	0	0	32	229	160
58	51	5	23	0	0	34	182	244
4	2	0	2	0	0	0	8	15
4	0	0	2	0	0	2	9	8
1	0	0	1	0	0	7	2	14
2	3	1	2	0	0	3	14	29
3	0	2	1	0	0	1	10	5
12	2	3	8	0	0	22	55	79
16	5	5	5	0	0	2	87	41

学生生活
卒業生進路状況

業種別就職者構成比

[学部]

[短期大学部]



2008年度実績

公務員・教員決定者数

●公務員…127名 ●教員…20名

過去5年間の合格者数844名

※国家公務員I種1次合格者含む

147名

公務員・教員在職者数

愛知県職員数
●2008年11月現在
●2009年1月現在
1,142名

名古屋市職員数
●2009年1月現在
602名

高校教員数
●2008年3月現在
●2009年1月現在
477名

豊橋市職員数
●2009年1月現在
310名

奨学状況(奨学生数)

(2009年 3月1日現在)

学部・短期大学部

種別	文学部	経済学部	国際 コミュニケーション 学部	法学部	経営学部	現代中国 学部	短期大学部	計
日本学生 第一種	123	156	132	159	197	49	31	847
支援機構 第二種	267	340	191	299	291	117	54	1,559
学内奨学金※	58	98	132	39	116	189	18	650
地方自治団体等各種奨学団体	11	26	33	10	39	54	5	178
計	459	620	488	507	643	409	108	3,234

※スカラシップ奨学金受給者を含む。

大学院

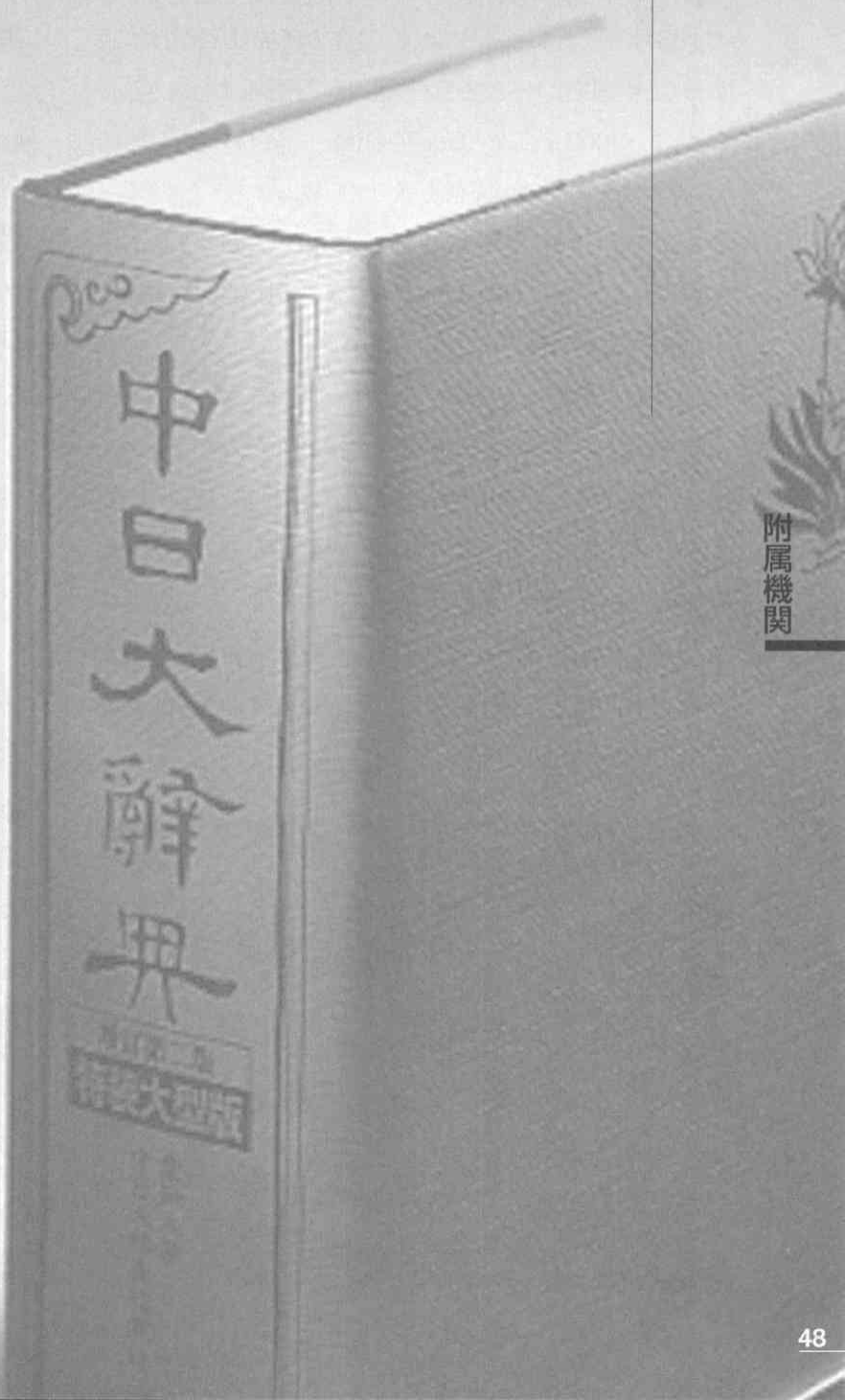
研究科	法学		経済学	経営学	中国	文学			国際 コミュニケーション	計	
	公法学	私法学	経済学	経営学	中国研究	日本文化	地域社会 システム	欧米文化	国際 コミュニケーション		
日本学生 支援機構	修士課程 第一種	—	—	2	0	0	1	1	0	1	5
	第二種	—	—	0	0	0	0	0	0	0	0
	博士後期課程	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
学内奨学金	0	0	4	33	101	0	4	0	8	150	
地方自治団体等各種奨学団体	0	0	1	6	6	0	1	0	8	22	
計	0	0	7	39	107	2	6	1	17	179	

専門職大学院

研究科	法務		会計	計	
	未修者	既修者			
日本学生 支援機構	第一種	12	4	9	25
	第二種	9	8	0	17
学内奨学金	26	10	17	53	
地方自治団体等各種奨学団体	5	3	4	12	
計	52	25	30	107	

附属機関

- 大学研究所の研究分野…49P
大学諸機関発行機関誌等…53P
図書館…55P
情報メディアセンター…57P



国際問題研究所

<1948年6月24日 設立>

国際的視野を重視する建学の精神に基づいて、本学創立直後に設立され、60年の歴史を有する研究所である。現代中国を中心とし、東南アジア・欧米等広く全世界に亙る国際問題の調査・研究・資料収集を行っている。とくに現代中国関係の図書
の所蔵は内外に広く知られ、外部の研究者の訪問が絶えない。

機関誌『国際問題研究所紀要』は年2回発行され、今日まで133号を数える。各号には、所員等の研究成果が日本語のほか、中国語、英語、フランス語、ドイツ語等で発表されている。また2007年度からOccasional Paperの刊行を開始し、研究成果の随時の発信を強めている。

創立40周年を記念して「国研叢書」の刊行が始まり、3期18年にわたって所員の研究成果を逐次刊行し、計19冊の専門研究書が刊行されている。

研究所の活動には、ほかに研究会、講演会、シンポジウム等があり、その記録は随時『紀要』に掲載され、またはその都度記録集(『中台関係の現実と展望』〈2004年2月刊〉など)が刊行されている。また毎年複数の研究プロジェクトを組織して特定領域の調査研究活動を展開している。

最近の出版事業としては、日・韓・中・米の8人の専門家の論文を収録した『21世紀における北東アジアの国際関係』(2006年3月刊)がある。



総合郷土研究所

<1951年6月11日 設立>

東海地方を中心に広く中部日本の諸地域について、歴史・文学・地理・言語・社会・経済など人文・社会科学のほか、生態系に関わる諸科学による統一的・総合的研究に従事するとともに、逐次その成果を公刊している。

機関誌『総合郷土研究所紀要』は年1回発行され、すでに54輯刊行。

研究叢書として、『地域研究を拓く』『豊川流域の水文環境』『ヤマチャの研究』『三河地方知識人史料』『東海道交通施設と幕藩制社会』『近世東海地域の農耕技術』『持続する社会を求めて』『ふるさとの誘因』など第21集まで刊行し、今後も年1回刊行。

隔年で開催するシンポジウムの報告集の刊行『天竜川・豊川地域文化圏から東・西日本をみる』『花祭論』『県境を越えた地域づくり』『豊川流域の生活と環境』『ふるさとを考える』『ふるさとを創る』『ふるさとに住む』『ふるさとから発信する』などが出版されている。

研究所ブックレットは『森の自然誌』『内湾の自然誌』『共同浴の世界』『豊橋三河のサルカニ合戦』『渡辺華山』『空間と距離の地理学』『生きている霞堤』『漆器の考古学』『日本茶の自然誌』『浜松空襲』『城下町の賑わい』『明治はいかに英語を学んだか』『川の自然誌』『東海道二川宿』など。

このほか、『愛知県歴史関係論文目録』『村落研究文献目録』『総合郷土研究所所蔵資料図録』を刊行している。

所蔵資料として『三州渥美郡馬見塚村・渡辺家文書』(寛文～文久年間)『豊橋市浄慈院日別雑記』(文化～安政年間)ほか文書類、絵地図約3,000点、考古資料多数(一部展示)。



中部地方産業研究所

<1953年3月1日 設立>

本研究所は、中部地方における経済社会の動向を実証的に調査研究し、社会に対して発表することを主要な課題としている。

これまで、所員の総合的な共同研究成果として『東三河の経済と社会』を5年ごとに第6輯まで刊行した。そして、2002年度からは中産研の年報として装い新たに『中部の経済と社会』を刊行している。また、所員の個人研究報告書を65号まで刊行した。

近年、地域での産官学交流をはかり、地域の実態調査をもととした社会科学的分析を行っている。そして、地域が当面する諸問題の所在を明らかにし、地域住民、産業界、地方行政のニーズに答える研究発表を行っている。2008年度は「第8回地域・産業・大学」の公開講演会『産業観光の新しい視点』・シンポジウム等を開催した。

また、2006年度より研究所の使命として、中部地方を中心とした基礎的データの収集を図る方向が出され、中部地域の行政・産業データおよび所蔵社史目録のネット公開が為されている。さらに附属生活産業資料館所蔵の産業遺産“ガラ紡機”の動態保存公開も継続中である。

年鑑類、統計データ、社史などの所蔵資料、図書は教員・学生・一般の利用に供している。



中日大辞典編纂所

<1955年4月1日 設立>

日中友好の船、文化交流の橋といわれる愛知大学中日大辞典の刊行を目的として設立された。1955年4月、東亜同文書院大学が華日辞典編纂のため作成していた14万枚の資料カードが、中国側の好意で日本へ返され、関係者協議のうえ愛知大学に付託され、中日辞典の編纂が始められた。13年の歳月を経て、1968年中日大辞典として出版され、我が国最初の本格的中国語辞典として評価を受けた。

1986年には増訂版を出し、現在増訂第2版を発行中で、電子辞書としても広く利用されている。また中国をはじめ欧米でも使用されている。

中日大辞典はその誕生から日中友好の絆に結ばれており、刊行以来、中国の対日関係部門にも多数贈呈している。

第3版には近年世界の大国として変貌の著しい中国の現状を反映した語彙を取り入れ、印刷・校正が進行中であり、近く出版される予定である。



附属機関

大学研究所の研究分野

経営総合科学 研究所

<1962年4月1日 設立>

本研究所は当初、企業経営・会計経理の理論と実務の研究、企業経営の指導及び実務家の養成を目的として、愛知大学会計研究所の名称でスタートした。その後、名古屋校舎新キャンパス(三好)の開設に伴い、近年のめまぐるしい社会情勢の変化に対応して多様化した経営学研究を更に発展させるという立場から1990年に現在の名称に変更された。紀要『経営総合科学』や研究叢書の刊行、各種のプロジェクト研究、ワークショップ等を通して、その成果は広く学界、実業界に貢献している。研究書のみならず、経営関連の雑誌や統計資料も多数所蔵しており、研究者や学生の便に供している。



東亜同文書院 大学記念センター

<1993年5月30日 設立>

本学は敗戦により中国から引き揚げてきた東亜同文書院大学の教職員学生らにより創立された。東亜同文書院大学は戦前海外にあった日本の高等教育機関として最も長い歴史をもつ。日中提携のための人材育成を目的とし、各県から選抜された若者が国際都市上海に集い学び、日中関係に活躍する多くの人材が巣立った。本学の生みの親ともいべき存在の東亜同文書院大学の教育研究上の業績をあきらかにすべく設立されたのが本センターである。

同文書院学籍簿、成績原簿や大旅行報告書をはじめとする同文書院関係資料や、孫中山(孫文)と山田良政・純三郎関係資料など他にみられぬ資料をもち、常時展示している。機関誌「同文書院記念報」、ブックレット「東亜同文書院大学と愛知大学」第1集～第4集などを刊行する他、公開講演会などを開催している。

なお、2006年5月には本センター研究プロジェクトが文部科学省より学術研究高度化推進事業(オープン・リサーチ・センター整備事業)として選定され、従来展示中心のセンターであったが、東亜同文書院の総合的研究、東亜同文書院と関係する愛知大学史研究も行うこととなった。すでに公開シンポジウム(国内・国際)、講演会、研究会を行い、書院卒で100歳を迎えられた安澤隆雄氏による講演会とブックレットの刊行や成果年報、大学史研究、研究報の刊行を行っている。また、2006年11月には図書館総合展(横浜)で「東亜同文書院から愛知大学へ」のテーマで展示会を行い、愛知大学と東亜同文書院の存在を関東地区の人々にアピールできた。2007年は東京・霞山ビルでの展示会も実施し、2008年は福岡と弘前で展示会と講演会を行った。本年度は神戸での展示会や国際シンポジウムの開催も予定している。



三遠南信地域 連携センター

<2004年10月1日設立>

【平成17年度文部科学省・私立大学学術研究高度化推進事業組織(社会連携部門)に採択】

本センターは、大学の設立趣意書に謳われている地方への貢献を現代化するために、三遠南信地域での産学官民ネットワークの構築を基礎に「新しい公」を創造することを最大の任務とする。既存の行政単位にこだわらず、県境域を含めて新しい地域の枠組みを提起することをめざしつつ、地域のハブ・センターとして、三遠南信地域の発展に関わる調査・研究を含めた以下の諸事業を展開する。

(1) 地域づくりデータベースの構築・整備とその公開

地域づくりGIS(地理情報システム)を基礎としつつも、独自の調査研究の蓄積により「三遠南信・地域づくりデータベース」を整備・構築し、社会に広く提供する。

(2) 地域づくりトータルシステム開発事業

地域づくりガイドライン作成と地域づくり・地域経営評価システムの開発に関わる事業を統合したものであり、三遠南信の幾つかの地域(例えば東栄町)と連携しつつ調査研究を進め、地域づくり手法の開発をめざす。

(3) 東アジア国際交流ネットワーク整備事業

地域づくり手法のアジア的展開を意図し、韓国、中国、タイ諸国の研究機関・大学と連携し、グローバルな視点からの地域づくりという枠組みのもと地域づくりのための国際共同研究を進める。

(4) 教育・人材育成事業の推進

「地域の日常生活を結果的に分担するような教員・学生の関わり」という視点から教育・人材育成を進めるべく、廃校施設などを利用した支所・移動ステーションを地方自治体等と共同で整備し、「地域密着」と「相互関与」をキーワードとするワークショップやインターンシップを実施。また、「地域づくりアドバイザー制度」や学生による「地域づくりサポーター制度」を通じた地域社会への直接貢献も推進。

【URL <http://taweb.aichi-u.ac.jp/sen-center/>】

おもな連携・受託事業の実績	
●とよがわ流域大学(愛知県)	●とよがわ流域圏講座(国土交通省ほか)
●とよがわ流域大学・流域圏講座実践コース(愛知県ほか)	
●東三河データブック作成業務(東三河広域協議会)	

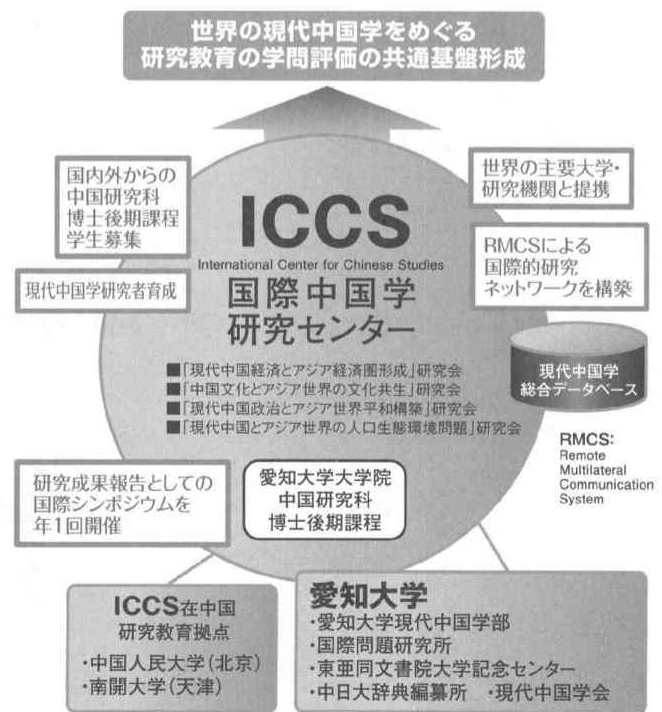
国際中国学 研究センター (ICCS)

■センター概要

愛知大学国際中国学研究センター(略称ICCS)は文部科学省「21世紀COEプログラム」の採択を受けて、現代中国学の国際的な研究教育機関として設置された。本センターは世界の主要な大学・研究機関と提携し、相互に遠隔多方向コミュニケーションシステム(略称RMCS)を形成して、世界の現代中国学研究教育推進のための国際的ネットワークを共同構築し、そのハブ・センターとなることを目指している。また、更なる国際展開の一環として、中国人民大学(北京市)と南開大学(天津市)の2大学内にICCS在中国研究教育拠点(サブ・センター)を設置している。

本センターは、大学院生に対する現代中国学の教育研究を目的として、上述の中国2大学との間で中国研究科「デュアルディグリー・プログラム」を実施し、修士課程・博士課程のいずれにおいても日中双方の学位が取得可能となる教育システムを構築したほか、研究員、リサーチ・アシスタントの研究活動への参画、研究助成制度による自発的研究の促進を通じて、積極的に若手研究者の育成をおこなっている。

また、研究活動においても、RMCSを駆使して海外提携大学・研究機関の研究者の参加を得て、国際的範囲で活発な研究活動を展開している。



国際問題研究所



「中台関係の現実と展望」



「国際問題研究所紀要」



「国研叢書」



「21世紀における北東アジアの国際関係」

総合郷土研究所



「総合郷土研究所紀要」



「総合郷土研究所研究叢書」



「東海道二川宿」



「豊橋市浄慈院日別雑記」



「川の自然誌 豊川のめぐみとダム」



「ふるさとかかり発信する」



「明治はいかに英語を学んだか」



「米軍資料から見た浜松空襲」

中部地方産業研究所



「平成大合併における都市内分権化と地域自治組織・住民自治組織の重層的展開」



「2008 年報・中部の経済と社会」



「中部地域企業のアジア進出調査報告書」



「経済構造の変化とその影響に関する研究」



「中山間地域におけるソーシャル・キャピタル(地域力)調査報告書」



「三遠南信やまがの女性起業家たち」

経済学会



「経済論集」

経営学会



「愛知経営論集」

文学会



「文学論叢」



「タイを揺るがした護符信仰—その流行と背景—」

法学会



「法経論集」

現代中国学会



「中国21」

国際コミュニケーション学会



「文明21」

国際中国学研究センター



第4回配本「中国内外政治と相互依存」
第5回配本「改革・変革と中国文化、社会、民族」
New Challenges and Perspectives of Modern Chinese Studies

経営総合科学研究所



「経営総合科学」 「経営総合科学研究所叢書」

短期大学部



「研究論集」

語学教育研究室



「言語と文化」



「Goken News」

「LLニュース」

文学部



「愛大史学」

「国文学」



「英文会誌」



「PLEU-PLEU」



「FOCUS」

中日大辞典編纂所



「中日大辞典」

体育研究室



「体育学論叢」

一般教育研究室



「一般教育論集」

東亜同文書院大学記念センター



「研究報」



「東亜同文書院ブックレット」



「オープン・リサーチ・センター年報」



「愛知大学史研究」



「同文書院記念報」

三遠南信地域連携センター



「鉄道の未来学」



「2008年度地域づくりサポーター活動報告書」



「三遠南信まつりの魅力を考える」



「センターニュース」

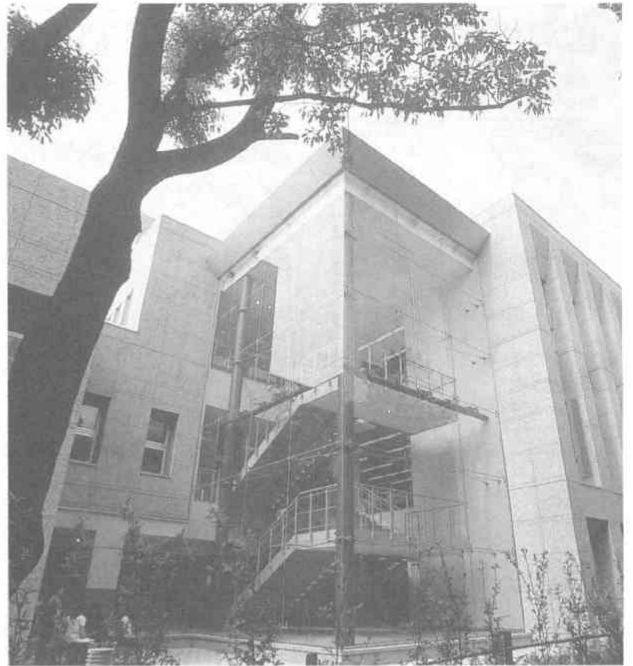
情報メディアセンター



「情報メディアセンター 紀要 COM」

図書館

現在、160万冊が所蔵されている愛知大学の図書館。一般書から専門性に富んだ書籍まで、種類も豊富に取り揃えられている。特に蔵書の中国・アジア関係の文献には希少価値をもつものも多く、各種の文庫や東亜同文書院調査旅行報告書などのコレクション類も所蔵されている。また、オンラインによるOPAC検索、国内外の各種データベース検索などITを駆使した環境が整っている。



●豊橋キャンパス図書館●

利用時間 9:10~21:00

一般書から専門性に富んだ書籍まで、種類も豊富に取り揃えられている。また、メディアゾーンやAVコーナーなどを設置し、快適に学習できるよう配慮している。



※開館時間はホームページでご確認ください。

●名古屋キャンパス図書館●

利用時間 9:10~20:00

書籍・雑誌・AV機器・パソコンを結びつけた複合的な学習ができる。全館開架方式で気軽に本が探せる他、車道・豊橋キャンパスの蔵書も1~2日後には入手できるようになっている。



●車道キャンパス図書館●

利用時間 車道 9:00~22:00
法科・会計大学院 7:00~24:00

約14万冊を収蔵。立地の良さから卒業生や社会人の利用も多い。専門職大学院の利用は院生のみである。

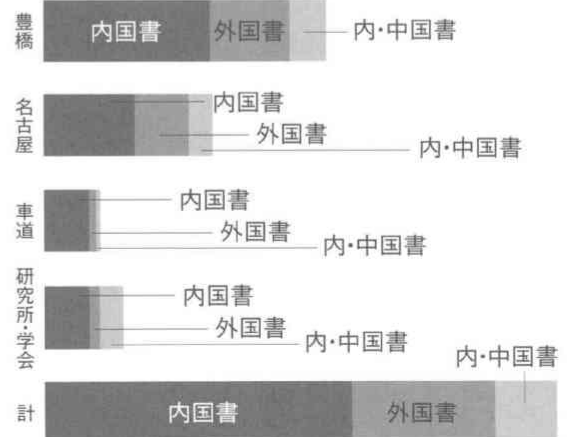


<http://library.aichi-u.ac.jp/>

(2009年 3月31日現在)

蔵書数

区分	内国書	外国書	合計	内・中国書
豊橋	455,042	323,314	778,356	112,411
名古屋	254,661	221,897	476,558	64,451
車道	126,957	13,062	140,019	2,688
研究所・学会	118,881	83,131	202,012	58,050
計	955,541	641,404	1,596,945	237,600

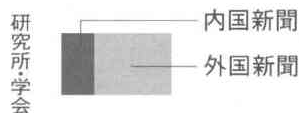
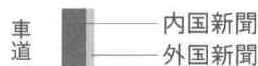
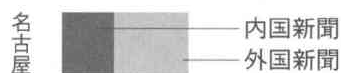
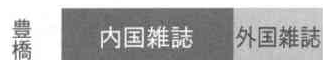


雑誌種類数

区分	内国雑誌	外国雑誌	合計	内・継続
豊橋	4,008	2,148	6,156	2,045
名古屋	1,495	1,903	3,398	1,210
車道	526	150	676	304
研究所・学会	3,476	802	4,278	2,246
計	9,505	5,003	14,508	5,805

新聞種類数

区分	内国新聞	外国新聞	合計	内・継続
豊橋	146	73	219	85
名古屋	46	63	109	45
車道	24	3	27	15
研究所・学会	26	59	85	36
計	242	198	440	181



受入図書の推移

区分	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
内国書	33,120	25,036	29,243	23,423	21,496
外国書	13,719	12,717	9,823	12,123	10,115
計	46,839	37,753	39,066	35,546	31,611

図書費の推移

(決算「図書支出の額」)

年度	図書費	指数
2004年度	158,158,735	100
2005年度	157,865,737	100
2006年度	147,561,019	93
2007年度	151,136,284	96
2008年度	147,747,673	93

情報メディアセンター

概要

愛知大学には、高度な情報教育と教育研究の情報化を推進するための施設として、情報メディアセンターがあります。本学のほぼすべての学生は、大学での学習のための基礎となる情報リテラシーを受講し、その上でIT社会に即応できるさらに高度な情報関連の講義を受講することができます。

現在、情報メディアセンターには3キャンパス合計で約900台のパソコンが設置され、すべてがインターネットに接続しています。学生は空き時間に自由に電子メールを送受信したりネット検索をすることができます。

情報メディアセンターの実習室とマルチメディア教室は実習の授業以外にも、課題レポートや卒業論文の作成、ソフトウェア講習会、資格取得講座など、幅広く利用されています。さらに、e-ラーニングを主とした授業や講習会なども用意されており、大学でも自宅でも、いつでも自由にe-ラーニングでさまざまな学習を行うことができます。

ハードウェア

■車道校舎

設置場所	OS	台数
メディアゾーン	Windows Vista Business	50台
K802	Windows Vista Business	35台
K804	Windows Vista Business	50台

■豊橋校舎

設置場所	OS	台数	
情報メディアセンター (4号館)	420教室	WindowsXP/ Vista Business	70台
	421教室	Windows Vista Business	52台
	423教室	Windows Vista Business	58台
	424教室	Windows Vista Business	50台
	413教室	Windows Vista Business	25台
5号館	514教室	Windows Vista Business	25台
	523教室	Windows Vista Business	50台
図書館	メディアゾーン	Windows Vista Business	40台

■名古屋校舎

設置場所	OS	台数	
情報メディアセンター	第1実習室	Windows Vista Business	60台
	第2実習室	Windows Vista Business	30台
	第3実習室	Windows Vista Business	20台
	オープンプラザ	Windows Vista Business	19台
中央教室棟	マルチメディア教室	Windows Vista Business	60台
東教室棟	E201教室	Windows Vista Business	60台
	E202教室	Windows Vista Business	40台
図書館	メディアゾーン	Windows Vista Business	75台

ソフトウェア

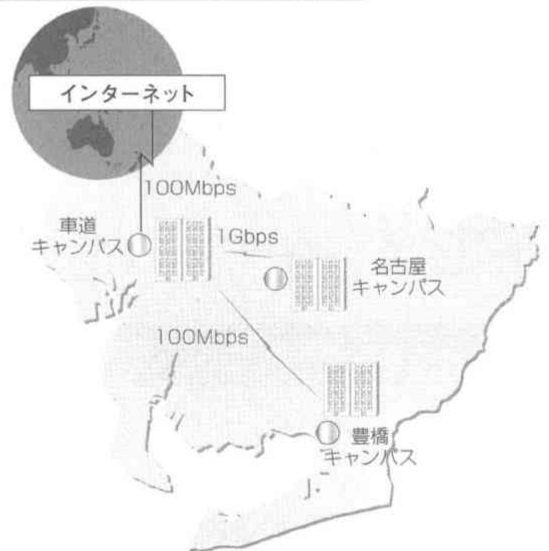
Windows

ワープロ	●Microsoft Word 2007	他多数
表計算	●Microsoft Excel 2007	
プレゼンテーション	●Microsoft Power Point 2007	
電子メール	●Webメール	
WWWブラウザ	●Microsoft Internet Explorer	
データベース	●Microsoft Access 2007	

サービス期間

詳しいサービス日程は、各情報メディアセンターのホームページで確認ください。

キャンパスネットワーク接続図



資料

学部・学科別学生定員と学生数…59P
海外提携校一覧…61P
外国人留学生数…62P
卒業生数一覧表…63P
学部等別教員数・校舎別事務職員数…69P
土地・建物面積…70P
豊橋校舎建物配置図…71P
名古屋校舎建物配置図…72P
車道校舎建物配置図…73P



学部・学科別学生定員と学生数

(2009年 5月1日現在)

大学	学部学科等	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	計		
愛知大学	文学部	哲学科	—	—	—	—	8	8		
		社会学科	—	—	—	—	4	4		
		史学科	—	—	—	—	9	9		
		日本・中国文学科	—	—	—	—	2	2		
		欧米文学科	—	—	—	—	5	5		
		人文社会学科	325	1,295	363	385	367	448	1,563	
	昼間	小計	325	1,295	363	385	367	476	1,591	
		経済学部	経済学科	375	1,495	430	475	435	510	1,850
		国際コミュニケーション学部	言語コミュニケーション学科	115	455	136	129	160	156	581
			比較文化学科	115	455	124	157	134	167	582
		法学部	法学科	315	1,255	367	380	371	453	1,571
		経営学部	経営学科	250	995	273	298	293	366	1,230
			会計ファイナンス学科	125	500	157	158	144	168	627
		現代中国学部	現代中国学科	180	720	230	197	210	268	905
		計		1,800	7,170	2,080	2,179	2,114	2,564	8,937
		夜間	経済学部2部	経済学科	—	—	—	—	3	3
	法学部2部		法学科	—	—	—	—	3	3	
	国際コミュニケーション学部		比較文化学科(夜間主コース)	—	—	—	—	1	1	
	計			—	—	—	—	7	7	
	専門職大学院	法科大学院 法務研究科	未修者コース(3年制)	40	120	19	15	25	23	82
既修者コース(2年制)					9	3	4	3	19	
会計大学院 会計研究科			35	70	23	36	3	—	62	
計			75	190	51	54	32	26	163	



(2009年 5月1日現在)

大学	学部学科等	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	計		
愛知大学	大学院 博士前期課程	経済学研究科 経済学専攻	25	50	1	9	2	0	12	
		経営学研究科 経営学専攻	15	30	11	14	3	1	29	
		中国研究科 中国研究専攻	15	30	13	10	3	2	28	
		文学研究科 日本文化専攻	10	20	3	1	1	0	5	
		文学研究科 地域社会システム専攻	10	20	2	2	0	1	5	
		文学研究科 欧米文化専攻	10	20	0	0	0	0	0	
		国際コミュニケーション研究科 国際コミュニケーション専攻	15	30	9	3	4	0	16	
		小計	100	200	39	39	13	4	95	
		大学院 博士後期課程	法学研究科 公法学専攻	3	9	0	0	0	0	0
			法学研究科 私法学専攻	5	15	0	0	0	0	0
	経済学研究科 経済学専攻		5	15	0	0	0	0	0	
	経営学研究科 経営学専攻		5	15	0	0	2	3	5	
	中国研究科 中国研究専攻		15	45	9	13	11	25	58	
	文学研究科 日本文化専攻		2	6	0	0	0	0	0	
	文学研究科 地域社会システム専攻		2	6	0	1	0	1	2	
	文学研究科 欧米文化専攻		2	6	0	0	0	0	0	
	小計	39	117	9	14	13	29	65		
	計	139	317	48	53	26	33	160		
	合計	2,014	7,677	2,179	2,286	2,172	2,630	9,267		
	短期大学部	ライフデザイン総合学科	200	400	234	222	4	1	461	
合計		200	400	234	222	4	1	461		
総計		2,214	8,077	2,413	2,508	2,176	2,631	9,728		

注1) 2004年4月より経済学部2部経済学科、法学部2部法学科、国際コミュニケーション学部比較文化学科(夜間主コース)の学生募集を停止。

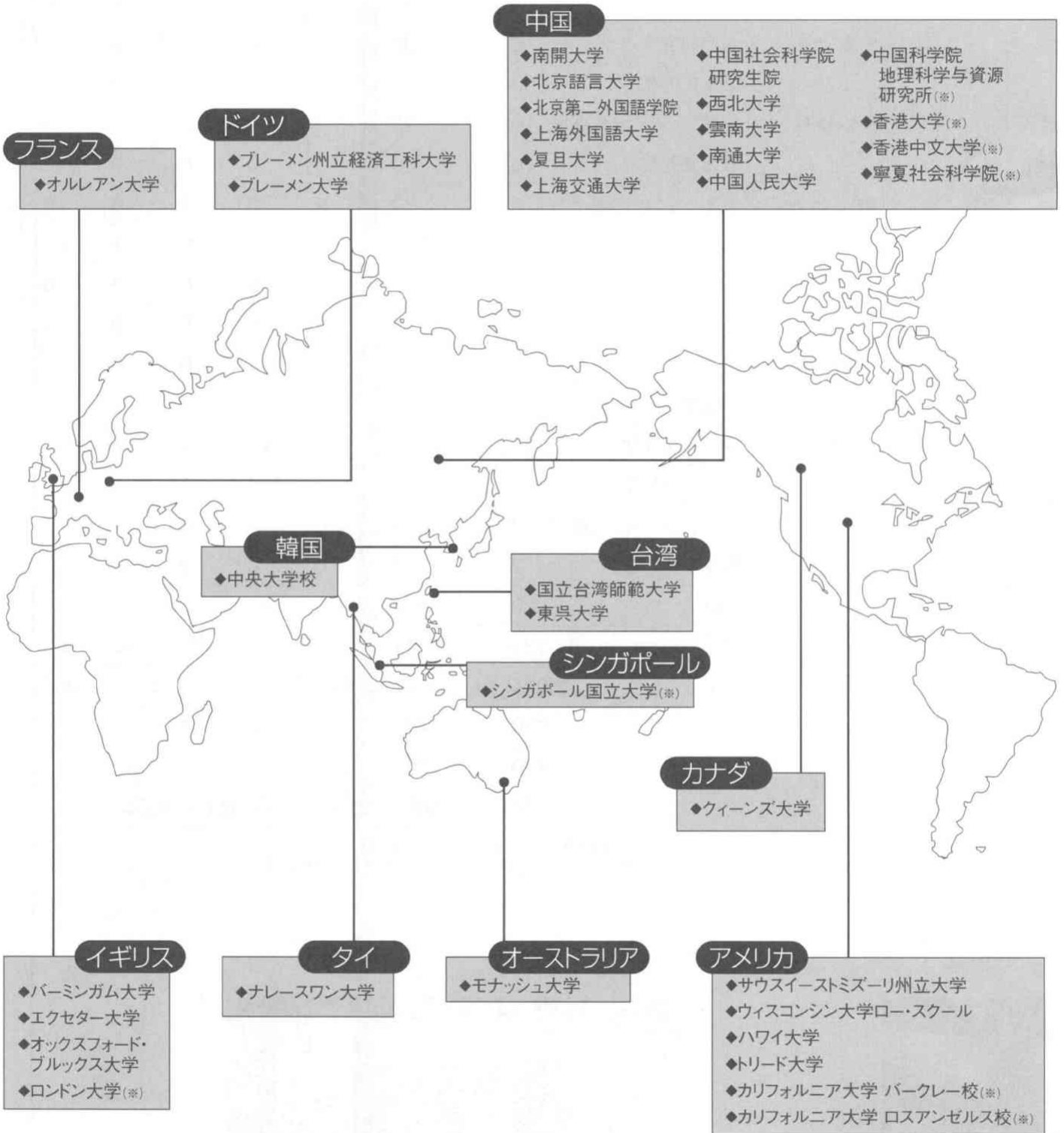
注2) 2005年4月より文学部哲学科、社会学科、史学科、日本・中国文学科、欧米文学科を改組し、人文社会学科を設置。経営学部には会計ファイナンス学科を設置。



資料

学部・学科別学生定員と学生数

海外提携校一覧



資料
海外提携校一覧

外国人留学生数

外国人留学生数

(2009年 5月1日現在)

	豊 橋														名 古 屋										車 道						合 計		総 計		
	学 部						学部計	大学院		短期大学院計	短期大学院部計	協定留学生		協定留学生計	豊橋計	学 部						学部計	大学院※	大学院計	名古屋計	学部		学部計	大学院		大学院計	車道計		合計	
	文	経済		国コミ		協定留学生計		協定留学生計	協定留学生計			協定留学生計	協定留学生計			協定留学生計	協定留学生計	協定留学生計	協定留学生計	協定留学生計	協定留学生計					協定留学生計	協定留学生計		協定留学生計	協定留学生計					協定留学生計
		男	女	男	女		男			女	男			女	男							女	男	女	男			女			男	女		男	
中国	4	8	22	7	26	47	114	5	9	14	1	1	1	5	6	135	1	1	22	32	56	64	176	28	29	57	233	3	3	1	1	4	168	204	372
韓国		1			11	9	21							1	1	22			2	2	15	19	38									28	32	60	
台湾		1	1				2	2	2				1	3	4	8								1		1	1						3	6	9
ベトナム				1	2	2	5									5																2	3	5	
ネパール					2	1	3									3																2	1	3	
スリランカ			1				1									1																1		1	
タイ													1	1	2	2																1	1	2	
フィリピン					1	1										1																1		1	
マレーシア					1	1										1																1		1	
ブラジル				1			1									1																1		1	
イギリス																				1	1						1						1		1
アメリカ													1	1	2	2																1	1	2	
フランス													1	1	2	2																1	1	2	
総 計	4	10	24	8	42	61	149	5	11	16	1	1	5	12	17	183	1	1	24	34	72	83	215	29	29	58	273	3	0	3	0	1	209	251	460

※中国研究科(博士課程)2年次生にはICCS分拠点入学 10名(男4、女6)を含む。
 上記一覧は2009年5月1日現在、正規課程に在籍する外国人留学生数443名に協定留学生17名を含んだものである。
 また研究生として大学院研究生5名(中国研究科)が在籍している。



資料
外国人留学生数

卒業者数一覧表

学部(旧制)

卒業年度	法経学部		計
	法政科	経済科	
1947		13	13
1948	5	13	18
1949	31	93	124
1950	34	96	130
1951	60	125	185
1952	93	204	297
合計	223	544	767

学部(新制)

卒業年度	法経学部第1部			法経学部第2部		文学部				計
	法学科	経済学科	経営学科	法学科	経済学科	哲学科	社会学科	史学科	文学科	
1952	93	355					5		20	473
1953	50	271					4		13	338
1954	55	364					7		20	446
1955	113	361					6		24	504
1956	118	325					2		32	477
1957	165	356		14	10		7	1	31	584
1958	156	464		10	5		10		27	672
1959	176	495		77	84		8	6	23	869
1960	171	484		91	98		8	11	25	888
1961	131	466		103	113	3	5	5	26	852
1962	137	530		121	100		12	4	21	925
1963	140	647		131	149	2	2	7	15	1,093
1964	179	730		186	240	5	6	10	16	1,372
1965	240	899		254	258	2	17	12	24	1,706
1966	263	826	288	242	293	3	20	10	46	1,991
1967	282	785	253	222	262	3	21	13	45	1,886
1968	285	926	186	256	238	5	37	26	83	2,042
1969	361	666	390	246	244	14	38	42	98	2,099
1970	451	823	280	279	231	3	28	48	104	2,247
1971	486	708	386	277	276	11	25	52	140	2,361
1972	462	600	305	260	212	8	37	70	108	2,062
1973	445	546	280	265	243	11	39	58	97	1,984
1974	508	647	345	275	304	11	36	55	88	2,269
1975	429	679	300	282	256	12	43	62	116	2,179
1976	446	668	327	277	237	19	50	56	120	2,200
1977	451	607	347	252	236	19	47	74	144	2,177
1978	451	667	384	247	262	30	43	67	139	2,290
1979	435	538	340	269	262	16	49	67	116	2,092
1980	449	645	341	258	220	19	34	77	136	2,179
1981	426	530	394	238	243	23	39	71	129	2,093
1982	419	534	364	235	278	31	38	77	100	2,076
1983	381	495	369	204	222	27	61	62	138	1,959
1984	420	514	370	235	197	35	51	64	142	2,028

学部(新制)

卒業年度	法経学部第1部			法経学部第2部		文学部				計
	法学科	経済学科	経営学科	法学科	経済学科	哲学科	社会学科	史学科	文学科	
1985	447	593	369	197	194	40	59	78	141	2,118
1986	457	544	360	183	176	25	50	72	142	2,009
1987	384	537	383	215	244	30	70	69	152	2,084
1988	362	496	365	224	190	30	58	58	121	1,904
1989	309	508	368	200	184	30	50	75	123	1,847
1990	338	431	388	251	256	33	60	65	142	1,964
1991	274	442	561	209	222	29	52	73	124	1,986
小計	12,345	22,702	9,043	7,285	7,239	529	1,234	1,597	3,351	65,325

学部(新制)

卒業年度	法学部1部	経済学部1部	経営学部	現代中国学部	法学部2部	経済学部2部	文学部					国際コミュニケーション学部			計		
							人文社会学科	哲学科	社会学科	史学科	文学科	日本・中国文学科	欧米文学科	言語コミュニケーション学科		比較文化学科(昼間主)	比較文化学科(夜間主)
1992	396	468	452		216	187		47	61	71	159						2,057
1993	350	452	458		213	162		37	64	81	163						1,980
1994	406	507	515		224	204		47	90	90	166						2,249
1995	399	471	452		196	163		35	87	83	168						2,054
1996	427	527	511		218	182		50	103	75	133						2,226
1997	517	578	470		229	173		60	109	96	146						2,378
1998	431	501	520		160	148		38	74	96	164						2,132
1999	404	465	511		182	155		68	87	78	163						2,113
2000	442	510	506	135	128	150		36	96	99	192						2,294
2001	426	531	462	168	156	116		46	94	81	154		95	115	38		2,482
2002	412	524	501	209	91	73		57	95	54	—	58	76	103	97	30	2,380
2003	413	510	441	205	121	92		41	91	90	—	48	75	93	95	30	2,345
2004	406	478	483	212	95	55		50	75	78	—	72	91	102	107	21	2,325
2005	362	502	493	188	96	81		48	79	96	—	61	70	114	113	20	2,323
2006	376	448	420	218	113	76		51	92	76	—	57	82	103	107	24	2,243
2007	352	397	370	196	25	21		37	74	70	—	51	51	130	141	4	1,919
2008	351	387	449	204	8	2	301	4	9	8	—	5	7	133	107	2	1,977
合計	19,215	30,958	17,057	1,735	9,756	9,279	301	1,281	2,614	2,919	4,959	352	452	873	882	169	102,802

注) 法学部1部、経済学部1部、経営学部、法学部2部及び経済学部2部には、法経学部第1部及び法経学部第2部を含む。
2000年度より9月卒業生数を含む。

卒業生数一覧表

短期大学部

卒業年度	法経科 第2部	文科 第2部	言語文化学科 (文科)	現代生活学科 (生活科)	ライフデザイン 総合学科	計
1951	353	18				371
1952	299	17				316
1953	342	13				355
1954	269	21				290
1955	330	22				352
1956	235	13				248
1957	67	12				79
1958	57	7				64
1959	59	廃止				59
1960	61		52			113
1961	60		62			122
1962	82		26	61		169
1963	130		51	81		262
1964	160		64	126		350
1965	164		63	102		329
1966	250		119	145		514
1967	145		128	144		417
1968	128		134	159		421
1969	135		156	165		456
1970	87		184	165		436
1971	66		168	154		388
1972	76		169	154		399
1973	67		177	158		402
1974	59		163	165		387
1975	36		195	186		417
1976	40		182	166		388
1977	43		199	190		432
1978	8		174	173		355
1979	廃止		187	178		365
1980			196	160		356
1981			199	191		390
1982			195	160		355
1983			215	154		369
1984			215	187		402

短期大学部

卒業年度	法経科 第2部	文科 第2部	言語文化学科 (文科)	現代生活学科 (生活科)	ライフデザイン 総合学科	計
1985			154	157		311
1986			248	228		476
1987			210	173		383
1988			196	177		373
1989			181	172		353
1990			215	156		371
1991			227	183		410
1992			234	175		409
1993			202	172		374
1994			247	236		483
1995			205	184		389
1996			225	188		413
1997			230	165		395
1998			214	229		443
1999			216	150		366
2000			194	147		341
2001			197	174		371
2002			174	144		318
2003			190	136		326
2004			180	105		285
2005			142	100		242
2006			3	1	234	238
2007					232	232
2008					226	226
合計	3,808	123	7,957	7,076	692	19,656

注)1996年度より9月卒業者数を含む。

文学専攻科

1956	5	1969	3	1982	1
1957	5	1970	5	1983	3
1958	4	1971	5	1984	4
1959	5	1972	3	1985	4
1960	5	1973	8	1986	1
1961	6	1974	7	1987	4
1962	3	1975	3	1988	2
1963	3	1976	3	1989	3
1964	6	1977	7	1990	5
1965	3	1978	6	1991	1
1966	6	1979	2	1992	廃止
1967	3	1980	0		
1968	2	1981	5	合計	141

注)1996年度より9月卒業者数を含む。

卒業生数一覧表

大学院

修了 年度	博士後期課程(修了者・単位修得者)							修士課程							計		
	法学 研究科	経済学 研究科	経営学 研究科	中国 研究科	文学研究科			法学研究科	経済学 研究科	経営学 研究科	中国 研究科	文学研究科				国際 コミュニケーション 研究科	
	私法	経済	経営	中国 研究	日本 文化	地域社会 システム	欧米 文化	公法	私法	経済	経営	中国 研究	日本 文化	地域社会 システム		欧米 文化	国際 コミュニケーション
1955								11		9							20
1956								3		7							10
1957								3		9							12
1958								4	2	2							8
1959								4	2	8							14
1960								4	1	4							9
1961								4	8	3							15
1962								3		3							6
1963								5	4	9							18
1964								7	3	8							18
1965									7	11							18
1966	3(3)							4	9	15							31
1967	2(2)							4	6	27							39
1968	3(3)							8	4	24							39
1969								5	2	23							30
1970								9	10	24							43
1971	1(1)							8	1	13							23
1972								8	5	16							29
1973								10	4	26							40
1974								17	4	22							43
1975								5	3	24							32
1976	1(1)							6	2	22							31
1977	1(1)							7	1	18							27
1978	1(1)							5	2	10	14						32
1979								7	3	9	7						26
1980								10	8	11	8						37
1981								8	5	10	6						29
1982	1(1)		1(1)					4		7	8						21
1983									2	8	5						15
1984								4		9	7						20
1985		3(3)	1					1	2	5	6						18
1986	1(1)	5(5)	1(1)					2	2	4	6						21
1987		1(1)						3	2	10	5						21
1988		2(1)						2	1	1	5						11
1989								2	1	8	7						18
1990	1(1)	1(1)	3(3)					2	3	3	4						17

修了 年度	博士後期課程(修了者・単位修得者)							修士課程							計		
	法学 研究科	経済学 研究科	経営学 研究科	中国 研究科	文学研究科			法学研究科	経済学 研究科	経営学 研究科	中国 研究科	文学研究科				国際 コミュニケーション 研究科	
	私法	経済	経営	中国 研究	日本 文化	地域社会 システム	欧米 文化	公法	私法	経済	経営	中国 研究	日本 文化	地域社会 システム		欧米 文化	国際 コミュニケーション
1991		1(1)	1(1)					1	3	3	14						23
1992								4	6	6	2	2	2		1		23
1993		1(1)	3(2)					2	6	3	13	5	4	1	7		45
1994	1(1)							4	5	14	15	5	6	1			51
1995	1(1)		1(1)					6	9	13	13	9	3	4	3		62
1996			1(1)	1(1)	1(1)			5	14	16	24	9	7	1	3		82
1997			1		2(2)	1(1)	1(1)	3	16	12	15	5	5	3	3		67
1998	1(1)	1(1)		3(3)	3(3)	1	1(1)	3	16	11	16	5	5	4	4		74
1999			2(2)	3(3)	2(1)		2(2)	4	8	17	13	16	2	3	3		75
2000			2	1(1)	5(4)			2	15	16	10	13		4	3		71
2001			3(2)	2(2)		1	1	5	16	14	21	3	4	1	6		77
2002		1	1	2(1)	3(2)			3	8	19	16	9	5	5	2		74
2003			3(1)	5(4)	3(3)			1	2	11	14	9	3	2	1	9	63
2004			1		2(1)	2(2)		2	4	7	15	13	2	1	2	6	57
2005			1	2	1(1)					8	16	16	1	1	1	7	54
2006			1	8(2)	2(1)		1(1)			3	18	8	2	1	1	10	55
2007				8			1(1)			4	13	7		3		7	43
2008			1	4(1)	1(1)	1(1)				5	8	13		3	1	4	40
合計	18(18)	16(14)	28(15)	39(18)	25(20)	5(4)	7(6)	234	237	604	344	147	51	38	41	43	1,877

()内は、単位修得満期退学者で内数。 注) 2000年度より9月卒業者数を含む。

専門職大学院

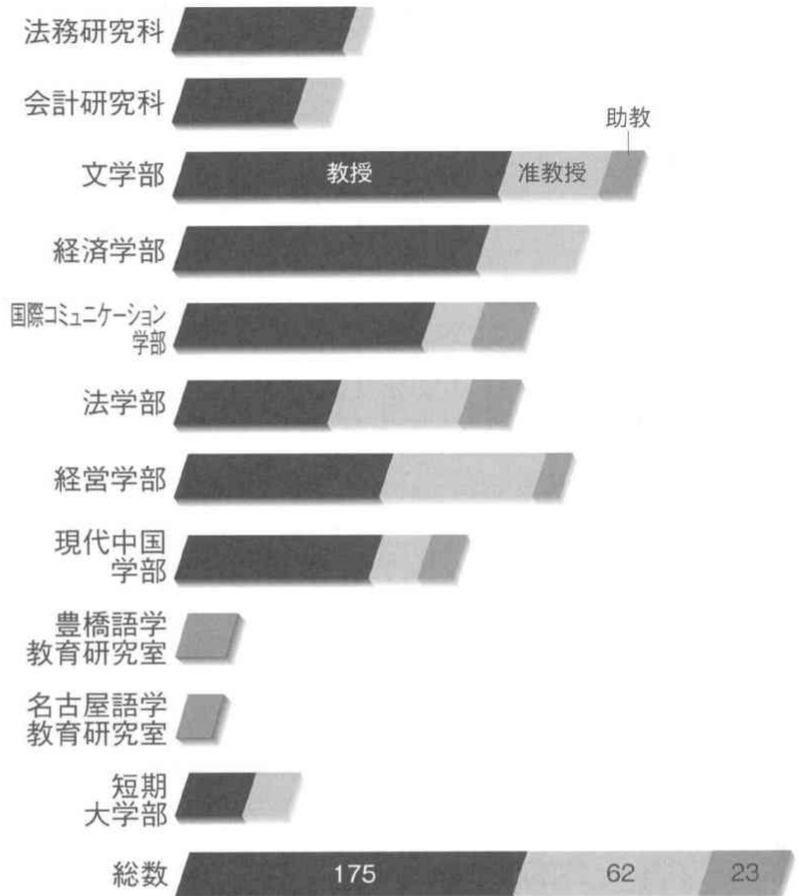
修了 年度	専門職学位課程			計
	法務研究科		会計研究科	
	未修者 コース	既修者 コース		
2005	—	19		19
2006	15	11		26
2007	11	11	37	59
2008	13	13	24	50
合計	39	54	61	154

学部等別教員数

(2009年 4月現在)

学部等	教授	准教授	助教	計
法務研究科	16	1	0	17
会計研究科	11	3	0	14
文学部	31	9	3	43
経済学部	30	8	0	38
国際コミュニケーション学部	25	4	4	33
法学部	15	12	4	31
経営学部	20	16	2	38
現代中国学部	19	5	3	27
豊橋語学教育研究室	0	0	4	4
名古屋語学教育研究室	0	0	3	3
短期大学部	8	4	0	12
総数	175	62	23	260

※法務研究科の教員数のうち3人は法学部との併任。
 ※会計研究科の教員数のうち4人は経営学部との併任。



校舎別事務職員数

(2009年 4月現在)

資料
学部等別教員数
校舎別事務職員数

校舎	豊橋校舎	名古屋校舎	車道校舎	総数
専任	73	39	37	149



土地・建物面積

土地

土地397,825㎡ (実測)
〔自有305,119㎡ 借用92,706㎡〕

(2009年3月31日現在)

用途区分	愛知大学専用	大学短大共用	計
校舎敷地	82,920㎡(29,687㎡)	54,575㎡	137,495㎡(29,687㎡)
図書館敷地	4,340㎡(3,892㎡)	13,172㎡	17,512㎡(3,892㎡)
運動場	80,114㎡(24,959㎡)	72,845㎡	152,959㎡(24,959㎡)
体育施設敷地	4,299㎡(669㎡)	9,098㎡	13,397㎡(669㎡)
その他	47,278㎡(23,501㎡)	29,184㎡(9,998㎡)	76,462㎡(33,499㎡)
計	218,951㎡(82,708㎡)	178,874㎡(9,998㎡)	397,825㎡(92,706㎡)

備考 ()内は借用土地を内数で示す。

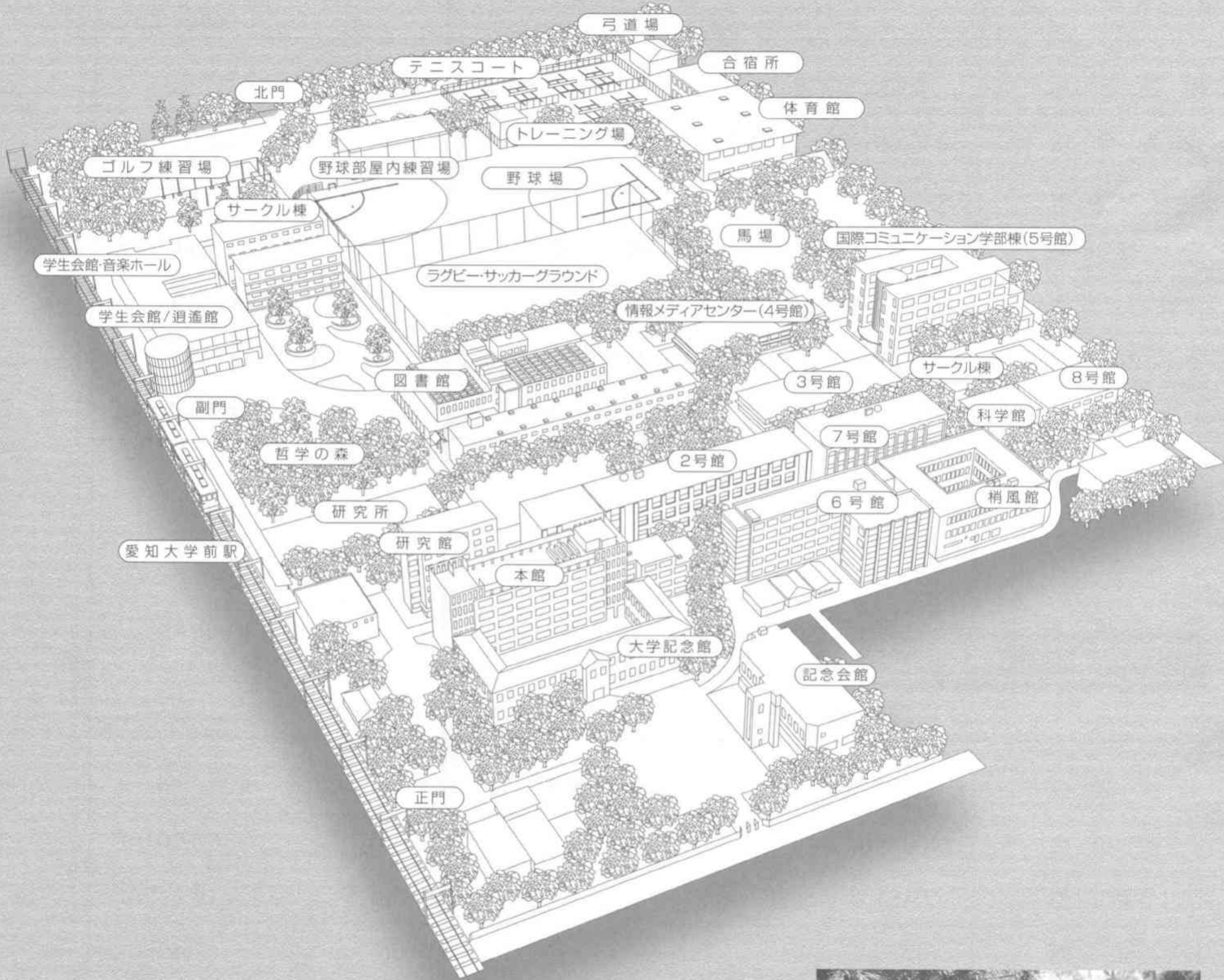
建物

自有135,332㎡ (登記)

(2009年3月31日現在)

用途区分	愛知大学専用	愛知大学短期大学部専用	共用	計
一般校舎	58,924㎡	2,763㎡	24,614㎡	86,301㎡
図書館	7,461㎡		6,812㎡	14,273㎡
体育館	3,579㎡		3,878㎡	7,457㎡
その他	20,845㎡	1,723㎡	4,733㎡	27,301㎡
計	90,809㎡	4,486㎡	40,037㎡	135,332㎡

Toyohashi

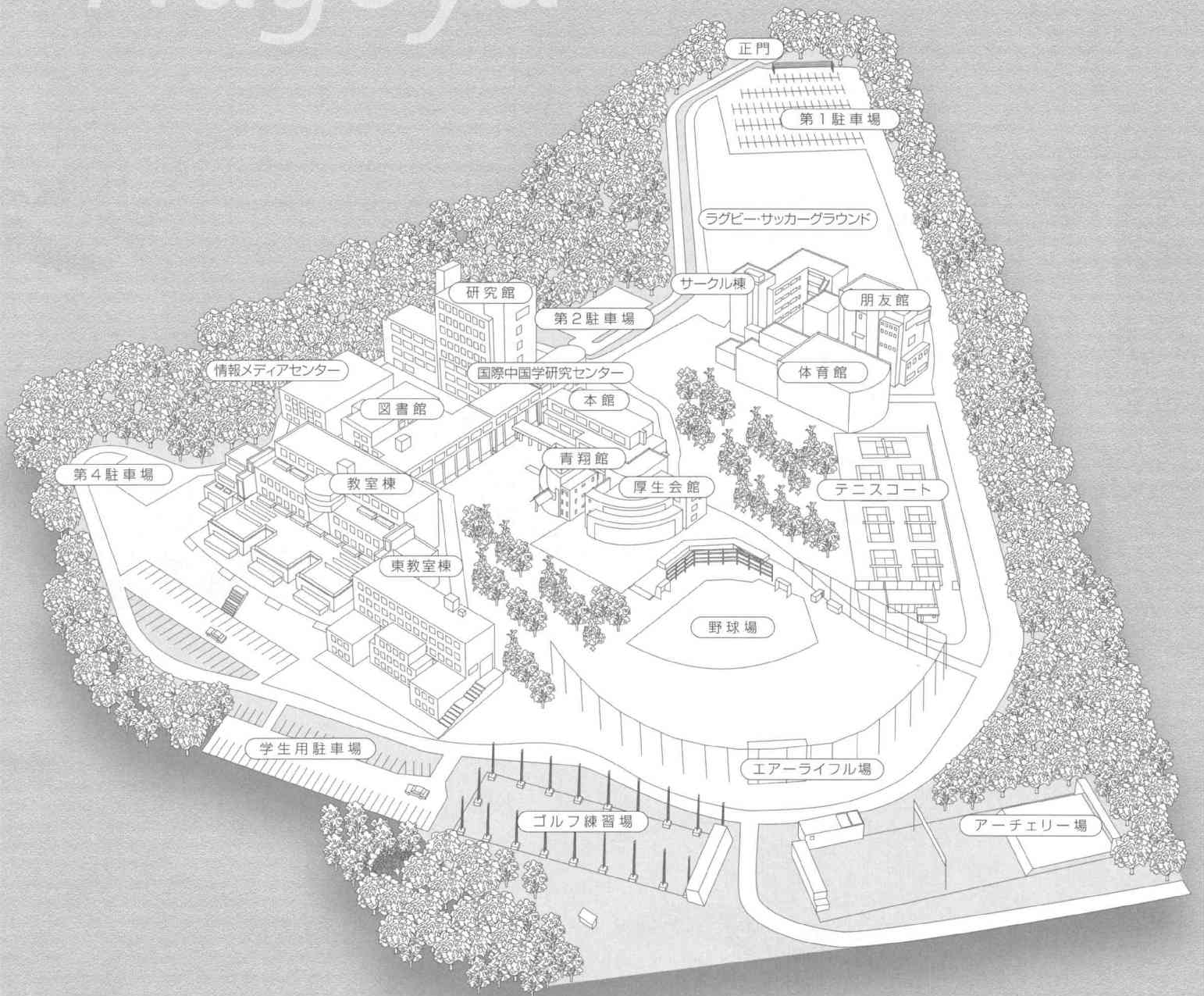


資料

豊橋校舎建物配置図



Nagoya



資料
名古屋校舎建物配置図

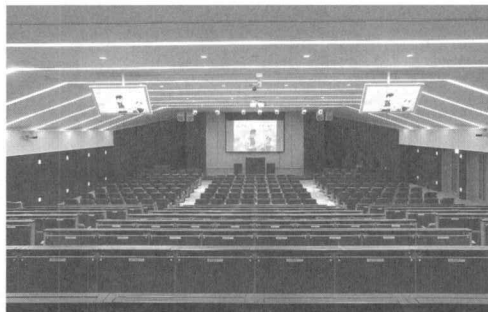
Kurumamichi



階層図		
13階	愛知大学同窓会/校友課/会議室/展望ラウンジギャラリー	
12階	ゼミ室/会計大学院図書室/共同学習室	
11階	ゼミ室/講師控室	
10階	教室/ゼミ室	
9階	教室/学生用ロッカー	
8階	教室	
7階	法廷教室/エクステンションセンター実習室/教室	
6階	法科大学院院長室/研究室/客員用研究室/共同研究室 教員用ラウンジ/ミーティングルーム	
5階	法科大学院図書室	
4階	車道図書館	
3階	情報メディアセンター/語学自習コーナー/情報システム課	コンベンションホール
2階	エクステンションセンター/車道キャリア支援課-就職資料コーナー	教室
1階	総合インフォメーション/カフェラウンジ	車道総務課/企画・広報課/入試課 車道教学課/学生相談室/保健室
地階		

資料

車道校舎建物配置図



東亜同文書院から100年



東亜同文書院創立者
近衛 篤磨



東亜同文書院虹橋路校舎
正門



愛知大学創立者
本間 喜一

愛知大学の歴史 HISTORY

愛知大学の前身「東亜同文書院(後に大学)」は、1901年中国上海に設置され、日本の海外高等教育機関として最も古い歴史をもちます。当時貴族院議長であった近衛篤磨公が、東亜同文会を設立。東亜同文会の理念は教育文化事業によって日中友好提携を成し遂げることにあり、そのための人材育成が東亜同文書院大学の設立目的でした。後に首相となった近衛文磨公も1926年から5年あまり院長に就任しています。

アジア随一の国際都市であり、当時の文化や流行の発信地でもあった上海で、学問の自由を尊ぶ校風のもと、中国・アジア重視の国際人を養成。しかし、日本の敗戦によって東亜同文書院大学は中国に接収、半世紀にわたる歴史の幕を閉じたのです。その折、同大学最後の学長を務めた本間喜一(後に最高裁判所事務総長)は、新たな大学の設立を決意。1946年5月、本間学長の呼びかけに東亜同文書院大学の教職員、学生の多くが集い、同年11月15日に愛知大学は中部地区唯一の旧制法文系大学として誕生しました。1949年4月からは法経学部(法学科・経済学科)に文学部(社会学科)を加えた2学部3学科で新制大学へと移行、今日の発展に至ったのです。

建学の精神として「世界文化と平和への貢献」、「国際的教養と視野をもった人材の育成」、「地域社会への貢献」を掲げ、設立当初より国際文化大学をめざしてきた愛知大学は今、21世紀にはばたく真の国際人の育成を担っています。

自由受難の鐘

愛知大学建学の草創期、木立の松の枝に吊るされ、学生に時を告げていた鐘は、第4回卒業生(昭和26年)によって柱を離られ、時代とともに移り変わる愛知大学を、今も静かに見守っています。

「自由・受難」の文字は、自由を求めれば、必然的に苦難は避けることができないという意味を持ち、自由を愛し、知を愛す現代の学生に対しても、さまざまな壁を乗り越えて自己実現に向かって前進してほしいという思いが込められています。



校名と校章について

『愛知大学』の校名はフィロソフィア、つまり「知=智を愛する」という言葉に語源をもつもので、単なる場所的な発想ではありません。愛知という言葉の中には、創立者たちの「本学をして永遠に智を愛する者たちの殿堂たらしめよ」との崇高な理念が込められているのです。

校章は、愛知大学の「愛」と「大」を組み合わせて図式化したもので、簡素な中にも建学の精神の下、たゆまぬ歩み続ける決意と誇りを表現しています。制定は昭和22年6月。制作は高須光治氏(岸田劉生氏門下)の原案。



愛知大学要覧(非売品)

・2009年6月印刷 ・2009年6月5日発行

発行 愛知大学
豊橋校舎 〒441-8522 豊橋市町畑町1-1
TEL.(0532)47-4111(代)

編集 愛知大学 企画・広報課

ACCESS MAP



愛知大学
AICHI UNIVERSITY

- [豊橋キャンパス] 〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町1-1
TEL. 0532-47-4111(代) FAX. 0532-47-4149
- [名古屋キャンパス] 〒470-0296 愛知県西加茂郡三好町黒笹370
TEL. 0561-36-1111(代) FAX. 0561-36-5546
- [車道キャンパス] 〒461-8641 愛知県名古屋市東区筒井2丁目10-31
TEL. 052-937-8111(代) FAX. 052-937-4816
- [東京事務所] 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-1 霞が関コモンゲート西館37階
TEL. 03-3501-6405(代) FAX. 03-3501-6406